令和元年東日本台風記録誌
最終報告

栃木県佐野市

ご挨拶

はじめに、令和元年東日本台風により甚大な被害を受け、多大なご苦労をされてこられました多くの皆様に対し、改めて、心よりお見舞い申し上げます。

また、本市の被害に対しまして、自衛隊、警察、消防ほか多くの関係機関、民間企業、国や県、他自治体、そして延べ１万２千人を超える災害ボランティアの皆様方による、災害対応へのご協力や、物資、義援金など、多大なるご支援を賜り、復旧・復興活動を行えておりますことについて、改めて、心より感謝申し上げます。

「令和元年東日本台風」と名付けられた台風第19号は、令和元年10月12日19時前に大型で強い勢力のまま上陸し、関東甲信越・東北地方の広い範囲に大雨、暴風をもたらしました。

10月10日から13日までの総降水量は、東日本を中心に17地点で500ミリを超えるなど記録的な大雨となり、市内２箇所の気象観測所における24時間降水量は、佐野観測所で261.5ミリ、葛生観測所で410ミリをそれぞれ記録しました。これは、2015年の関東・東北豪雨で同観測所が記録した、観測史上最大24時間降水量の約1.5倍～２倍と大きく上回るものであり、山間部から市街部まで多量の雨が降ったことにより、河川の流下能力を超え、越水・決壊等が発生し、被害が拡大しました。

豪雨災害による被害は、想像を絶するほど甚大でありましたが、「佐野市災害復旧・復興基本方針」で積極的に実施することとした３施策「すまいと暮らしの再建」、「安全な地域づくり」、「産業・経済の復興」に基づき、早期の復旧・復興完了を目指して災害復旧事業を着実に進めてきました。

このような中、「令和元年東日本台風」による災害の記憶を風化させることなく、多くの教訓を未来に伝え、安全な地域づくりに取り組めるよう、被害状況や災害対応などの当時の状況や、復旧までの道のりをとりまとめた「令和元年東日本台風記録誌（最終報告）」を作成いたしました。

近年、気候変動に伴い、いつどこで大規模な災害に見舞われても不思議でない状況の中、将来にわたりまして、この記録誌が、市民の皆様の安全・安心に寄与することを強く願いまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和４年３月

佐野市長　金子　裕

目　次

第　１　章　　佐野市の地勢・災害履歴

１　地勢　・・・

３　救助・支援活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２６
（１）警察・消防・自衛隊　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２６
（２）自治体等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２８
（３）企業・団体等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２９
（４）災害ボランティア　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３０
（５）支援物資　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３１
（６）寄付金・義援金　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３２
４　被災状況視察・要望活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３３

第　５　章　　被災者支援・復旧事業

１　佐野市復興推進本部　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３４
（１）佐野市復興推進本部会議　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３４
（２）佐野市復旧・復興ロードマップ　・・・・・・・・・・・・Ｐ３５
（３）被災者生活再建支援ハンドブック
・被災者生活再建支援のお知らせ　・・・・・・・Ｐ３６
（４）復興のつどい　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３７
（５）復旧・復興シンポジウム　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３８
２　被災者支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３９
（１）被災者支援制度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３９
（２）支援制度利用実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４１
３　復旧事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４２
（１）被災状況と復旧工事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４２
（２）復旧工事費及び復旧関連事業費実績　・・・・・・・・・Ｐ４３
（３）復旧前・復旧後の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４４

第　６　章　　安全・安心なまちづくり

１　将来に向けた防災・減災対策　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５３
（１）令和元年東日本台風災害に関する市民アンケート　・・Ｐ５３
（２）佐野市地域防災計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５４
（３）避難所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５４
（４）佐野市災害ボランティア活動推進条例　・・・・・・・・Ｐ５５
（５）佐野市連携支援ネットワーク　・・・・・・・・・・・・Ｐ５６
（６）佐野市災害情報共有システム　・・・・・・・・・・・・Ｐ５７
（７）佐野市消防団活性化推進基本計画　・・・・・・・・・Ｐ５８
（８）災害時市長緊急放送　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５８
（９）マイ・タイムライン　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５８
（10）佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ　・・・・・・・Ｐ５９
（11）河川改修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６２

資　料

１　令和元年東日本台風災害に関する市民アンケート調査結果
２　令和元年東日本台風災害に関する市民アンケート調査項目
３　新聞記事

第１章　佐野市の地勢・災害履歴

１　地勢

本市は、東京中心部から70km圏内の距離にあり、関東平野の北端、栃木県の南西部に位置します。

総面積は356.04㎢、東は栃木市、西は足利市、群馬県桐生市、南は群馬県館林市、群馬県板倉町、北は氷室山や根本山をはじめとする広大な山岳地帯を経て、鹿沼市、群馬県みどり市と接しています。

北部から北東部、北西部にかけては、緑豊かな森林や、美しい清流など、自然環境に恵まれた中山間地域、南部と西部は、住宅や産業基盤が集積する都市的地域と、農業が展開する地域となっています。

気候は、夏に降水量の多い太平洋気候区に属し、比較的温暖ですが、内陸部のため、気温の年較差・日較差が大きくなっています。

2　災害履歴

東日本大震災以降の災害履歴

災害種別	年月日	原因	場所	被害内容等
地震	H23(2011).3.11(金)	東日本大震災	市内全域	【家屋等被害】 住家全壊1件、住家半壊2件 住家一部損壊831件 店舗30件、工場41件、物置64件 【施設被害】 公共施設35件 道路･水道関係被害14件 【人的被害】 重傷1名、軽症2名 【その他】 その他報告159件 り災証明合計1,128件
台風	H23(2011).9.26(月)	台風15号	浅沼町、若松町 小中町、会沢町 富士町、秋山町 閑馬町	【家屋等被害】 住家床下浸水2件 非住家床下浸水2件 【その他】 土砂崩れ・土砂流出4件
台風	H25(2013).9.17(火)	台風18号	船越町	【施設被害】橋りょう1件
大雪	H26(2014)年2月中		仙波町 秋山町	【家屋等被害】住家一部損壊3件 【その他】 農地被害8.3ha 農産被害444,273千円
大雨	H26(2014).6.8(日) ～6.10(火)		野上地区 飛駒地区 常盤地区	【家屋等被害】 床上浸水1件、床下浸水7件 【その他】 土砂崩れ・土砂流出4件
大雨	H26(2014).6.23(月)		田沼地区 戸奈良地区 三好地区	【家屋等被害】 床上浸水3件、床下浸水3件 【その他】 浸水3件、車両水没1件
大雨	H27(2015).7.16(木)		小中町、多田町	【家屋等被害】床下浸水2件
台風	H27(2015).9.9(水) ～9.10(木)	台風18号	市内全域	【家屋等被害】 床上浸水1件、床下浸水1件 【その他】 土砂災害5件、河川決壊1件 河川洗堀5件、河川溢水1件
大雨	H28(2016).8.3(水)		田沼町、多田町 葛生東	【家屋等被害】 床上浸水2件、床下浸水3件 【その他】 河川越水1件、倒木1件

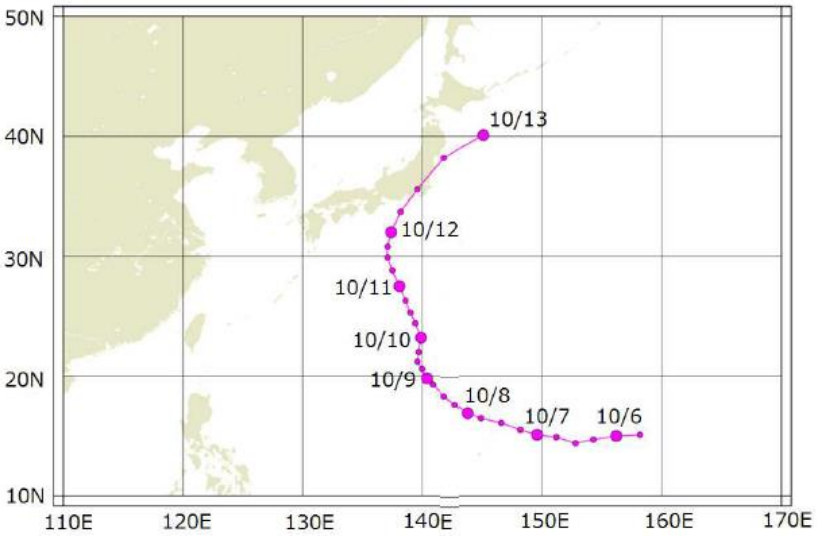
災害種別	年月日	原因	場所	被害内容等
台風	H28(2016).8.22(月)	台風9号	市内全域	【家屋等被害】雨漏り39件 【施設被害】 道路冠水16件、通行止め9件 路面亀裂1件 【その他】 倒木8件 河川越水4件、洗堀1件 ビニールハウス浸水3件
大雨	H28(2016).8.23(火)		宮下町、田沼町 船越町	【家屋等被害】雨漏り1件 【施設被害】道路冠水1件 【その他】倒木2件
大雨	H28(2016).9.7(水)		宮下町、田沼町 船越町	【家屋等被害】雨漏り1件 【施設被害】道路冠水1件 【その他】倒木2件
大雨	H29(2017).7.12(水)		市内全域	【家屋等被害】 床上浸水2件、床下浸水3件 雨漏り19件 停電300～350世帯 断水1,400世帯 【施設被害】 道路冠水11件、路面亀裂1件 通行止め3件 下水道被害1件 【その他】車両水没2件
大雨	H29(2017).7.25(火)		閑馬町、若松町	【家屋等被害】 床下浸水1件、雨漏り7件 【その他】倒木1件
台風	H29(2017).10.22(日)	台風21号	市内全域	【家屋等被害】 雨漏り30件、停電298件 【施設被害】 道路陥没1件、道路冠水1件 林道被害10件 【その他】 倒木5件 河川越水2件、土砂堆積1件 ビニールハウス被害25件
突風	R1(2019).7.27(土)	竜巻の可能性が高い	植下町、植上町 植野町、上台町 浅沼町	【家屋等被害】 住家一部損壊42件 非住家カーポート、 倉庫等被害16件 【その他】 フェンス、自動車等被害37件
突風	R1(2019).9.10(火)	ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高い	出流原町 赤見町	【家屋等被害】 住家一部損壊28件 非住家物置等被害30件 【その他】 フェンス等被害18件

災害種別	年月日	原因	場所	被害内容等
台風	R1(2019).10.12(土)	令和元年東日本台風（台風第19号）	市内全域	※R3年10月1日時点 【人的被害】 中等症1件、軽傷2件 【家屋等被害】 床上浸水1,767件 床下浸水2,059件 【り災証明発行】 全壊6件、大規模半壊76件 半壊972件、準半壊96件 一部損壊924件、被害なし17件 【施設被害】 道路218件、通行止め72件 橋りょう21件、河川248件 公園・緑地13件 学校施設・公民館等15件 市営住宅1件、上下水道被害11件 林道16件 【農業被害】 土砂流入・流亡農地約85ha 頭首工20件 農業水利施設115件 農機具類226件 ビニールハウス等71件 農作物92件、家畜等1件 【その他】 自動車被害1,948件
大雨	R3(2021).7.10(土)		中町、越名町 若宮上町	【家屋等被害】床下浸水2件 【施設被害】道路冠水2件 【その他】 新都市バスターミナル 駐車場ゲート破損1件
突風 大雨	R3(2021).7.11(日)	ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高い	朝日町、植下町 堀米町、浅沼町 小中町	【施設被害】 道路冠水3件、学校施設8件 【その他】 解体現場足場倒壊1件 煙突倒壊1件 看板・塀等倒壊4件 倒木等29件、停電1,160件

第２章　令和元年東日本台風の概要

1　気象の状況

（１）台風の進路

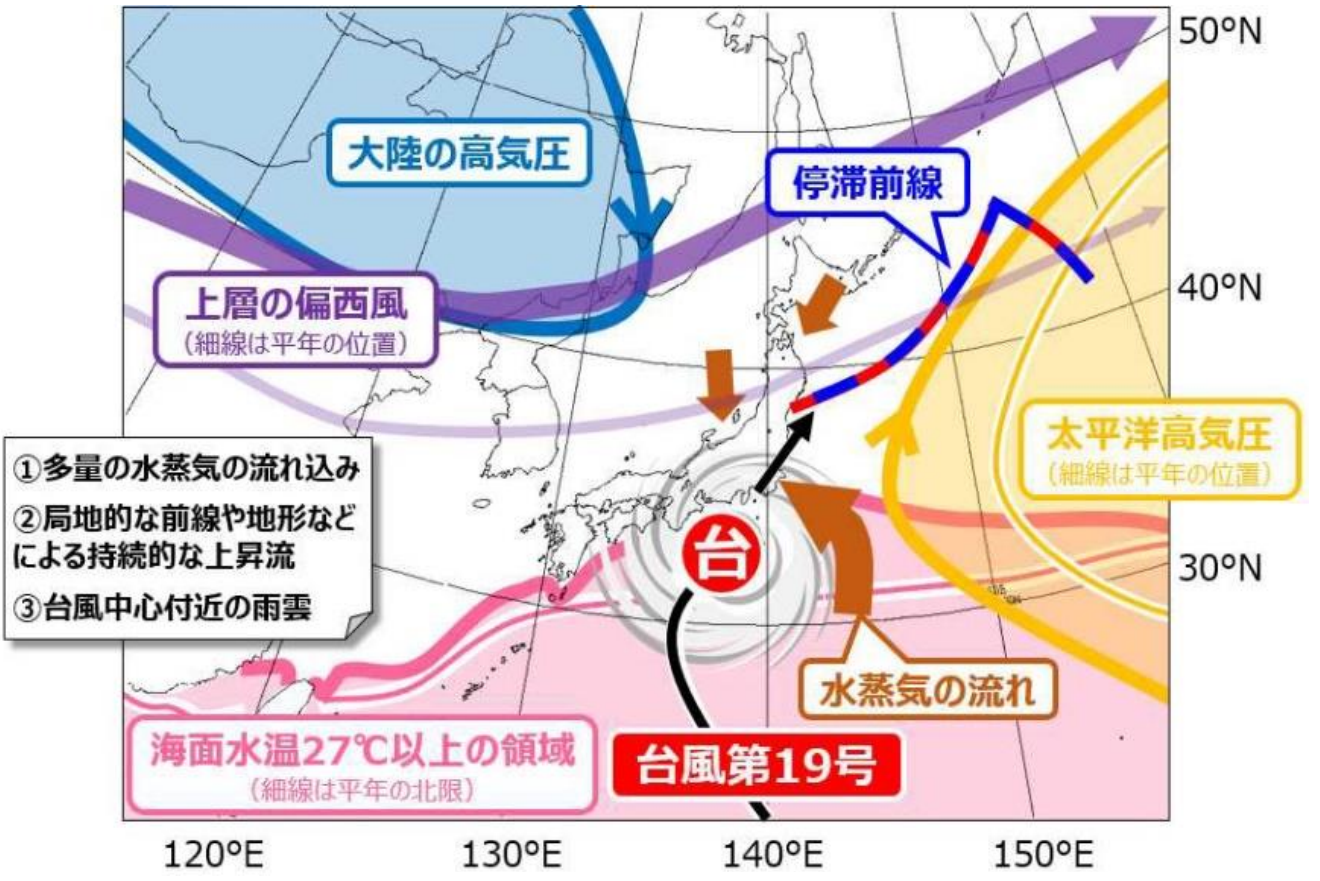


令和元年東日本台風は令和元年10月6日3時に発生しました。

平年よりも高い海水温の領域を通過しながら急速に発達し、発生から39時間後の7日18時に中心気圧915hPaとなり、猛烈な勢力に発達しました。

その後、勢力を維持したまま小笠原諸島に接近し、10日21時に非常に強い勢力となり、12日19時前に静岡県伊豆半島に上陸しました。

上陸直前の中心気圧は955hPa、最大風速は40m/sで、その後関東地方を縦断し、13日12時に三陸沖東部で温帯低気圧に変わりました。

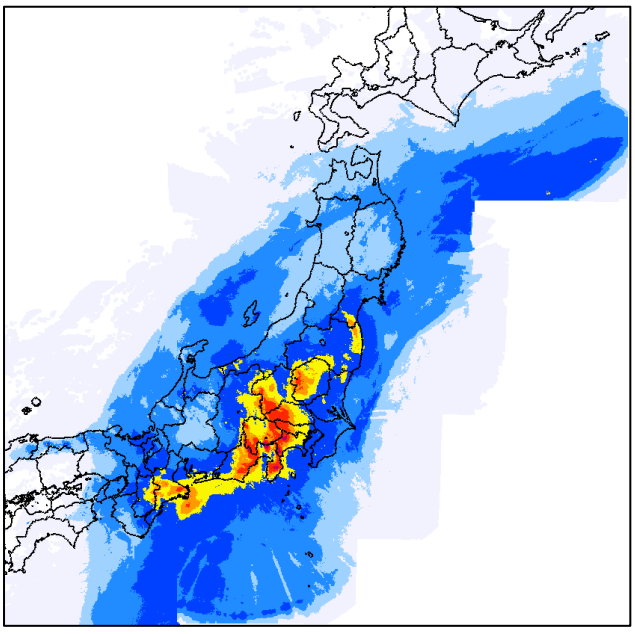


出典：気象庁発表資料（令和元年10月23日）
「令和元年台風第19号に伴う大雨の要因について」

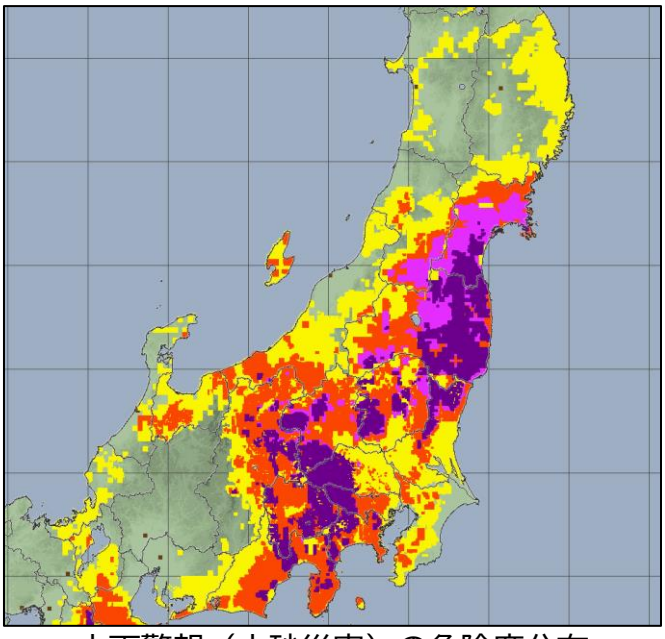
（２）降雨の状況

令和元年東日本台風における、10月10日から13日までの総降水量は、東日本を中心に17地点で500ミリを超える雨量となりました。特に静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で、3、6、12、24時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となりました。

●10月12日20時（栃木県に大雨特別警報が発表された直後）

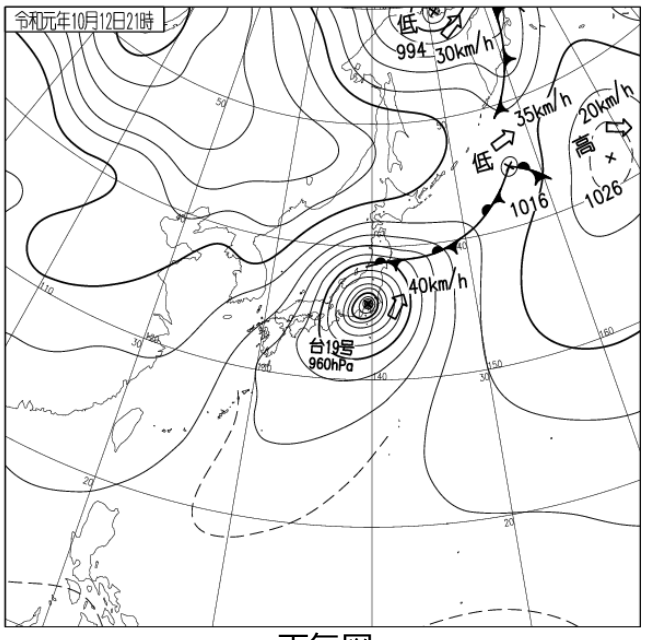


48時間降水量（解析雨量）

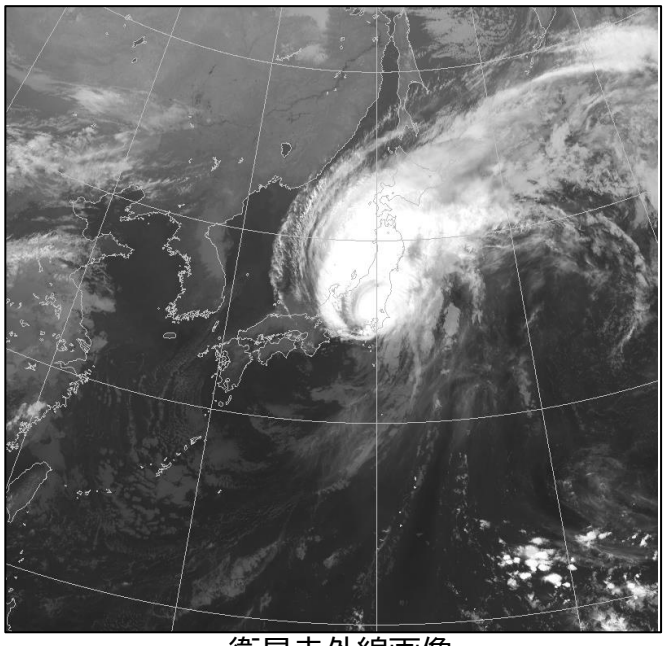


大雨警報（土砂災害）の危険度分布

●10月12日21時



天気図



衛星赤外線画像

※出典：気象庁「災害をもたらした気象事例（令和元年10月15日）」

（３）市内の降水量

令和元年東日本台風における、10月12日から13日にかけての市内の降水量は、気象庁の雨量観測所である佐野観測所において、1時間最大降水量は29.5mm（21時時点）、1日最大降水量は261.5mm（1時～24時）、葛生観測所において、1時間最大降水量は47.5mm（19時時点）、1日最大降水量は410.0mm（1時～24時）となりました。

また、栃木県の雨量観測局である秋山台観測局では1時間最大降水量は57.0mm（16時時点）、1日最大降水量は471.0mm（1時～24時）となりました。

雨量観測所（気象庁）における降水量

佐野観測所：（田沼町）　令和元年10月12日（1時間ごとの値）

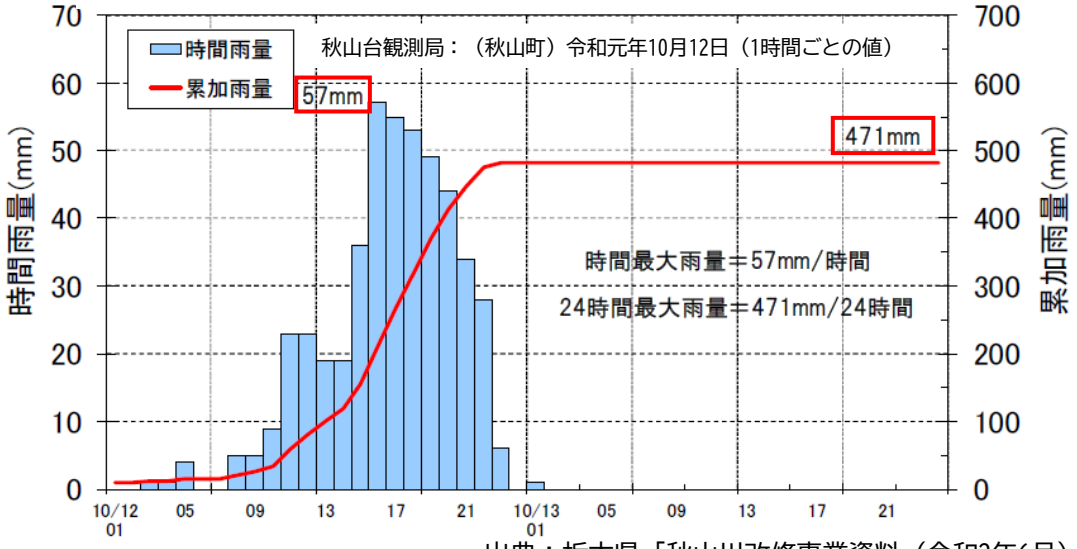
時	降水量 (mm)	気温 (°C)	風速・風向(m/s)		日照時間 (h)	雪(cm)	
			風速	風向		降雪	積雪
1	0.0	23.5	3.3	北東		///	///
2	0.0	23.3	3.7	北東		///	///
3	0.0	23.5	3.1	北東		///	///
4	1.0	23.4	3.1	東北東		///	///
5	0.5	23.0	4.2	北東		///	///
6	0.0	23.3	4.1	北東	0.0	///	///
7	0.0	23.7	5.2	北東	0.0	///	///
8	5.5	22.6	5.7	北東	0.0	///	///
9	2.5	22.6	5.7	北東	0.0	///	///
10	7.0	22.5	7.6	北北東	0.0	///	///
11	13.5	22.2	5.5	北東	0.0	///	///
12	10.5	22.5	6.8	北東	0.0	///	///
13	6.0	22.8	5.6	北東	0.0	///	///
14	11.5	23.4	5.9	北東	0.0	///	///
15	19.5	24.6	8.1	東北東	0.0	///	///
16	26.5	24.7	8.2	北東	0.0	///	///
17	23.0	24.0	5.0	北東	0.0	///	///
18	22.5	22.9	4.8	北東	0.0	///	///
19	22.0	21.9	5.4	北東		///	///
20	28.0	21.9	6.1	北東		///	///
21	29.5	21.7	4.5	北北東		///	///
22	25.5	21.5	7.1	北		///	///
23	6.5	22.5	3.9	西北西		///	///
24	0.5	22.1	4.8	南南西		///	///

葛生観測所：（豊代町）　令和元年10月12日（1時間ごとの値）

時	降水量 (mm)	気温 (°C)	風速・風向(m/s)		日照時間 (h)	雪(cm)	
			風速	風向		降雪	積雪
1	0.0	///	///	///	///	///	///
2	0.5	///	///	///	///	///	///
3	0.0	///	///	///	///	///	///
4	1.0	///	///	///	///	///	///
5	1.5	///	///	///	///	///	///
6	0.0	///	///	///	///	///	///
7	0.0	///	///	///	///	///	///
8	5.0	///	///	///	///	///	///
9	4.0	///	///	///	///	///	///
10	7.0	///	///	///	///	///	///
11	13.5	///	///	///	///	///	///
12	20.0	///	///	///	///	///	///
13	10.0	///	///	///	///	///	///
14	16.5	///	///	///	///	///	///
15	28.0	///	///	///	///	///	///
16	45.0	///	///	///	///	///	///
17	43.0	///	///	///	///	///	///
18	45.0	///	///	///	///	///	///
19	47.5	///	///	///	///	///	///
20	41.5	///	///	///	///	///	///
21	39.5	///	///	///	///	///	///
22	32.0	///	///	///	///	///	///
23	9.5	///	///	///	///	///	///
24	0.0	///	///	///	///	///	///

※注　表中「///」は観測機能なしの記号
出展：気象庁（佐野及び葛生観測所における観測データ）

雨量観測局（栃木県）における降水量



出典：栃木県「秋山川改修事業資料（令和2年6月）」

２　気象・避難・被害等の情報と災害応急対策

気象・避難情報の発表状況、被害等の発生状況及び災害応急対策については、次のとおりです。

日時	気象情報	避難情報	被害状況	災害応急対策
10月11日				
15:30				佐野市災害警戒本部設置 第1回佐野市災害警戒本部員会議を開催
10月12日				
6:19	大雨警報（浸水害）（警戒レベル3相当）発表			
8:30				自主避難所開設（佐野地区公民館、田沼中央公民館、葛生あくと福祉センター）
9:00				第2回佐野市災害警戒本部員会議を開催
11:00		警戒レベル3　避難準備・高齢者等避難開始発令（市内全域）		全指定避難所開設
11:26	大雨警報（土砂災害）（警戒レベル3相当）発表			
13:44	洪水警報（警戒レベル3相当）、暴風警報　発表			
16:30			秋山川　氾濫注意水位に到達（警戒レベル2相当）（大橋1.77m）	
16:40	土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当）発表			
16:50		警戒レベル4　避難勧告発令（市内全域）		
17:00			旗川越水（作原枅久保橋付近右岸）、通行止め	
17:05			秋山川越水（秋山町の上流域）、秋山橋付近冠水	
17:20			秋山川越水（秋山橋付近）	
17:30			新合総合センター付近、田沼西運動場冠水 秋山川　避難判断水位に到達（警戒レベル3相当）（大橋2.35m）	第3回佐野市災害警戒本部員会議を開催
17:40				佐野市災害対策本部設置
17:42			仙波川越水（葛生ホーム付近）	
18:30			秋山川　氾濫危険水位に到達（警戒レベル4相当）（大橋2.85m） 草木ダム　異常洪水時防災操作4.5時間前通知　受信	第1回佐野市災害対策本部員会議を開催
19:20			秋山川越水（海陸橋付近） 旗川越水（佐野サンリバー付近）	
19:23			秋山川越水（水道局東側右岸）	
19:25			秋山川越水（上川原東公園付近）	
19:30		警戒レベル4　避難指示（緊急）発令（佐野地区、植野地区、堀米地区）		
19:45		警戒レベル4　避難指示（緊急）発令（葛生地区）	小曽戸川越水	
19:50	大雨特別警報（土砂災害・浸水害）（警戒レベル5相当）発表			
20:00			草木ダム　異常洪水時防災操作3時間前通知受信	

日時	気象情報	避難情報	被害状況	災害応急対策
10月12日				
20:50			秋山川決壊（海陸橋上流右岸）通報	栃木県災害対策本部設置
21:00			菊沢川越水（大橋町）	
21:05				栃木県災害対策本部に自衛隊の派遣要請
21:15		警戒レベル4　避難指示（緊急）発令（吾妻地区）	約100世帯停電（強風により復旧作業不能）	
21:35			旗川越水（とちのみ学園付近左岸）	
21:45	秋山川　氾濫発生情報（警戒レベル5相当）			
21:53			代替拠点浸水（葛生行政センター床上浸水）	
22:05			田沼町土砂崩れ（明星幼稚園裏山） 豊代町土砂崩れ（秋山川常盤橋付近）	
22:30			国道50号通行止め（秋山川付近冠水）	
22:50			大橋アンダー付近東アパート8～10人孤立	
23:25			多田町土砂崩れ（上多田）	
23:50			中橋崩落	
10月13日				
				佐野市社会福祉協議会へ佐野市災害ボランティアセンターの開設を要請
1:47			富士町土砂崩れ（唐沢山富士町側）	
1:59			旗川洗堀（船越橋南100m付近左岸） 栃本町土砂崩れ（唐沢山栃本町側）	
2:20	大雨特別警報（土砂災害・浸水害）、暴風警報　解除 大雨警報（土砂災害）　発表			
2:25				栃木県消防防災ヘリコプター要請
3:05			秋山川決壊（大橋上流右岸）	
4:43			豊代町、牧町で20件程度が停電	
5:00			秋山川安蘇川橋崩落	
5:40			閑馬川越水（八幡橋付近）	
5:50			御神楽町土砂崩れ（根久保橋付近）、通行不可、土砂崩れにより2,3件孤立	
			秋山川　橋りょうと水道が流され孤立（氷室地区公民館南）	
6:15	土砂災害警戒情報　解除			
6:18	大雨警報（土砂災害）　解除			
6:20			秋山川常盤橋崩落	
6:22			秋山川洗堀（大橋上流右岸）、100m下流も同様に洗堀	
6:23			秋山川岩鼻橋北300m洗堀で道路崩落、通行止め	
6:30			秋山川田之入橋崩落、流失	
6:34			三杉川越水（三杉橋より南100m、右岸40m）	
6:40			鉢木町土砂崩れ	
7:05			仙波町土砂崩れ（古内橋北付近）	
			氷室小学校から氷室診療所間の県道洗堀で孤立	
8:00			富士町土砂崩れ（唐沢山梅林公園付近）	

日時	気象情報	避難情報	被害状況	災害応急対策
10月13日				
9:17			飛駒町土砂崩れ（消防団第21分団詰所北）	
10:00				第2回佐野市災害対策本部員会議を開催
10:30				自衛隊再要請（2回目：給水、給食、入浴）
10:40				国交省テックフォース要請
10:50				総務省被災市区町村応援職員確保システム「総括支援チーム」要請
14:00				第3回佐野市災害対策本部員会議を開催
15:30			彦間川越水（車堂橋付近）	
17:00				佐野市茂呂山老人福祉センターを臨時避難所として開設
10月14日				
				災害ごみの仮置場を設置（赤見運動公園・中運動公園）
9:00				第4回佐野市災害対策本部員会議を開催
10月15日				
				り災証明の受付を開始 災害土砂の仮置場を設置（田沼グリーンスポーツセンター） 佐野市災害ボランティアセンター開設
11:00		警戒レベル4　避難指示（緊急）発令（水木町1世帯2名）		
16:00				第5回佐野市災害対策本部員会議を開催
17:00				自衛隊入浴施設「京の湯」開設
10月16日				
				災害ボランティアの受入を開始
10:00				第6回佐野市災害対策本部員会議を開催
18:03	洪水警報　解除			
19:30		避難情報解除（水木町1世帯2名を除く全地域を解除）		
10月17日				
10:00				第7回佐野市災害対策本部員会議を開催
10月18日				
				災害ごみの仮置場の設置（栄公園）
10:00				第8回佐野市災害対策本部員会議を開催
12:00				自主避難所開設（田沼中央公民館、葛生あくと福祉センター）
10月19日				
9:00				第9回佐野市災害対策本部員会議を開催
12:00				自主避難所閉鎖（田沼中央公民館、葛生あくと福祉センター）
10月20日				
9:00				第10回佐野市災害対策本部員会議を開催
10月21日				
12:00				自主避難所開設（田沼中央公民館、葛生あくと福祉センター）
14:30		警戒レベル4　避難勧告発令（豊代町3世帯7名）		
10月22日				
9:00				第11回佐野市災害対策本部員会議を開催

日時	気象情報	避難情報	被害状況	災害応急対策
10月23日				
18:00		避難情報解除（水木町1世帯2名の避難指示（緊急）を解除）	県道秋山葛生線通行止め解除（仮復旧完了）	
10月24日				
9:00				第12回佐野市災害対策本部員会議を開催
10月25日				
8:30				自主避難所開設（野上基幹集落センター、新合総合センター、飛駒小学校、会沢地区コミュニティセンター常盤中学校、氷室地区公民館）
11:36	大雨警報（土砂災害）、洪水警報発表			
18:30		警戒レベル4　避難勧告発令（豊代町11世帯35名）		
20:20	大雨警報（土砂災害）、洪水警報解除			
10月26日				
9:00				第13回佐野市災害対策本部員会議を開催
12:00				自主避難所閉鎖（田沼中央公民館、野上基幹集落センター、新合総合センター、飛駒小学校、会沢地区コミュニティセンター、常盤中学校、氷室地区公民館、佐野地区公民館）
10月28日				
9:30				自衛隊活動終了式
10:30				第14回佐野市災害対策本部員会議を開催
10月31日				
9:00				第15回佐野市災害対策本部員会議を開催
11月5日				
10:00				第16回佐野市災害対策本部員会議を開催
11月11日				
10:00				第17回佐野市災害対策本部員会議を開催
11月17日				
12:00		避難情報解除（豊代町10世帯28名）		
11月18日				
9:00				第18回佐野市災害対策本部員会議を開催 佐野市復興推進会議を開催（佐野市災害対策本部から佐野市復興推進本部へ移行）
11月19日				
9:00				佐野市茂呂山老人福祉センター臨時避難所閉鎖
12月24日				
8:30		避難情報解除（豊代町1世帯7名）		

第３章　被害の概要

１　人的被害の状況

令和元年10月12日に上陸した台風は、非常に強い雨や風により、市内各所に浸水被害や土砂崩れを発生させました。

特に秋山川においては、河川の越水や堤防の決壊を引き起こすなど、未曽有の被害をもたらし、道路、河川、橋りょうといった公共インフラをはじめ、住宅等の市民の財産や、商工業、農業などの産業基盤にまで被害が拡大しました。

人的被害としては、死者、行方不明者、重傷者はありませんでしたが、避難途中に足を負傷した人など軽傷者3名の人的被害が発生しました。

秋山川に架かる大橋、中橋付近（大橋町）

人的被害件数（令和3年10月1日現在）

死者	行方不明者	重傷者	軽傷者	合計
0	0	0	3	3

２　建物被害の状況

（１）建物被害

建物被害としては、全壊20棟、大規模半壊128棟、半壊1,579棟、準半壊57棟、準半壊に至らない（一部損壊）が2,042棟の合計3,826棟の被害が確認されています。

建物被害棟数（令和3年10月1日現在）

区分	棟数		合計
	住家	非住家	
全壊	8	12	20
大規模半壊	89	39	128
半壊	956	623	1,579
準半壊	44	13	57
準半壊に至らない（一部損壊）	1,292	750	2,042
合計	2,389	1,437	3,826

（２）浸水被害

今回の災害では、河川の氾濫・堤防の決壊が主な原因となり、多くの浸水被害が発生しました。
被害棟数としては、床上浸水1,767棟、床下浸水2,059棟の被害が確認されています。

浸水被害棟数（令和3年10月1日現在）

区分	被害棟数
床上浸水	1,767
床下浸水	2,059
合計	3,826

被害状況調査の様子

浸水深の測定

（３）り災証明

被害を受けた住家に対して2,091件のり災証明書を交付しました。内訳は、全壊6件、大規模半壊76件、半壊972件、準半壊96件、準半壊に至らない（一部損壊）924件、浸水被害なし17件となっています。

り災証明申請受付会場

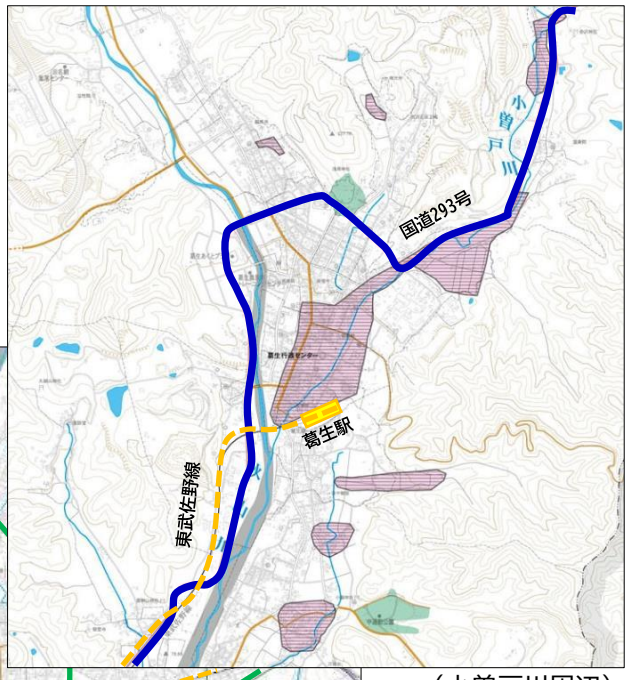
り災証明書発行件数（令和3年10月1日現在）

区分	交付件数	合計
全壊	6	2,091
大規模半壊	76	
半壊	972	
準半壊	96	
準半壊に至らない（一部損壊）	924	
浸水被害なし	17	

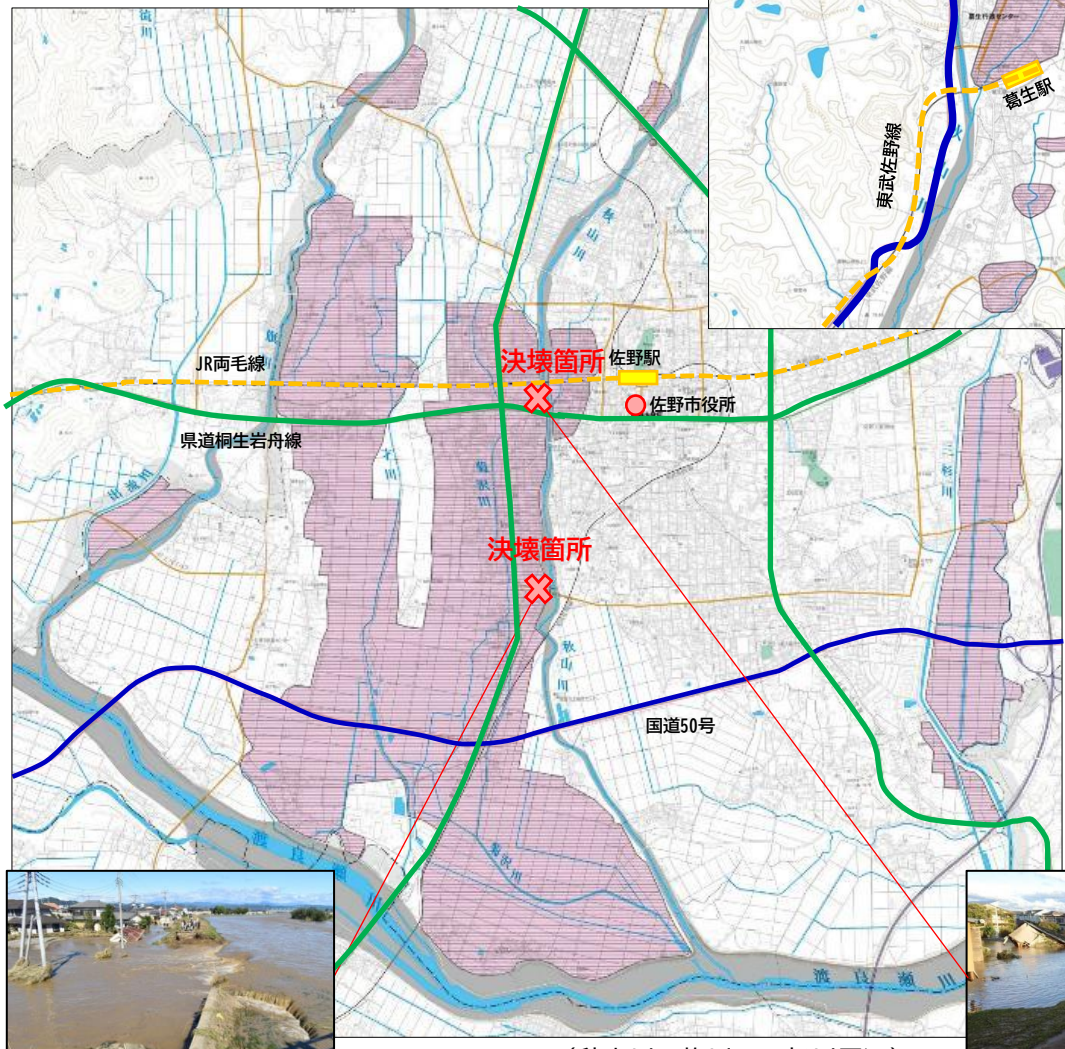
３　浸水被害の状況

（１）浸水区域図

　航空写真、ハザードマップ、現地調査等を基に作成した主な浸水区域です。
　各所で河川の氾濫等が発生し、特に秋山川においては2箇所で堤防が決壊するなど、浸水被害が広範囲に及びました。



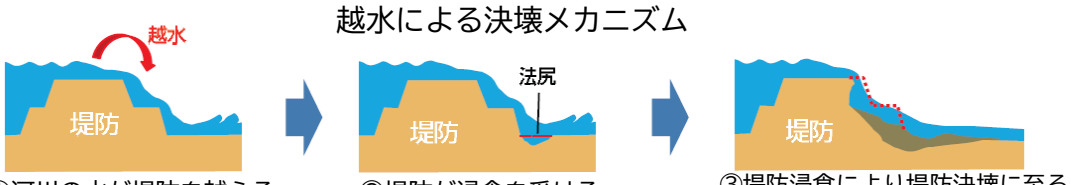
（小曽戸川周辺）



（秋山川・旗川・三杉川周辺）

※秋山川堤防決壊の要因は、秋山川で流せる水の量（流下能力）を超える雨が降ったことで、河川の水が堤防を越え、堤防が浸食を受けたこと、及び堤防からの漏水が発生したことであると考えられています。

越水による決壊メカニズム



①河川の水が堤防を越える　②堤防が浸食を受ける　③堤防浸食により堤防決壊に至る

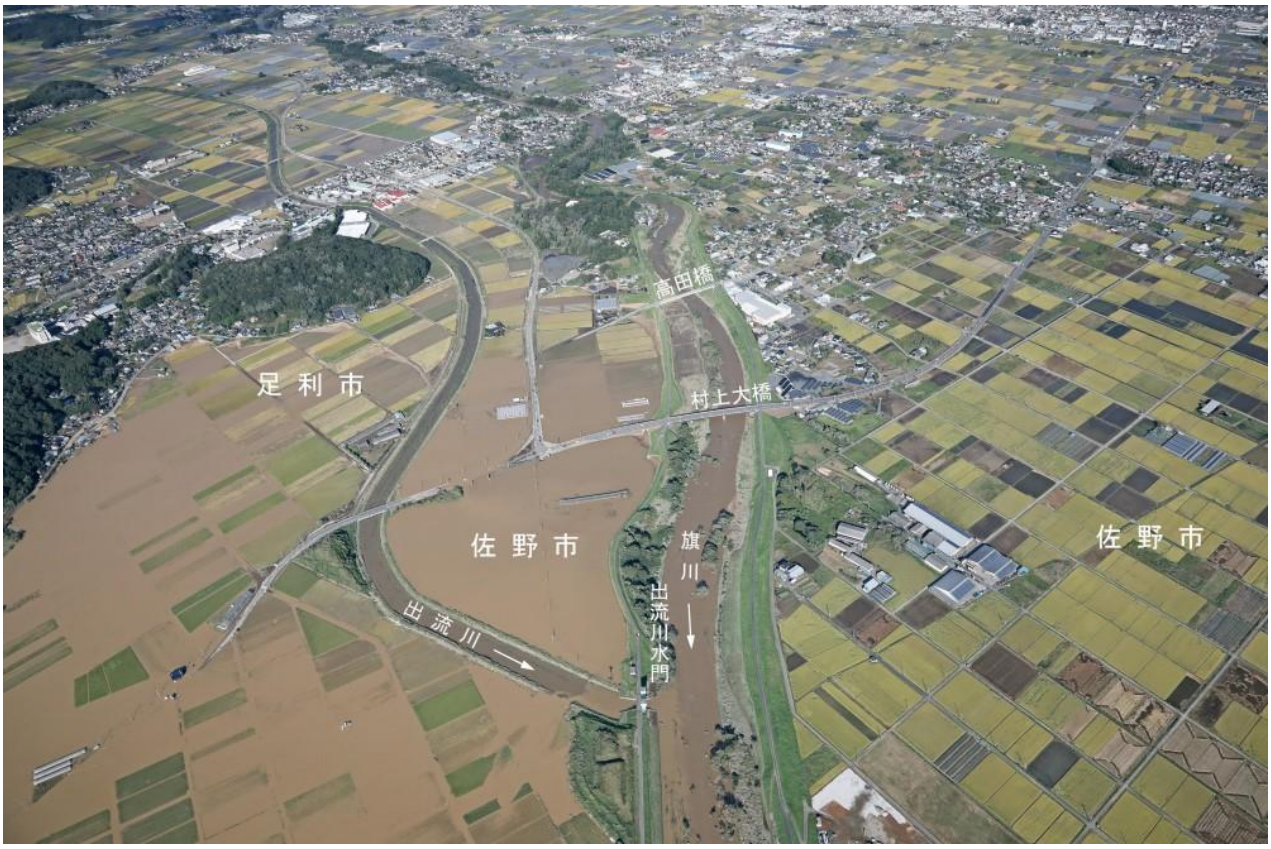
出典：栃木県「河川激甚災害特別緊急事業秋山川」

（２）航空写真

（１）三杉川　佐野新都市付近

（２）秋山川・渡良瀬川　合流点付近

（３）旗川・出流川　合流点付近



（４）秋山川　新海陸橋付近

（５）秋山川　大橋・中橋付近

（６）主要地方道佐野環状線　大橋アンダー付近

4　生活基盤・その他被害状況

（1）道路・河川・橋りょう

台風による記録的豪雨の影響で、市内を流れるほぼ全ての河川が氾濫しました。
氾濫した河川は、道路・橋りょうの崩落や流失、土砂堆積など多くの被害をもたらしました。

秋山川決壊箇所（赤坂町）

被害箇所数（令和3年10月1日現在）

区分	被害箇所数
市道	218
橋りょう	21
河川	248

特に秋山川では、大橋町及び赤坂町地内の2箇所で堤防が決壊し、甚大な浸水被害・土砂堆積被害等が発生したほか、水木町地内では河川に洗堀された道路が崩落し、市民が一時孤立するなど大規模な被害が発生しました。

浸水・土砂堆積した県道佐野環状線（赤坂町・田島町）

崩落した中橋（大橋町）

洗堀により崩落した県道秋山葛生線（水木町）

（２）公園・緑地

氾濫した河川の影響により、河川の緑地公園を中心に、市内13箇所の公園・緑地において、遊具の流失・破損、土砂及び災害ごみの堆積、敷地内の洗堀などの被害を受けました。

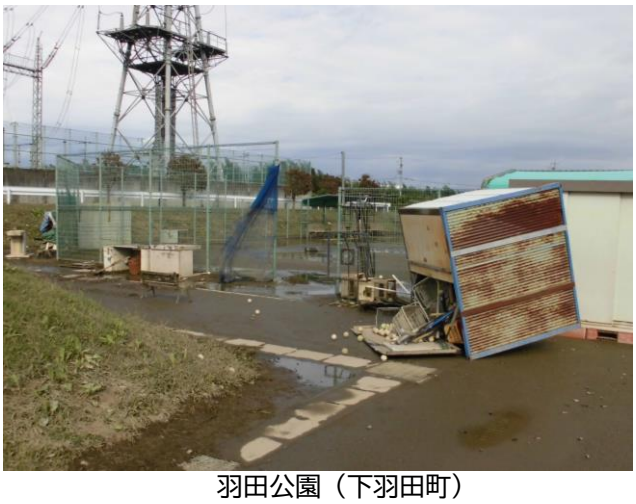
葛生本町公園（葛生西一丁目）

秋山川栃本緑地（栃本町）

秋山川堀米緑地（堀米町）

渡良瀬川緑地（船津川町）

上川原東公園（大橋町）


羽田公園（下羽田町）

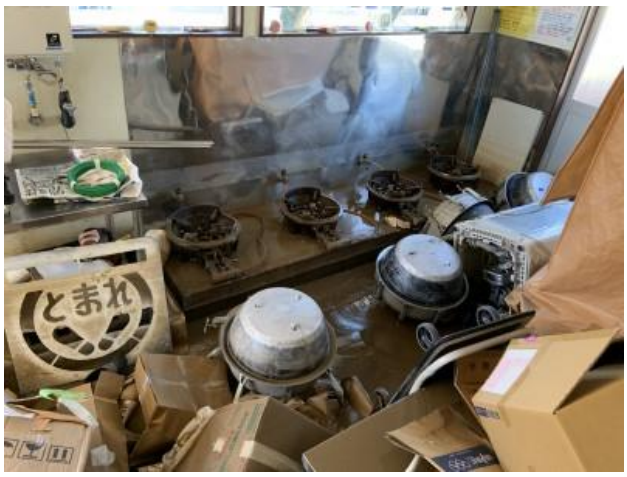
（３）教育施設・文化施設・福祉施設

教育・文化・福祉の各分野の施設において、浸水・土砂堆積や、施設の一部損壊等の被害が多数発生しました。特に指定避難所である西中学校では、秋山川の氾濫により大量の土砂が流入し、校庭が使用できなくなるなどの被害が発生しました。

被災施設一覧（令和3年10月1日現在）

区分	名称
教育施設	旗川小学校
	氷室小学校
	西中学校
	集会所 （大橋町東部・免鳥町）
	地区公民館 （佐野・植野・界・犬伏・城北・旗川・葛生）
	南部学校給食センター
文化施設	吉澤記念美術館
	郷土博物館
	葛生化石館
福祉施設	隣保館

校庭が水没した西中学校（大橋町）



施設内が浸水し施設が損壊した
大橋町東部集会所（大橋町）

敷地内が浸水し土砂が堆積した
葛生地区公民館及び葛生化石館（葛生東一丁目）

施設内が浸水し土砂が堆積した隣保館（赤坂町）

（４）商工業・農業

　堤防の決壊・河川の氾濫が発生した地域を中心に商工業や農業は大きな被害を受けました。
　特に農地は木くずや稲わら、土砂などに覆われた地域が広範囲に及びました。
　商工業に関する被害額は約101億円、農業に関する被害額は約25億円に及ぶと推計されています。

土砂崩れの被害を受けた自動車修理工場
（豊代町）

商工業被害件数（令和3年10月1日現在）

区分	被害数
建物	176
機械設備	305
商品	159
原材料・資材	130

広範囲にわたり水没した農地（大古屋町）

農業被害数（令和3年10月1日現在）

区分	被害数
土砂流入・流亡農地	約85ha
ビニールハウス等	71件
農機具類	226件
農作物	92件
家畜等	1件
頭首工	20件
農業水利施設	115件

浸水・土砂堆積の被害を受けたビニールハウス
（大古屋町）

（５）災害堆積土砂

　堤防の決壊・河川の氾濫等により、大量の土砂が市街地へと流入しました。
　流入土砂は被災地域の宅地内や道路上へ堆積し、交通網に重大な影響を及ぼしました。
　これらの災害堆積土砂は、主に田沼グリーンスポーツセンター多目的競技場を仮置場として一時集積され、その後処理が行われました。
　堆積した土砂は約2万5千㎥（約3万5千t）を超える量となりました。

河川から流入した土砂が住宅地に堆積
（赤坂町）

災害堆積土砂等処理内訳（令和3年10月1日現在）

品目	処理量（ｔ）
分別土砂	33,988
流木	27
がれき	1,079
混合廃棄物	480
可燃物	137
不燃物	5
合計	**35,716**

宅地から搬出された土砂
（大橋町）

宅地から搬出・集積された土砂
（戸室町：田沼グリーンスポーツセンター多目的競技場）

集積された土砂の処理作業の様子
（戸室町：田沼グリーンスポーツセンター多目的競技場）

（６）災害ごみ

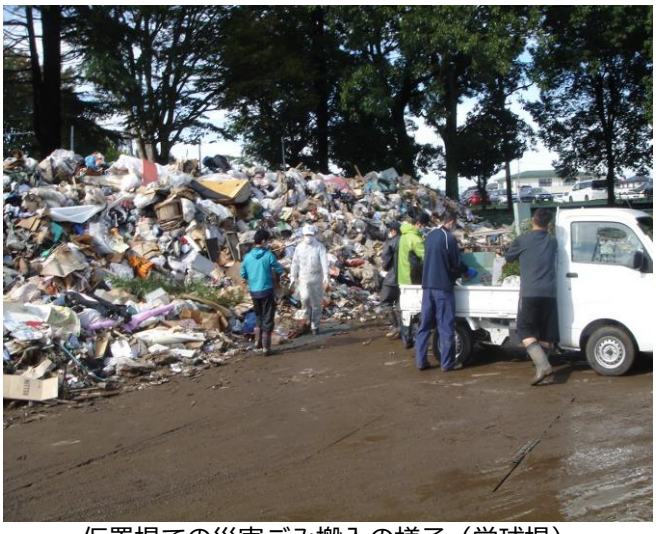
被災家屋等からは大量の災害ごみが発生し、市が設置した仮置場へ運び込まれました。

本市の災害ごみの発生量は約1万5千ｔに及び、仮置場に指定した「赤見運動公園プール駐車場」、「中運動公園野球場（Ｂ・Ｃ球場）」、「栄公園野球場」、「田沼総合運動場野球場」に運び込まれ、その後処理が行われました。

道路脇に集積された災害ごみ（大橋町）

災害ごみ処理内訳（令和3年10月1日現在）

品目	処理量(ｔ)
可燃物	3,239
畳	450
木くず	1,056
タイヤ	57
家電	160
不燃物	382
金属くず	63
危険物等	3
土砂混じりがれき	1,767
稲わら	202
農業用ビニールハウス	3
家屋解体ごみ	6,053
混合廃棄物	2,023
合計	**15,458**



仮置場での災害ごみ搬入の様子（栄球場）

仮置場での災害ごみ搬入の様子
（中運動公園野球場　Ｂ・Ｃ球場）

第４章　初動・応急対応

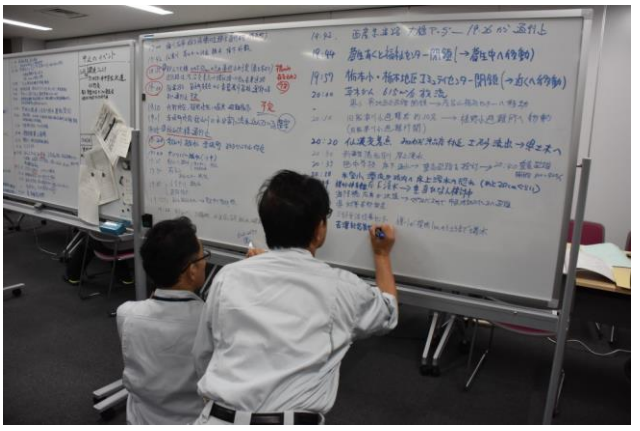
1　佐野市災害警戒本部・佐野市災害対策本部

佐野市地域防災計画に基づき、令和元年10月11日15時30分、佐野市災害警戒本部を設置し、第1回佐野市災害警戒本部員会議を開催しました。

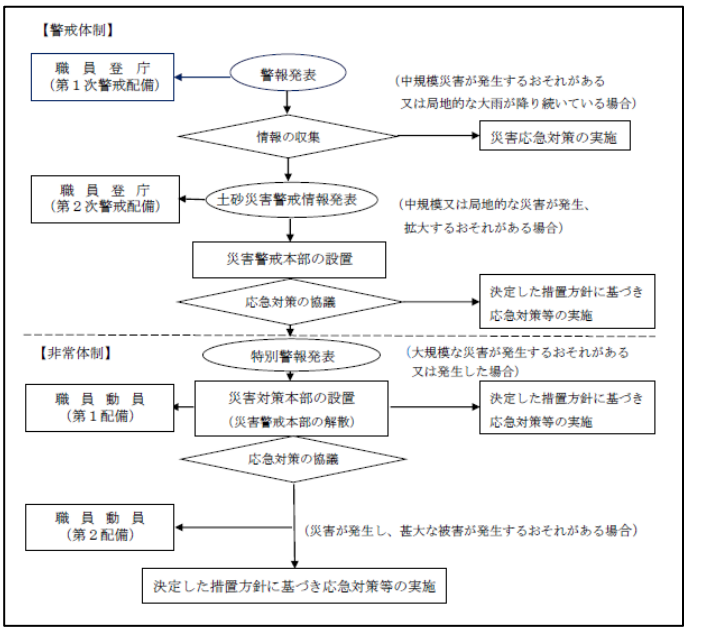
その後、台風の接近により、大規模な災害が発生するおそれがあると判断し、10月12日17時40分、佐野市災害対策本部を設置し、同日18時30分、第1回佐野市災害対策本部員会議を開催しました。

会議では、現状や課題を整理し、災害対応方針を協議するとともに、支援機関との情報共有を図りました。

佐野市災害対策本部の様子



佐野市災害対策本部での情報共有



佐野市地域防災計画抜粋

災害警戒本部・対策本部活動状況

年月日	時間	活動内容
R1.10.11	15:30	佐野市災害警戒本部設置 第1回佐野市災害警戒本部員会議
10.12	9:00	第2回佐野市災害警戒本部員会議
	17:30	第3回佐野市災害警戒本部員会議
	17:40	佐野市災害対策本部設置
	18:30	第1回佐野市災害対策本部員会議
10.13	10:00	第2回佐野市災害対策本部員会議
	14:00	第3回佐野市災害対策本部員会議
10.14	9:00	第4回佐野市災害対策本部員会議
10.15	16:00	第5回佐野市災害対策本部員会議
10.16	10:00	第6回佐野市災害対策本部員会議
10.17	10:00	第7回佐野市災害対策本部員会議
10.18	10:00	第8回佐野市災害対策本部員会議
10.19	9:00	第9回佐野市災害対策本部員会議
10.20	9:00	第10回佐野市災害対策本部員会議
10.22	9:00	第11回佐野市災害対策本部員会議
10.24	9:00	第12回佐野市災害対策本部員会議
10.26	9:00	第13回佐野市災害対策本部員会議
10.28	10:30	第14回佐野市災害対策本部員会議
10.31	9:00	第15回佐野市災害対策本部員会議
11. 5	10:00	第16回佐野市災害対策本部員会議
11.11	10:00	第17回佐野市災害対策本部員会議
11.18	9:00	第18回佐野市災害対策本部員会議 佐野市復興推進会議（佐野市災害対策本部から佐野市復興推進本部へ移行）

2　避難所

（１）自主避難所・指定避難所

10月12日8時30分、台風の接近に伴い、市内3箇所（佐野地区公民館、田沼中央公民館、葛生あくと福祉センター）に自主避難所を開設しました。

その後、10月12日11時00分、市内全域に「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」を発令するとともに、市内の全指定避難所を開設し、避難者の受け入れを行いました。総避難者数（最大時）は4,217人に上りました。

避難所の様子（多田小学校　10月12日）

避難所の様子（北中学校　10月12日）

指定避難所一覧（令和元年10月12日時点）

番号	避難所名	番号	避難所名	番号	避難所名
1	佐野小学校	21	吾妻小学校	41	旧野上小学校
2	天明小学校	22	吾妻地区公民館	42	野上基幹集落センター
3	西中学校	23	赤見小学校	43	山形小学校
4	佐野地区公民館	24	石塚小学校	44	新合総合センター
5	佐野駅前交流プラザ	25	出流原小学校	45	飛駒小学校
6	植野小学校	26	赤見中学校	46	飛駒基幹集落センター
7	南中学校	27	赤見地区公民館	47	葛生南小学校
8	旧船津川小学校	28	田沼小学校	48	葛生小学校
9	植野地区公民館	29	田沼東中学校	49	葛生中学校
10	界小学校	30	田沼中央公民館	50	会沢地区コミュニティセンター
11	界地区公民館	31	田沼地区公民館	51	くずう保育園
12	犬伏小学校	32	吉水小学校	52	葛生あくと福祉センター
13	犬伏東小学校	33	新吉水地区コミュニティセンター	53	常盤中学校
14	北中学校	34	多田小学校	54	常盤地区公民館
15	犬伏地区公民館	35	栃本小学校	55	氷室地区公民館
16	城北小学校	36	栃本地区コミュニティセンター		
17	城北地区公民館	37	戸奈良小学校		
18	佐野武道館	38	三好小学校		
19	旗川小学校	39	田沼西中学校		
20	旗川地区公民館	40	三好生活改善センター		

（２）佐野市茂呂山老人福祉センター

住宅等に大きな被害が発生した避難者の長期避難が想定されたため、臨時的な措置として10月13日17時00分より佐野市茂呂山老人福祉センターを避難所として開設し、11月19日9時00分に全避難者が退所するまで避難所運営を行いました。
開設時には市内外からの支援物資や、事業所・ボランティア等による炊出しなど、皆様より暖かい支援をいただきました。

佐野市茂呂山老人福祉センター（茂呂山町）

3　救助・支援活動

（１）警察・消防・自衛隊

台風の接近とともに警戒体制を強化し、栃木県警察、佐野市消防本部及び佐野市消防団が協力・連携しながら被災者の救助、避難誘導、交通規制、パトロール等の活動に当たりました。

危険箇所巡回の様子

危険箇所マッピング

発災後においては、災害堆積土砂・災害ごみ仮置場の運営支援や、避難所等の治安維持のためパトロール等を行いました。

消防団員による災害ごみ仮置場支援活動

陸上自衛隊においては、陸上自衛隊宇都宮駐屯地及び東部方面混成団第48普通科連隊の隊員、延べ約2,000名が被災地にて活動を行いました。活動内容は、被災者の救助や被災した市民の生活支援として入浴施設の運営を行ったほか、甚大な被害を受けた公共施設及びインフラの早期復旧のため、施設・道路の土砂撤去等の応急復旧活動を行いました。

自衛隊による災害土砂撤去活動

自衛隊による被災者入浴支援（京の湯）

（２）自治体等

10月13日、総務省の応急対策職員派遣制度(被災市区町村応援職員確保システム)に基づき、「総括支援チーム」の応援要請を行いました。

要請に基づき、栃木県、徳島県、奈良県、和歌山県から総括支援員、災害マネジメント支援員及び連絡員が派遣されました。

このほか、北関東･新潟地域連携軸推進協議会等をはじめ、災害協定に基づく支援や、災害協定の有無にかかわらず、県内外の自治体等から多くの応援職員が派遣され、応急対応に係る支援が行われました。

主な支援業務と延べ人数

支援業務	人数
災害マネジメント支援	176
被害家屋調査	823
被害状況調査(事業所・農地等)	242
り災証明の受付・交付	167
ごみ処理・土砂撤去支援	1,421
河川・道路・側溝等の復旧支援	354
その他事務支援等	1,765

災害マネジメント支援員･連絡員（徳島県）との被害状況確認

支援自治体等一覧		
関東地方整備局（TEC-FORCE）	東京都中野区	埼玉県加須市
関東地方環境事務所	東京都北区	新潟県新潟市
関東農政局	群馬県前橋市	新潟県長岡市
栃木県（県内自治体含む）	群馬県伊勢崎市	静岡県静岡市
徳島県（県内自治体含む）	群馬県沼田市	静岡県三島市
奈良県（県内自治体含む）	群馬県桐生市	滋賀県彦根市
和歌山県（県内自治体含む）	群馬県館林市	大阪府泉佐野市
山梨県（県内自治体含む）	群馬県みどり市	大阪府貝塚市
東京都足立区	群馬県板倉町	兵庫県神戸市
東京都中央区	群馬県みなかみ町	愛媛県大洲市

応急対策職員派遣制度のほか、総務省・全国市長会及び全国町村会による、被災市町村に対する中長期の職員派遣制度により、県内外の自治体から応援職員が派遣されました。

自治体により、職員が交代しながら、2ヶ月～1年の派遣期間で、災害見舞金に関する業務、災害ごみの処理に関する業務、河川及び道路の復旧に関する業務、被災状況の取りまとめ等に関する事務について支援いただきました。

被災状況等の報告の様子
（大泉町応援職員）

被災状況等の報告の様子
（高崎市応援職員）

支援自治体等一覧		
栃木県	群馬県大泉町	山梨県中央市
栃木県小山市	群馬県高崎市	奈良県香芝市
栃木県益子町	埼玉県朝霞市	大阪府泉佐野市
栃木県真岡市	埼玉県草加市	

（３）企業・団体等

市内各所で甚大な被害が発生いたしましたが、発災直後より、土砂撤去や、災害ごみの分別など、災害協定の有無にかかわらず、多くの企業や団体等に災害支援活動をしていただきました。

主な支援内容
・土砂撤去、土砂運搬
・路面清掃、側溝清掃
・小規模工事　・災害ごみ分別
・水没車両の移動　・ドローン撮影
・災害ボランティア移動支援
・訪問健康確認　・被災高齢者訪問ケア

流入土砂等撤去活動の様子

ボランティアバスの運行の様子

（４）災害ボランティア

災害ボランティアセンター受付

10月13日、市は佐野市地域防災計画に基づき佐野市災害ボランティアセンター（以下、センター）の設置を決定し、佐野市社会福祉協議会にセンターの開設を要請しました。

要請に基づき、佐野市社会福祉協議会（大橋町）を拠点としてセンターが開設され、10月16日より災害ボランティアの受入れが開始されました。

センターでは、災害ボランティアと被災者ニーズのマッチングを行い、災害ボランティアは、被災者の家屋や敷地など、生活空間の復旧・復興を中心とした被災者支援活動を行いました。

センターは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年2月25日から6月5日まで活動を一時休止しましたが、すべてのニーズへの対応が完了するまで支援を継続し、令和2年7月31日をもって閉所されました。

この間、センターの運営に対しましては、栃木県社会福祉協議会をはじめとする全国の関係機関・団体からの人的支援と、災害ボランティア、延べ12,527名の支援をいただきました。

災害ボランティア活動実績

区分	人数
市　内	2,745
市　外	9,782
合　計	12,527

支援件数	件数
ニーズ受付件数（キャンセル除く）	790
支援完了数	790
達成率	100%

災害ボランティアによる支援活動の様子（赤坂町・大橋町ほか）

（５）支援物資

今回の災害では、テレビや新聞等で本市の被害状況が大きく報じられたことで、非常食や飲料水をはじめ、衣料品や日常雑貨、清掃用具や作業用具など、様々な支援物資が全国各地の皆様から数多く寄せられました。

これらの支援物資は、アリーナたぬまに集積され、市内避難所への補給物資として活用されたほか、町会を通して被災された方々へ配布しました。

このことは物資の調達が難しくなっていた被災地域にとって大きな支えとなりました。

主な支援物資一覧

区分	数量
飲料品	約21,000Ｌ
食料品	約16,900食
日用品 （タオル、衣料品、マスク等）	約47,000個
その他 （土のう袋、清掃用具、作業用具等）	約192,000個

支援物資受入・配布の様子

（６）寄付金・義援金

被害状況が明らかになるにつれ、全国各地、市内外の皆様から温かいご支援が続々と寄せられました。

ふるさと納税制度等を活用して寄せられた寄付金、総額96,794,049円につきましては市の復旧事業・支援事業に充てさせていただきました。

また、市民や全国の皆様方をはじめ、日本赤十字社、共同募金会からお寄せいただいた436,410,458円に上る災害義援金は、被害の程度に応じて、被災された世帯への配分を行いました。

○寄付金

寄付金の受入状況

区分	件数	金額(円)
佐野市	198	20,709,418
佐野市以外	2,186	76,084,631
合　計	2,384	96,794,049

（主な寄付金活用事業）
・令和元年東日本台風被害に伴う災害見舞金支給事業費
・災害ボランティアセンター支援事業費
・崩落土砂等撤去支援事業費
・被災企業等支援事業費
・橋りょう災害復旧支援事業費
・普通河川等災害復旧事業費
・自治公民館整備支援事業費

○義援金

義援金の受入状況

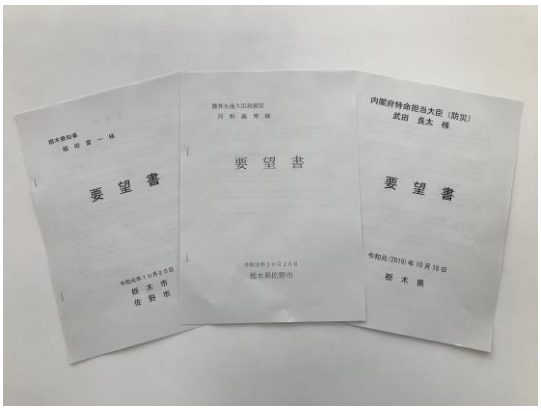
区分	金額(円)
佐野市	59,005,008
佐野市以外	377,405,450
合　計	436,410,458

義援金の配分状況

区分	人的被害（中等症以下）	全壊	大規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊	合計
件数	3	6	75	927	84	834	1,929
1件あたりの配分額(円)	74,068	740,980	518,476	370,340	222,204	37,034	—
配分総額(円)	222,206	4,445,880	38,885,700	343,305,180	18,665,136	30,886,356	436,410,458

4　被災状況視察・要望活動

　発災後において、大臣、政務官、栃木県知事による、被災状況の視察が行われました。
　また、10月18日には内閣府及び国土交通省へ、10月20日には農林水産省へ、10月25日には栃木県へそれぞれ要望書を提出し、早期復旧に向けて支援を要望しました。



令和元年10月15日　福田栃木県知事視察
秋山川決壊現場で状況説明

令和元年10月20日　河野農林水産大臣政務官視察
農家の現状を説明

令和元年10月20日　茂木外務大臣視察
秋山川決壊現場で状況説明

令和元年10月21日　武田防災担当大臣、今井内閣府大臣政務官視察
災害ごみ仮置場で状況説明

第５章　被災者支援・復旧事業

１　佐野市復興推進本部

（１）佐野市復興推進本部会議

発災後、約1ヶ月が経過し、被災者支援事業や被害箇所の復旧作業が本格化したことに伴い、「佐野市災害復旧・復興基本方針」を策定し、令和元年11月18日に、佐野市災害対策本部を佐野市復興推進本部へと移行しました。

佐野市復興推進本部では、「すまいと暮らしの再建」、「安全な地域づくり」、「産業・経済の復興」を基本方針の3つの柱とし、市民生活や経済活動の一日も早い復旧・復興を目指し、各種支援・復旧事業の進捗管理や諸課題の解決策等を協議しました。

佐野市復興推進本部会議　活動状況

年月日	活動内容
R1.11.18	災害対策本部から復興推進本部へ移行
12.24	第1回佐野市復興推進本部会議
R2. 2. 4	第2回佐野市復興推進本部会議
4.21	第3回佐野市復興推進本部会議
7.29	第4回佐野市復興推進本部会議
10.26	第5回佐野市復興推進本部会議
R3. 3.23	第6回佐野市復興推進本部会議

佐野市災害復旧・復興基本方針の3つの柱

「すまいと暮らしの再建」

被災者の生活再建のための住宅、環境、健康、医療、福祉、雇用、教育などを総合的に支援するとともに、「快適により安全で安心して暮らせる」まちづくりを進めます。

「安全な地域づくり」

今回の台風被害の教訓を踏まえ、道路及び河川整備、砂防、治山等の安全対策を推進するとともに、自助・共助・公助による地域防災力の向上、コミュニティ強化等、ハード事業及びソフト事業の両面において、「市民の命を守る、災害に強い」まちづくりを進めます。

「産業・経済の復興」

甚大な被害を受けた農林業、商工業などの地域産業のあらゆる分野の産業復興に向けた取組を支援し、地域経済の「元気・活力のある」まちづくりを進めます。

（２）佐野市復旧・復興ロードマップ

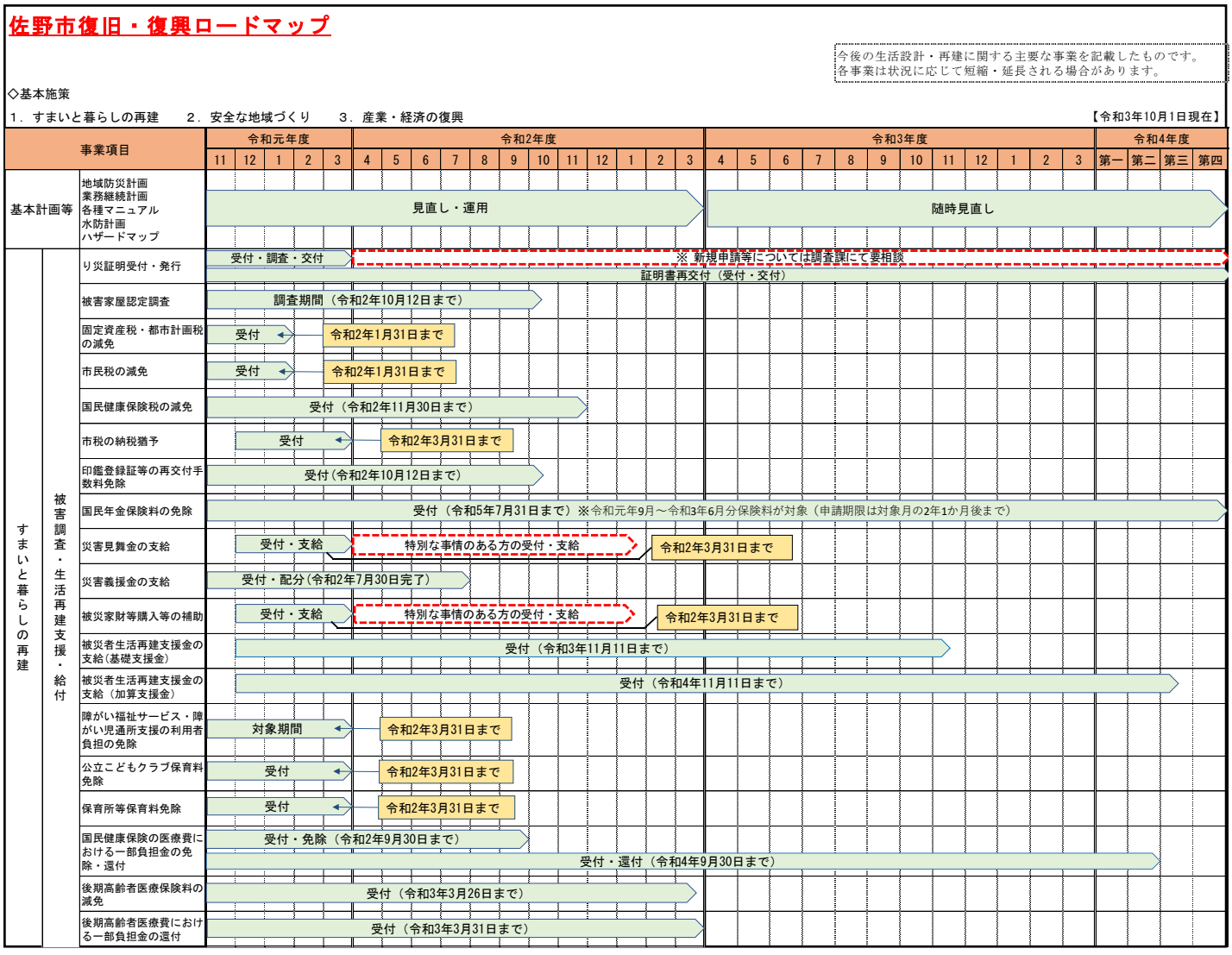
令和元年東日本台風被害からの一日も早い復旧・復興を実現するため、本市では、「佐野市災害復旧・復興基本方針」に掲げた3つの柱に関する事業ごとの達成見込み時期を示した「佐野市復旧・復興ロードマップ」を策定しました。

ロードマップに基づき、復旧支援事業の進捗状況を四半期ごとに調査・確認しながら、迅速かつ計画的に復旧・復興を進めました。

佐野市復旧・復興ロードマップ更新履歴

年月日	内容
R2.4.1	ロードマップ策定・公表
7.1	第1回更新
10.1	第2回更新
R3.1.4	第3回更新
3.1	第4回更新
7.1	第5回更新
10.1	第6回更新

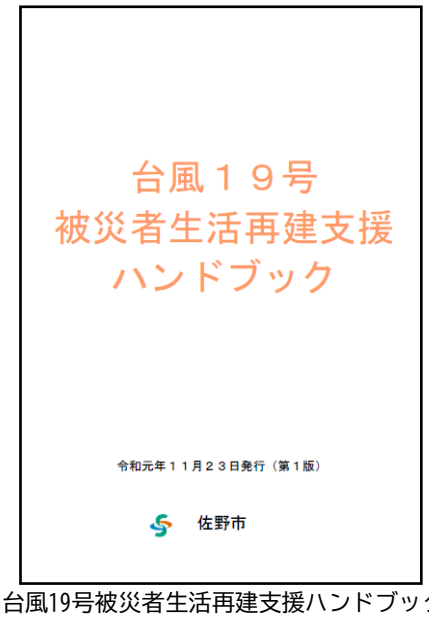
佐野市復旧・復興ロードマップ



（３）被災者生活再建支援ハンドブック・被災者生活再建支援のお知らせ

被災された方々に対して、どのような支援があるのか、どうしたら支援を受けられるのかなどをわかりやすく伝えるため、支援策を冊子にしてまとめた「台風19号被災者生活再建支援ハンドブック」を3回発行しました。

また、ハンドブック発行のほか、支援策の追加・変更等を速やかに周知するため、「台風19号による被災者生活再建支援のお知らせ」としてチラシを9回発行しました。



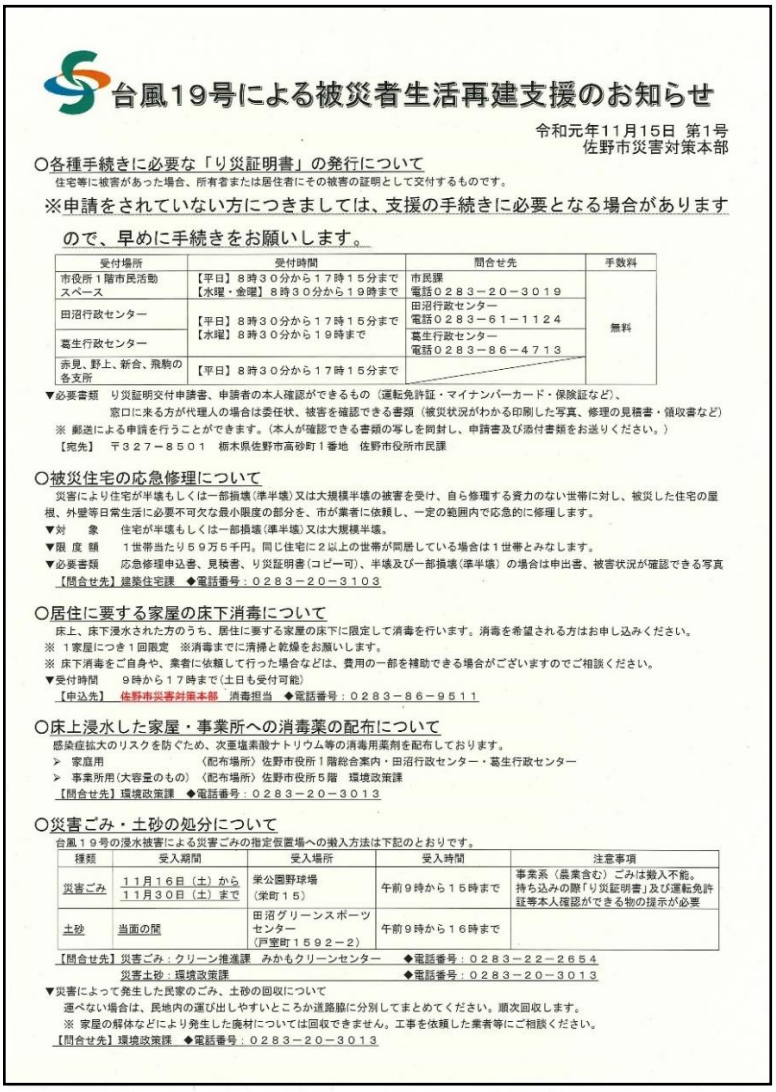
台風19号被災者生活再建支援ハンドブック

「台風19号被災者生活再建支援ハンドブック」発行状況

年月日	内容
R1.11.23	第1版発行
R2. 1. 6	第2版発行
2. 3	第3版発行

「台風19号による被災者生活再建支援のお知らせ」発行状況

年月日	内容
R1.11.15	第1号発行
11.22	第2号発行
R2. 1. 1	第3号発行
2. 1	第4号発行
3. 1	第5号発行
5. 1	第6号発行
7. 1	第7号発行
8. 1	第8号発行
10. 1	第9号発行



台風19号による被災者生活再建支援のお知らせ

令和元年11月15日 第1号
佐野市災害対策本部

○各種手続きに必要な「り災証明書」の発行について

住宅等に被害があった場合、所有者または居住者にその被害の証明として交付するものです。

※申請をされていない方につきましては、支援の手続きに必要となる場合がありますので、早めに手続きをお願いします。

受付場所	受付時間	問合せ先	手数料
市役所１階市民活動スペース	【平日】８時３０分から１７時１５分まで 【水曜】８時３０分から１９時まで	市民課 電話０２８３－２０－３０１９	無料
田沼行政センター	【平日】８時３０分から１７時１５分まで 【水曜】８時３０分から１９時まで	田沼行政センター 電話０２８３－６１－１１２４	
葛生行政センター		葛生行政センター 電話０２８３－８６－４７１３	
赤見、野上、新合、飛駒の各支所	【平日】８時３０分から１７時１５分まで		

▼必要書類　り災証明交付申請書、申請者の本人確認ができるもの（運転免許証・マイナンバーカード・保険証など）、窓口に来る方が代理人の場合は委任状、被害を確認できる書類（被災状況がわかる印刷した写真、修理の見積書・領収書など）

※ 郵送による申請を行うことができます。（本人が確認できる書類の写しを同封し、申請書及び添付書類をお送りください。）

【宛先】　〒３２７－８５０１　栃木県佐野市高砂町１番地　佐野市役所市民課

○被災住宅の応急修理について

災害により住宅が半壊もしくは一部損壊（準半壊）又は大規模半壊の被害を受け、自ら修理する資力のない世帯に対し、被災した住宅の屋根、外壁等日常生活に必要不可欠な最小限度の部分を、市が業者に依頼し、一定の範囲内で応急的に修理します。

▼対　　象　　住宅が半壊もしくは一部損壊（準半壊）又は大規模半壊。

▼限 度 額　　１世帯当たり５９７５千円。同じ住宅に２以上の世帯が同居している場合は１世帯とみなします。

▼必要書類　　応急修理申込書、見被害、り災証明書（コピー可）、半壊及び一部損壊（準半壊）の場合は申出書、被害状況が確認できる写真

【問合せ先】建築住宅課　◆電話番号：０２８３－２０－３１０３

○居住に要する家屋の床下消毒について

床上、床下浸水された方のうち、居住に要する家屋の床下に限定して消毒を行います。消毒を希望される方はお申し込みください。

※ １家屋につき１回限定　※消毒までに清掃と乾燥をお願いします。

※ 床下消毒をご自身や、業者に依頼して行った場合などは、費用の一部を補助できる場合がございますのでご相談ください。

▼受付時間　　９時から１７時まで（土日も受付可能）

【申込先】　佐野市災害対策本部　消毒担当　◆電話番号：０２８３－８６－９５１１

○床上浸水した家屋・事業所への消毒薬の配布について

感染症拡大のリスクを防ぐため、次亜塩素酸ナトリウム等の消毒用薬剤を配布しております。

➢ 家庭用　　《配布場所》佐野市役所１階総合案内・田沼行政センター・葛生行政センター

➢ 事業所用（大容量のもの）《配布場所》佐野市役所５階　環境政策課

【問合せ先】環境政策課　◆電話番号：０２８３－２０－３０１３

○災害ごみ・土砂の処分について

台風１９号の浸水被害による災害ごみの指定仮置場への搬入方法は下記のとおりです。

種類	受入期間	受入場所	受入時間	注意事項
災害ごみ	１１月１６日（土）から １１月３０日（土）まで	栄公園野球場 （栄町１５）	午前９時から１５時まで	事業系（農業含む）ごみは搬入不能。 持ち込みの際「り災証明書」及び運転免許証等本人確認ができる物の提示が必要
土砂	当面の間	田沼グリーンスポーツセンター （戸室町１５９２－２）	午前９時から１６時まで	

【問合せ先】災害ごみ：クリーン推進課　みかもクリーンセンター　◆電話番号：０２８３－２２－２６５４

災害土砂：環境政策課　◆電話番号：０２８３－２０－３０１３

▼災害によって発生した民家のごみ、土砂の回収について

運べない場合は、民地内の運び出しやすいところか道路脇に分別してまとめてください。順次回収します。

※ 家屋の解体などにより発生した廃材については回収できません。工事を依頼した業者等にご相談ください。

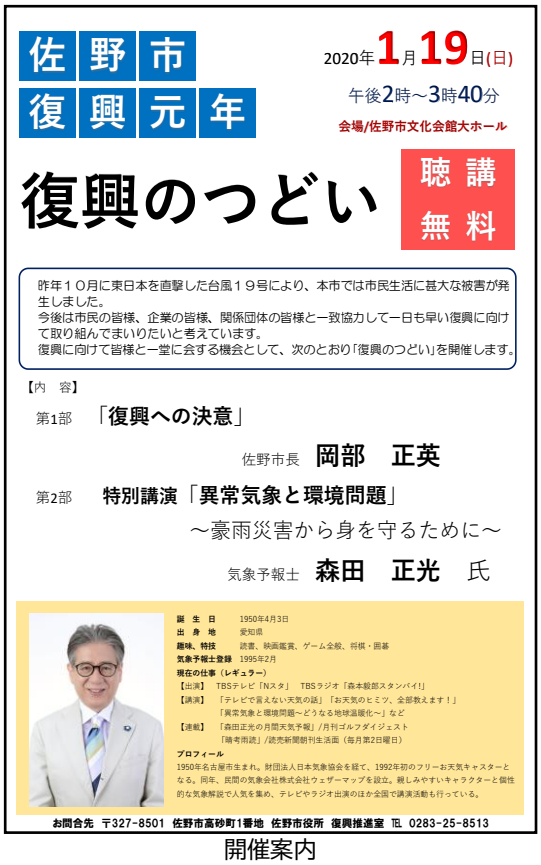
【問合せ先】環境政策課　◆電話番号：０２８３－２０－３０１３

（４）復興のつどい

市民・企業・関係団体等が一致団結し、全市を挙げて一日も早い復旧・復興を目指すため、「復興のつどい」を開催し、約1,000人の方にご来場いただきました。

「復興のつどい」では、令和元年東日本台風による被害や支援の状況、復旧・復興方針を市民の皆様にご報告するとともに、特別講演として、気象予報士の森田正光氏をお招きし、「異常気象と環境問題～豪雨災害から身を守るために～」と題してご講話いただきました。

復興状況の報告



佐野市 復興元年

2020年1月19日(日)
午後2時～3時40分
会場/佐野市文化会館大ホール

復興のつどい

聴講無料

昨年１０月に東日本を直撃した台風１９号により、本市では市民生活に甚大な被害が発生しました。
今後は市民の皆様、企業の皆様、関係団体の皆様と一致協力して一日も早い復興に向けて取り組んでまいりたいと考えています。
復興に向けて皆様と一堂に会する機会として、次のとおり「復興のつどい」を開催します。

【内　容】

第1部　「復興への決意」
佐野市長　岡部　正英

第2部　特別講演「異常気象と環境問題」
～豪雨災害から身を守るために～
気象予報士　森田　正光　氏

誕生日　1950年4月3日
出身地　愛知県
趣味、特技　読書、映画鑑賞、ゲーム全般、将棋・囲碁
気象予報士登録　1995年2月
現在の仕事（レギュラー）
【出演】　TBSテレビ「Nスタ」　TBSラジオ「森本毅郎スタンバイ!」
【講演】　「テレビで言えない天気の話」「お天気のヒミツ、全部教えます！」
「異常気象と環境問題～どうなる地球温暖化～」など
【連載】　「森田正光の月間天気予報」/月刊ゴルフダイジェスト
「晴考雨読」/読売新聞朝刊生活面（毎月第2日曜日）
プロフィール
1950年名古屋市生まれ。財団法人日本気象協会を経て、1992年初のフリーお天気キャスターとなる。同年、民間の気象会社株式会社ウェザーマップを設立。親しみやすいキャラクターと個性的な気象解説で人気を集め、テレビやラジオ出演のほか全国で講演活動も行っている。

お問合先　〒327-8501　佐野市高砂町1番地　佐野市役所　復興推進室　TEL　0283-25-8513

開催案内

会場の様子

森田正光　氏

被害状況のパネル展示

災害義援金の受付

（５）復旧・復興シンポジウム

台風被害から1年の節目として、令和元年東日本台風復旧・復興シンポジウム「元気な佐野市へ！～今を知り、未来へつなぐ～」を開催しました。

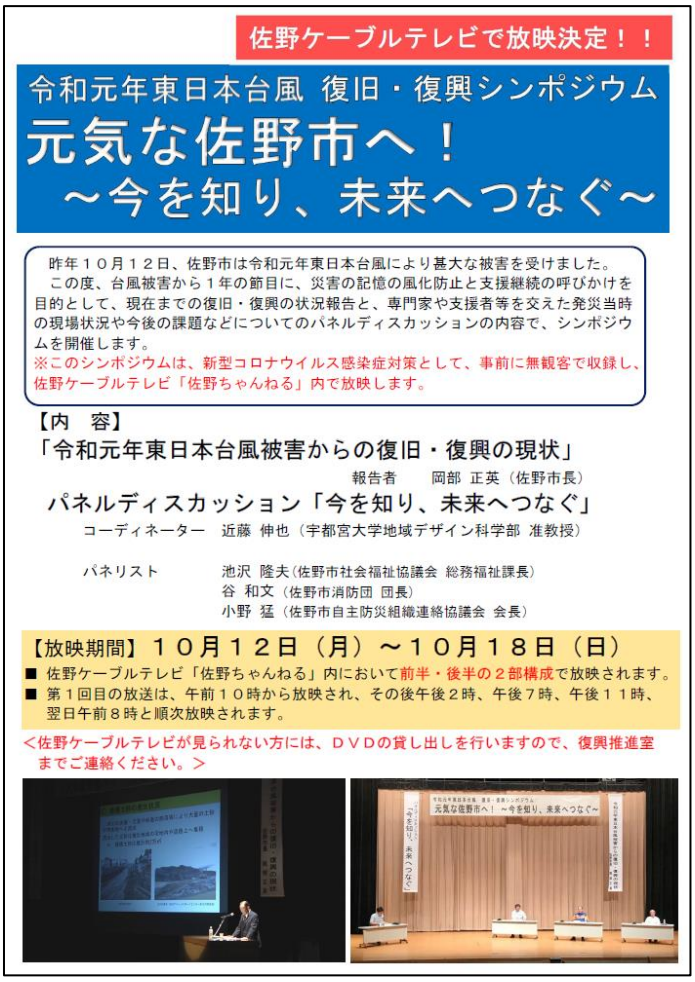
シンポジウムでは、佐野市の復旧・復興状況の報告や、発災当時の現場状況、今後の課題などについて、専門家や支援者等を交えたパネルディスカッションを行うことにより、災害の記憶の風化を防止し、支援継続を呼びかけました。

なお、開催にあたっては、佐野市文化会館にて、多くの市民にご来場いただく計画でしたが、市内における新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、佐野ケーブルテレビの協力を得て無観客による収録を行い、佐野ケーブルテレビにおいて放映しました。

また、ケーブルテレビをご覧になれない方には収録DVDの貸出しを行いました。

復旧状況報告スライド

パネリスト
（写真左）池沢隆夫氏（佐野市社会福祉協議会　総務福祉課長）
（写真中）谷和文氏（佐野市消防団　団長）
（写真右）小野猛氏（佐野市自主防災組織連絡協議会　会長）
※開催当時の役職



佐野ケーブルテレビで放映決定！！

令和元年東日本台風 復旧・復興シンポジウム

元気な佐野市へ！
～今を知り、未来へつなぐ～

昨年１０月１２日、佐野市は令和元年東日本台風により甚大な被害を受けました。
この度、台風被害から１年の節目に、災害の記憶の風化防止と支援継続の呼びかけを目的として、現在までの復旧・復興の状況報告と、専門家や支援者等を交えた発災当時の現場状況や今後の課題などについてのパネルディスカッションの内容で、シンポジウムを開催します。
※このシンポジウムは、新型コロナウイルス感染症対策として、事前に無観客で収録し、佐野ケーブルテレビ「佐野ちゃんねる」内で放映します。

【内　容】
「令和元年東日本台風被害からの復旧・復興の現状」
報告者　岡部 正英（佐野市長）
パネルディスカッション「今を知り、未来へつなぐ」
コーディネーター　近藤 伸也（宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授）
パネリスト　池沢 隆夫（佐野市社会福祉協議会 総務福祉課長）
谷 和文（佐野市消防団 団長）
小野 猛（佐野市自主防災組織連絡協議会 会長）

【放映期間】１０月１２日（月）～１０月１８日（日）
■ 佐野ケーブルテレビ「佐野ちゃんねる」内において前半・後半の２部構成で放映されます。
■ 第１回目の放送は、午前１０時から放映され、その後午後２時、午後７時、午後１１時、翌日午前８時と順次放映されます。

＜佐野ケーブルテレビが見られない方には、ＤＶＤの貸し出しを行いますので、復興推進室までご連絡ください。＞

開催案内

コーディネーター
宇都宮大学デザイン科学部　近藤伸也　准教授

２　被災者支援

（１）被災者支援制度

被災者の生活再建に向けて各種制度を運用し、以下のとおり支援を行いました。

1　り災証明書

被災された住家等に対して被害認定調査を実施し、調査結果に基づき住家等の被害程度を証明する、り災証明書を交付しました。

・り災証明書交付、再交付
・被害家屋認定調査

2　手数料の免除・減免

災害により汚損・滅失した証明書等の再交付や、各種申請に係る手数料等の免除・減免を行いました。

・印鑑登録証、個人番号カード、個人番号通知カードの再交付
・開発許可、建築確認の申請

3　市税、保険料、利用料等の免除・減免・還付等

被災程度等に応じて税や保険料、利用者負担金等の免除・減免・還付を実施しました。

・市税の納税猶予　・市民税　・固定資産税　・都市計画税　・国民健康保険税
・国民健康保険医療費　・国民年金保険料　・介護保険料
・介護保険利用者負担　・後期高齢者医療費　・後期高齢者医療保険料
・障害基礎年金支給停止等解除　・障がい福祉サービス利用者負担
・障がい児童通所支援利用者負担　・水道料金　・下水道使用料
・公立こどもクラブ保育料　・保育所等保育料　・雑損控除等説明会及び相談会

4　支援金、補助金等の支給

被災程度等に応じて見舞金や支援金の支給や、復旧・修繕費用等の補助など各種補助金の支給を実施しました。

・災害見舞金　・生活再建支援金
・被災家財等購入等補助金　・崩落土砂等撤去補助
・学用品支給　・就学援助金
・児童扶養手当特例措置
・奨学金返済助成金及び返済期限延長
・自治公民館整備支援金　・橋りょう災害復旧補助

5 生活再建支援

浸水や土砂堆積等の被害を受けた市民の生活再建支援として、生活必需品の給与や住宅の応急修理、被害程度が大きく居住が困難となった住宅の解体工事補助等を実施しました。

・一時避難者への市営住宅提供
・床下消毒散布及び消毒費用補助
・被災住宅応急修理
・被災家屋等公費解体
・被災家屋等解体費用償還
・被災住宅再建等利子補給金
・災害ごみ個別回収　・流入土砂回収
・生活必需品給与

6 商工業・農業支援

被災した事業者や農業従事者に対して、修繕費用補助等の各種補助を実施しました。

・被災企業等設備、建物、返済利子補助
・農業用ハウス、農業用機械等修復支援
・被災農家等営農再開緊急対策支援
・持続的生産強化対策支援
・農業災害対策特別措置

7 相談支援

被災により悩みや不安を抱えた方の心の支援として、各種相談支援を実施しました。

・介護、認知症相談
・健康、栄養、こころの相談
・こどものいる家庭相談　・困りごと相談
・障がい児、障がい者相談　・消費生活相談
・女性向けカウンセリング相談　・人権相談

（２）支援制度利用実績

（令和3年10月1日現在）

事業名	件数等	事業費・免除額等（千円）
1　り災証明書		
り災証明書交付・再交付	5,582枚	―
り災証明書交付（農業者）	183枚	―
被害家屋認定調査（住家・非住家）	5,549棟	―
2　手数料の免除・減免		
印鑑登録証再交付手数料免除	47件	9
個人番号カード再交付手数料免除	1件	1
個人番号通知カード再交付手数料免除	68件	34
開発許可申請手数料免除	7件	167
建築確認申請等手数料減免	34件	1,298
3　市税、保険料、利用料等の免除・減免・還付等		
市税の納税猶予	1件	81
市民税の減免	―	―
固定資産税・都市計画税の減免	912人	7,662
国民健康保険税の減免	742件	27,961
国民健康保険医療費一部負担金還付	712件	5,430
国民健康保険医療費一部負担金免除	8,092件	49,945
国民年金保険料免除	19件	3,297
介護保険料減免	1,597件	27,758
介護保険利用者負担免除	239人	19,320
後期高齢者医療費一部負担金還付	616件	30,182
後期高齢者医療保険料減免	817件	10,637
障害基礎年金等支給停止解除	―	―
障がい福祉サービス・障がい児童通所支援利用者負担免除	6人	126
水道料金減額	456件	1,003
下水道使用料減額	336件	554
公立こどもクラブ保育料免除	17件	204
保育所等保育料免除	14件	2,062
雑損控除等説明会・個別相談会受付	110件	―
4 支援金、補助金等の支給		
災害見舞金支給	2,184件	136,950
被災者生活再建支援金支給	245件	217,125
被災家財等購入等補助金支給	1,855件	176,133
崩落土砂等撤去補助金	1件	200
被災児童学用品支給	14件	18
被災児童就学援助	6件	25
被災生徒学用品支給	43件	1,453
被災生徒学用品支給	26件	1,069
児童扶養手当特例措置	1件	327
奨学金返還期限延長	―	―
奨学金返済助成	1人	120
自治公民館整備支援	3件	6,062
橋りょう災害復旧補助金（個人橋）	1件	55
5 生活再建支援		
一時避難者への市営住宅提供	116戸	―
床下消毒（散布）	870件	9,062
床下消毒（費用補助）	286件	2,832
被災住宅応急修理	468件	260,637
被災家屋等公費解体	59件	154,671
被災家屋等自費解体費用償還	56件	71,988
被災住宅再建等利子補給金	31件	816
災害ごみ個別収集	376件	―
民地土砂回収	64件	―
生活必需品給与	378世帯	4,763
6 商工業・農業支援		
被災企業等設備補助	25件	11,982
被災企業等建物補助	26件	10,547
被災企業等利子補助	37件	8,046
農業用ハウス・農業用機械等修復支援	50件	152,346
被災農家等営農再開緊急対策支援	3件	311
持続的生産強化対策支援	9件	6,860
農業災害対策特別措置	98件	9,718
7 相談支援		
介護・認知症相談	30件	―
健康・栄養・こころの相談	3件	―
こどものいる家庭相談	2件	―
困りごと相談	1,616件	―
障がい児・障がい者相談	71件	―
消費生活相談	23件	―
女性向けカウンセリング相談	1件	―
人権相談	―	―

3　復旧事業

（１）被災状況と復旧工事

令和元年東日本台風は、特に雨量が多かったことから、市内の多くの河川が氾濫し、生活基盤施設等に大きな被害をもたらしました。特に河川の浸食による堤防決壊、道路及び橋りょうの崩落等が発生し、生活道路の使用が困難となるなど、市民が孤立する状況も発生しました。

市有施設の被害箇所数としては、道路、橋りょう、河川において487箇所、公園・緑地13箇所、水道施設11箇所、市営住宅1箇所、林道16箇所、農業関連施設264箇所、教育・福祉・文化施設等13箇所が確認されました。

また、これらの被害のほか、災害堆積土砂及び災害ごみの仮置場として運用された運動場の復旧や、公費による住宅解体、市が実施する農業関連施設の復旧箇所等を含めると、市全体では928箇所の被害が確認されました。

これらの施設については着実に復旧工事が進められており、令和3年10月1日現在において、約96.7%の工事が完了しています。

なお、復旧工事については、長期間の工期を必要とする橋りょう工事等を除き、令和3年度末ですべて完了する見込みです。

公共施設等の被害箇所数及び復旧工事等進捗状況　（令和3年10月1日現在）

所管部署	対象施設	被災箇所数	完了箇所数	完了率
都市建設部	市道（国庫補助事業該当含）	9	9	100%
	市道（市単独）	209	208	99.5%
	橋りょう（国庫補助事業該当含）	4	1	25.0%
	橋りょう（市単独）	17	14	82.4%
	河川（国庫補助事業該当含）	6	4	66.7%
	河川（市単独）	242	240	99.2%
	市営住宅	1	1	100%
	公園・緑地（国庫補助事業該当含）	13	13	100%
市民生活部	免鳥町集会所/大橋町東部集会所	2	2	100%
	堆積土砂排除（国庫補助事業該当）	1	1	100%
	災害ごみ仮置場（赤見運動公園プール駐車場/中運動公園野球場B・C球場/栄公園野球場/田沼総合運動場野球場）	4	4	100%
	指定搬出場所復旧（旧船津川小学校/西部赤坂公園/葛生本町公園）	3	3	100%
	被災家屋等解体（公費）	59	59	100%
	被災家屋等解体（自費）	56	56	100%
産業文化部	農地（国庫補助事業該当含）	46	44	95.7%
	農地（市単独）	103	100	97.1%
	農業水利施設（国庫補助事業該当含）	35	34	97.1%
	農業水利施設（市単独）	60	59	98.3%
	頭首工（国庫補助事業該当含）	15	4	26.7%
	頭首工（市単独）	5	4	80.0%
	林道	16	16	100%
	吉澤記念美術館	1	1	100%
上下水道局	水道施設/管路	11	10	90.9%
教育総務部	旗川・氷室小学校/西中学校	3	3	100%
	佐野・植野・界・犬伏・城北・旗川・葛生地区公民館	7	7	100%
	合　計	928	897	96.7%

（２）復旧工事費及び復旧関連事業費実績

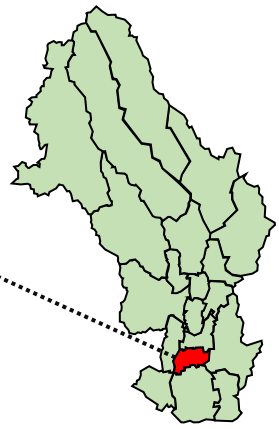
令和3年10月1日現在において、市有施設等の復旧状況・概算事業費は以下のとおりとなっています。

災害堆積土砂仮置場（田沼グリーンスポーツセンター）

復旧工事費及び復旧関連事業費実績一覧　（令和3年10月1日現在）

事業名	件数等	事業費（千円）	事業名	件数等	事業費（千円）
災害廃棄物処理事業（処理量：15,458ｔ）	—	649,966	氷室小学校復旧	1箇所	23,370
堆積土砂排除事業（処理量：25,392㎥）	—	501,851	旗川小学校復旧	1箇所	1,814
道路復旧	217箇所	439,213	西中学校復旧	1箇所	16,786
河川復旧	244箇所	429,338	大橋町東部集会所復旧	1箇所	13,756
橋りょう復旧	15箇所	191,041	免鳥町集会所復旧	1箇所	50
大橋市営住宅復旧	1箇所	30,338	佐野地区公民館復旧	1箇所	16,445
水道施設復旧修繕	10箇所	44,801	界地区公民館復旧	1箇所	417
公共下水道・農業集落排水施設復旧	19箇所	6,822	城北地区公民館復旧	1箇所	12
赤見運動公園プール駐車場復旧	1箇所	3,245	葛生地区公民館復旧	1箇所	990
田沼総合運動場野球場復旧	1箇所	84,546	隣保館復旧	1箇所	409
中運動公園野球場（B・C球場）復旧	1箇所	139,161	吉澤記念美術館復旧	1箇所	7,623
栄公園野球場復旧	1箇所	107,525	郷土博物館復旧	1箇所	195
西部赤坂公園復旧	1箇所	4,653	農地復旧	144箇所	325,715
葛生本町公園復旧	1箇所	209	農業水利施設復旧	93箇所	136,550
渡良瀬川緑地復旧	1箇所	2,183	頭首工復旧	8箇所	39,899
都市公園復旧	13箇所	524,271	林道施設復旧	16箇所	33,363
旧船津川小学校復旧	1箇所	15,741			

（３）復旧前・復旧後の状況



大橋町（秋山川：大橋北決壊箇所）　復旧前

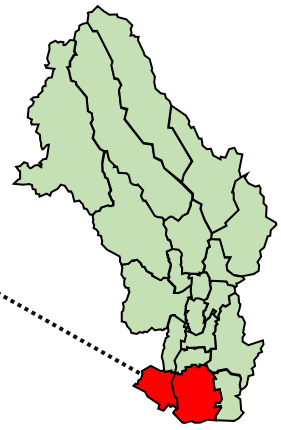
復旧後　（※復旧工事継続中）

大橋町（上川原東公園：河川氾濫による
土砂堆積・設備破損）　復旧前

復旧後

大橋町（西中学校：河川氾濫による土砂堆積）　復旧前

復旧後



赤坂町（秋山川：海陸橋北決壊箇所）　復旧前

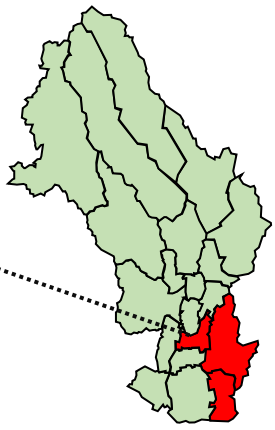
復旧後　（※復旧工事継続中）

田島町（菊沢川：氾濫による護岸浸食）　復旧前

復旧後

船津川町（旧船津川小学校：災害ごみ仮置場）　復旧前

復旧後



栄町（栄公園野球場：災害ごみ仮置場）　復旧前

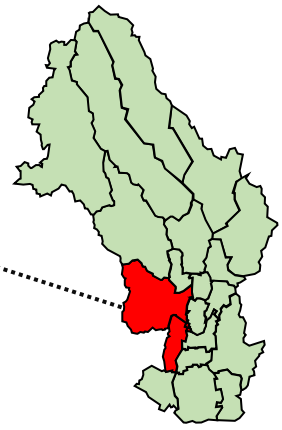
復旧後

田之入町（田之入橋：河川氾濫による崩落）　復旧前

復旧後

堀米町（秋山川堀米緑地右岸：河川氾濫
による敷地内洗堀）　復旧前

復旧後



並木町（市道2級131号線：河川氾濫による土砂堆積・流失）
復旧前

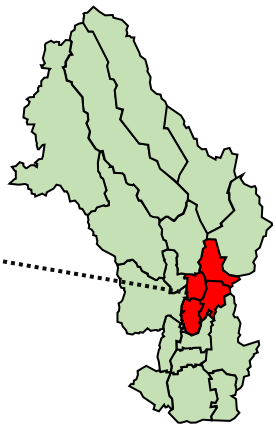
復旧後

石塚町（旗川石塚緑地右岸：河川氾濫による敷地内洗堀）
復旧前

復旧後

赤見町（赤見運動公園プール駐車場：災害ごみ仮置場）
復旧前

復旧後



田沼町（田沼総合運動場野球場：災害ごみ仮置場）　復旧前

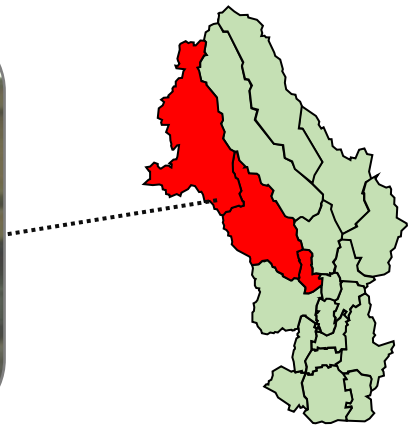
復旧後

栃本町（秋山川栃本緑地：河川氾濫による
敷地内洗堀）　復旧前

復旧後

多田町（安蘇川橋：河川氾濫による崩落）　復旧前

復旧後



梅園町（西ノ入沢：河川氾濫による洗堀・流失）　復旧前

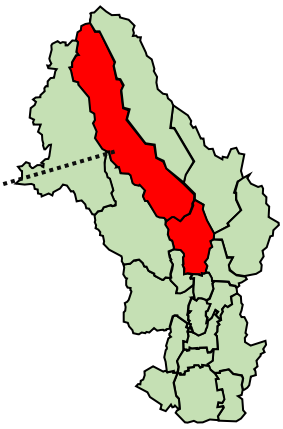
復旧後

下彦間町（家隆沢：土石流による土砂堆積）　復旧前

復旧後

閑馬町（林道　長谷場閑馬線：倒木・土砂堆積）　復旧前

復旧後



戸室町（田沼グリーンスポーツセンター
多目的競技場：堆積土砂仮置場）　復旧前

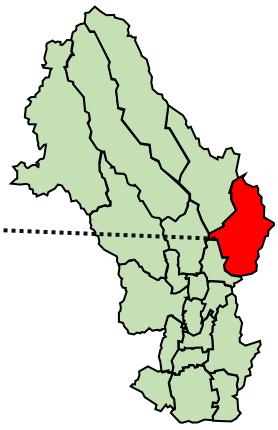
復旧後

御神楽町（市道221号線：河川氾濫による洗堀・流失）　復旧前

復旧後

岩崎町（岩崎川：河川浸食による洗掘・護岸崩落）　復旧前

復旧後



葛生東（小曽戸川：河川氾濫による護岸洗堀・崩落）
復旧前

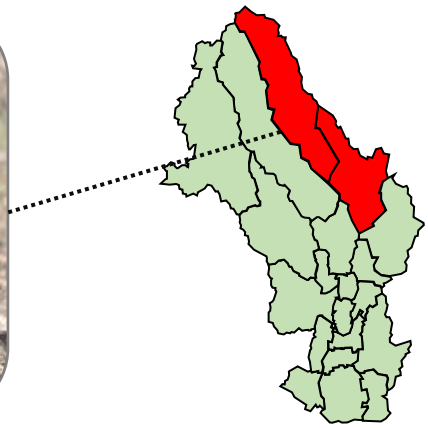
復旧後

会沢町（坂の沢：土石流による土砂堆積）　復旧前

復旧後

中町（中運動公園野球場B・C球場：災害ごみ仮置場）
復旧前

復旧後



豊代町（市道大久保下川線：土砂崩れによる
土砂堆積・道路崩落）　復旧前

復旧後

水木町（市道桧内線：土石流による土砂堆積）　復旧前

復旧後

水木町（県道秋山葛生線：河川氾濫による道路洗堀・流失）
復旧前

復旧後

第６章　安全・安心なまちづくり

１　将来に向けた防災・減災対策

令和元年東日本台風被災後においては、復旧・復興を推進するとともに、安全・安心なまちづくりを目指し、以下の取組を実施しました。

（１）令和元年東日本台風災害に関する市民アンケート

令和元年東日本台風により住宅に被害を受けた2,065世帯を対象に、復旧・復興状況の把握と災害対応の検証を目的とし、市民アンケートを実施しました。

市民アンケートについては、対象世帯の6割に近い回答率となり、その回答結果は、関係部署、関係機関と共有し、減災・防災対策の見直しや各種支援に活用させていただきました。

【市民アンケート調査概要】
調査対象：浸水等による住宅に被害を受けた2,065世帯（令和2年4月1日現在）
有効回答：1,189件（57.6%）
基 準 日：令和元年10月12日
調査時期：令和2年4月～5月
調査方法：郵送配布・郵送回収　　※ 市民アンケートの質問内容及び結果については資料に掲載

アンケート結果と対策

避難情報等の伝達

回答者の年齢層が上がるほど、避難情報等が行き届きにくいという結果となりました。

各年代に対応した多様な情報伝達手段の検証や、住民間の情報共有といった地域防災力の向上に向けた啓発に努めます。

早期避難に向けた対策

避難所への避難者数は、各河川の氾濫が確認された19時～20時台にピークを迎えたことがわかりました。

市民の安全確保のため、避難情報の早期発令や早期避難の重要性の周知に努めます。

申請手続の簡略化

各種支援制度の手続に関して、煩雑さや分かりにくさを訴える意見が多く寄せられました。

今回の経験を活かし、より一層被災者に寄り添った制度設計の検討に努めます。

減災・防災対策の徹底

氾濫河川の早期改修や、職員対応に関して意見が多く寄せられました。

河川改修等の減災・防災対策を推進するとともに、職員の災害対応力の向上に努めます。

（２）佐野市地域防災計画

令和元年東日本台風を踏まえ、本市全体の災害対応力を強化し、防災・減災対策を的確に推進するため、佐野市地域防災計画の見直しを行いました。

主な改訂点は、災害時における各部署の活動体制、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び、女性や子どもに配慮した避難所運営の見直しです。

また、中央防災会議における防災基本計画、栃木県地域防災計画の改訂についても反映した内容となっています。

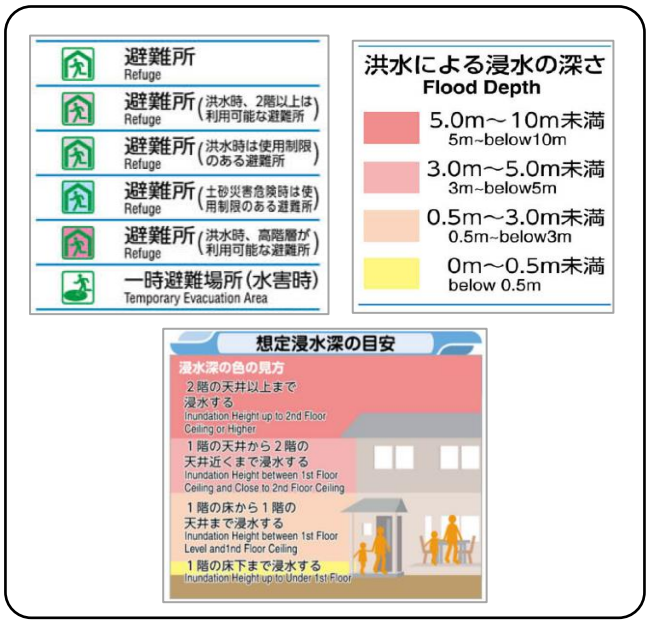
（３）避難所

発災後、市内の指定避難所のあり方について、地元町会との意見交換会を開催しました。いただいたご意見等をもとに検討を行い、既存の55箇所の指定避難所に、新たに3箇所を加え、合計58箇所を避難所として指定しました。（令和2年5月1日）

なお、避難所については、避難所ごとに浸水想定に応じた利用制限（「洪水時、2階以上は利用可能な避難所」など）があるため、ハザードマップ等を活用した、災害の種類や規模に応じた避難先や避難行動等の検討について周知に努めています。

また、指定避難所の他、市内の民間事業者との間で、屋上駐車場等を水害時の一時避難場所として開放いただく協定を締結しました。

ハザードマップの表示例



指定避難所一覧

番号	避難所	番号	避難所	番号	避難所
1	佐野小学校	21	吾妻小学校	41	三好生活改善センター
2	天明小学校	22	教育センター	42	旧野上小学校
3	西中学校	23	吾妻地区公民館	43	野上基幹集落センター
4	佐野地区公民館	24	赤見小学校	44	旧山形小学校
5	佐野駅前交流プラザ（ぱるぽーと）	25	石塚小学校	45	新合総合センター
6	植野小学校	26	出流原小学校	46	遠原の里福祉センター
7	南中学校	27	赤見中学校	47	旧飛駒小学校
8	旧船津川小学校	28	赤見地区公民館	48	飛駒基幹集落センター
9	植野地区公民館	29	田沼小学校	49	葛生南小学校
10	界小学校	30	田沼東中学校	50	葛生小学校
11	界地区公民館	31	田沼中央公民館	51	葛生中学校
12	犬伏小学校	32	田沼地区公民館	52	葛生地区公民館
13	犬伏東小学校	33	吉水小学校	53	会沢地区コミュニティセンター
14	北中学校	34	新吉水地区コミュニティセンター	54	くずう保育園（特別養護老人ホームきぼう）
15	犬伏地区公民館	35	多田小学校	55	葛生あくと福祉センター
16	城北小学校	36	栃本小学校	56	常盤中学校
17	城北地区公民館	37	栃本地区コミュニティセンター	57	常盤地区公民館
18	佐野武道館	38	旧戸奈良小学校	58	氷室地区公民館
19	旗川小学校	39	旧三好小学校		
20	旗川地区公民館	40	あそ野学園義務教育学校		

※追加指定の避難所は赤字記載
※現在も上記58箇所を避難所として指定。

（４）佐野市災害ボランティア活動推進条例

令和元年東日本台風災害においては、市内・市外問わず多くの災害ボランティアの方々に活動いただき、復旧・復興のために大きな力を発揮いただきました。

発災後に実施したアンケート調査において、災害ボランティアに対する感謝の言葉が多く寄せられるなど、復旧・復興における災害ボランティアの存在は、非常に重要なものとなっております。

市では、「佐野市災害ボランティア活動推進条例」（令和3年7月1日施行）を制定することにより、災害ボランティア活動の重要性を広く発信し、より多くの市民の方が活動に参加していただけるよう啓発を行うことや、関係機関との連携協力の下、迅速かつ円滑な被災者支援の実施を図ることとしました。

佐野市災害ボランティア活動推進条例（抜粋）

（目的）
第１条
この条例は、災害ボランティア活動の推進に関する基本理念を明らかにするとともに、市の責務、市民の理解等、事業者の協力その他の災害ボランティア活動の推進に関する基本的な事項を定めることにより、市、災害ボランティア団体等、災害ボランティアセンター及び関係行政機関その他の関係機関の連携協力の下、災害ボランティア活動を迅速かつ円滑に行い、災害の被災者への支援を推進し、もって安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的とする。

（基本理念）
第３条
災害ボランティア活動の推進は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。
（１）相互扶助と連帯の精神に基づいて行うこと。
（２）災害の被災者の意向並びに災害ボランティア団体等の自主性及び自律性が尊重されること。
（３）災害の被災者の権利利益の保護並びに災害ボランティア活動を行う者の生命及び身体の安全の確保について十分配慮すること。
（４）市、災害ボランティア団体等、災害ボランティアセンター及び関係行政機関その他の関係機関の連携協力の下、行われること。

（５）佐野市連携支援ネットワーク

近年の災害対応において、NPO団体や災害ボランティアといった民間支援主体による支援活動が復旧・復興に大きな役割を果たしていることから、国・県では行政と民間支援主体との連携体制の構築を推進しています。

本市においては、災害時の官民連携による迅速かつ効果的な災害対応を実現することを目的とし、「佐野市連携支援ネットワーク」を組織しました。

平時においては研修会やワークショップを通して連携体制の強化、災害時の活動を確認し、災害時には各主体が把握している情報や意見を共有、連携して諸課題等の解決を図ることとしています。

活動実績

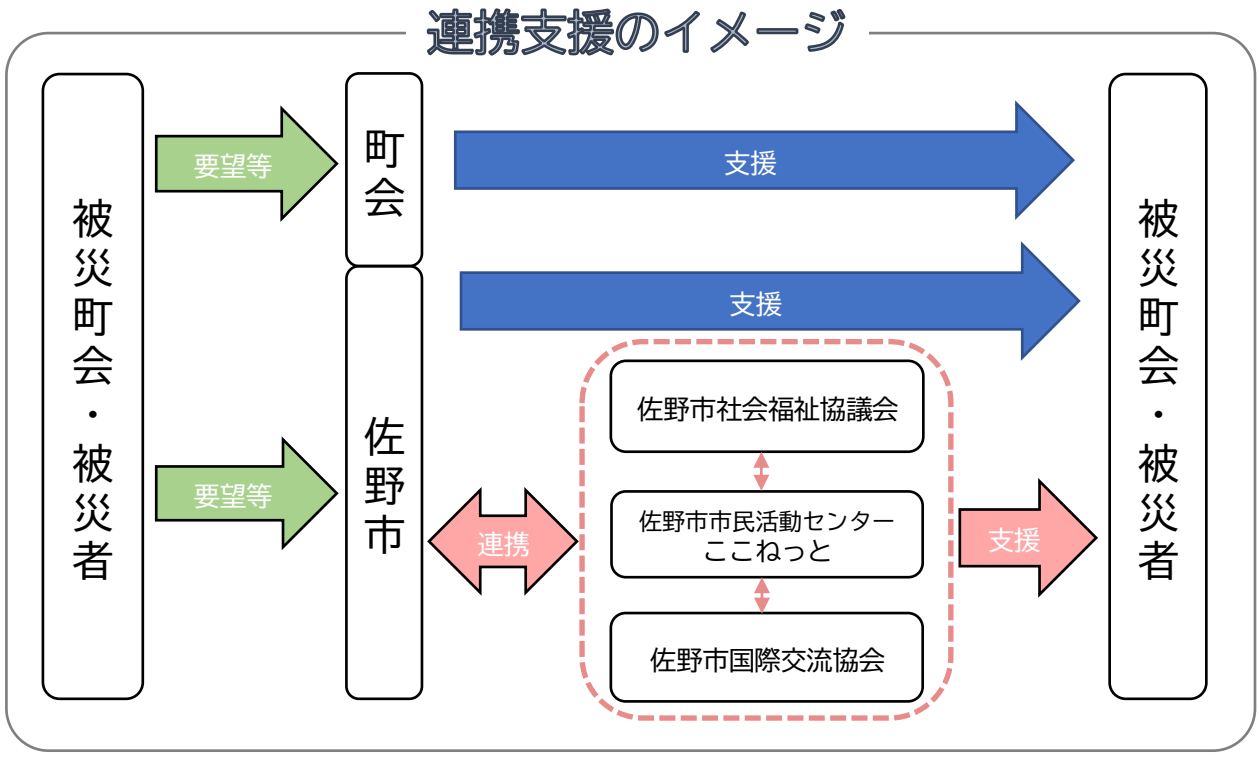
年月日	活動内容
R3. 1. 8	佐野市連携支援ネットワーク設立
7. 7	・栃木県国際交流協会主催「外国人サポーター養成講座」に参加 ・第1回ネットワーク会議開催
11.25	・さのフォーラム主催防災セミナー「気づこう、リスク！築こう、人の輪！～防災・減災につながる協働～」に参加 ・第2回ネットワーク会議開催

参画団体一覧

団体名
佐野市社会福祉協議会
佐野市市民活動センター　ここねっと
佐野市国際交流協会
佐野市

組織の検討にあたっては、組織の検討会議を3回開催し、参画団体の他、佐野市自主防災組織連絡協議会、佐野市防災士連絡会に参加いただくとともに、アドバイザーとして宇都宮大学地域デザイン科学部　近藤伸也　准教授より助言をいただきました。

検討会議の様子



（６）佐野市災害情報共有システム

災害発生時や災害が発生するおそれがある場合に、被害情報や避難所情報などを一元管理・共有化し、避難指示等の的確な発令を行うことを目的として佐野市災害情報共有システムを導入しました。（令和3年7月1日）

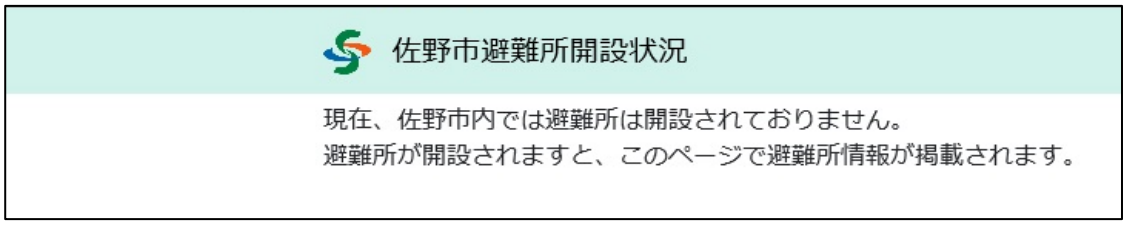
本システムは、職員間の情報共有だけでなく、職員が避難所の状況をシステムに入力することで、市民が避難所の開閉・混雑状況をリアルタイムで市ホームページから確認することができるようになり、適切な避難先の検討が可能となります。

避難所の様子（多田小学校）

災害情報共有システム（避難所開設状況）

①避難所が開設された場合の画面表示（避難所の混雑状況を4段階で表示）

②避難所が開設されていない場合の画面表示



※QRコードをスマートフォンで読み取ることで、市ホームページ上の避難所開閉状況確認ページにアクセスが可能です。

（７）佐野市消防団活性化推進基本計画

社会環境の変化等により、団員数の減少や若年層の割合低下などに対応するため、将来にわたり持続可能な消防団組織の構築と災害即応体制等の強化を図り、地域防災力の充実強化を推進する計画を策定します。計画期間は令和5年度から令和11年度とし、本年度より計画案の策定に着手しています。

災害ごみ処理支援の様子（中妻公民館）

危険箇所巡回の様子

（８）災害時市長緊急放送

大規模災害が発生、又は発生のおそれがある場合において、市長が直接市民に対し、佐野ケーブルテレビにより緊急放送で避難の呼びかけを実施します。また、市ホームページやＳＮＳによる動画配信を実施します。平時と違ったことが発生していることを市民に認識いただき、早期の避難につなげます。

（９）マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、水害時のいざというときに慌てることがないよう、避難に備えた行動をあらかじめ決めておくものです。

一人ひとりが「いつ、どこで、誰が、何を、どのように」するべきか、家族や親せき等と事前に話し合っておくことで、落ち着いた避難行動や逃げ遅れ防止につながります。

市民自らが作成したマイ・タイムラインに基づき迅速な避難行動がとれるよう、周知・啓発に努めています。

※QRコードから、市ホームページ上のマイ・タイムライン作成に関する資料や様式をダウンロードできます。

出典：下館河川事務所ホームページ

（１０）佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ

令和元年東日本台風災害以降、本市では「佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ」を二度改訂しました。

令和2年6月の改訂では、水防法により旗川が水位周知河川に指定されたことから、旗川の洪水浸水想定区域及び家屋倒壊等氾濫想定区域を新たに図示するとともに、令和元年東日本台風災害により浸水した区域を図示しました。

令和3年11月の改訂では、栃木県により、出流川、菊沢川、三杉川、彦間川、小曽戸川、秋山川（上流）の浸水リスク想定図が公表され、さらに、土砂災害（特別）警戒区域が新規指定及び修正されたことから、それらの情報を反映しました。

■改訂内容 （※佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ（令和3年11月改訂版）をP.61に掲載）

①令和2年6月改訂

ア）旗川の浸水想定区域及び浸水深の図示

河川名	解析区間	想定降雨	栃木県公表年月日
旗川	左岸：船越橋から足利市寺岡町まで 右岸：船越橋から足利市寺岡町まで	旗川流域の24時間総雨量651mm	令和2年6月5日

イ）令和元年東日本台風災害により浸水した区域を図示（黒色、横網掛け表示）

②令和3年11月改訂

ア）6河川の浸水想定区域及び浸水深の図示

河川名	解析区間	想定降雨	栃木県公表年月日
出流川	佐野市一級河川上流端から 佐野市旗川合流点まで	出流川流域の24時間総雨量690mm	令和2年6月5日
菊沢川	菊沢川本川：佐野市一級河川上流端から佐野市渡良瀬川合流点まで 菊沢川放水路：佐野市放水路分派地点から佐野市秋山川合流点まで	菊沢川流域の24時間総雨量690mm	令和2年6月5日
三杉川	栃木市一級河川上流端から 佐野市渡良瀬川合流点まで	三杉川流域の24時間総雨量683.4mm	令和2年6月5日
彦間川	佐野市一級河川上流端から 旗川合流点まで	彦間川流域の24時間総雨量671mm	令和3年5月31日
小曽戸川	佐野市一級河川上流端から 秋山川合流点まで	小曽戸川流域の24時間総雨量690mm	令和3年5月31日
秋山川（上流）	佐野市一級河川上流端から 葛生大橋まで	秋山川流域の24時間総雨量662mm	令和3年5月31日

イ)土砂災害（特別）警戒区域の更新（令和3年6月18日　栃木県公表）

●新規指定箇所

	急傾斜地の崩壊	地すべり	土石流	合計
土砂災害 特別警戒区域	124箇所	新規指定なし	45箇所	169箇所
土砂災害 警戒区域	126箇所	新規指定なし	45箇所	171箇所

●修正箇所

	急傾斜地の崩壊	地すべり	土石流	合計
土砂災害 特別警戒区域	33箇所	修正なし	16箇所	49箇所
土砂災害 警戒区域	33箇所	修正なし	27箇所	60箇所

ウ)近隣市における避難所、浸水想定区域及び土砂災害(特別)警戒区域の図示

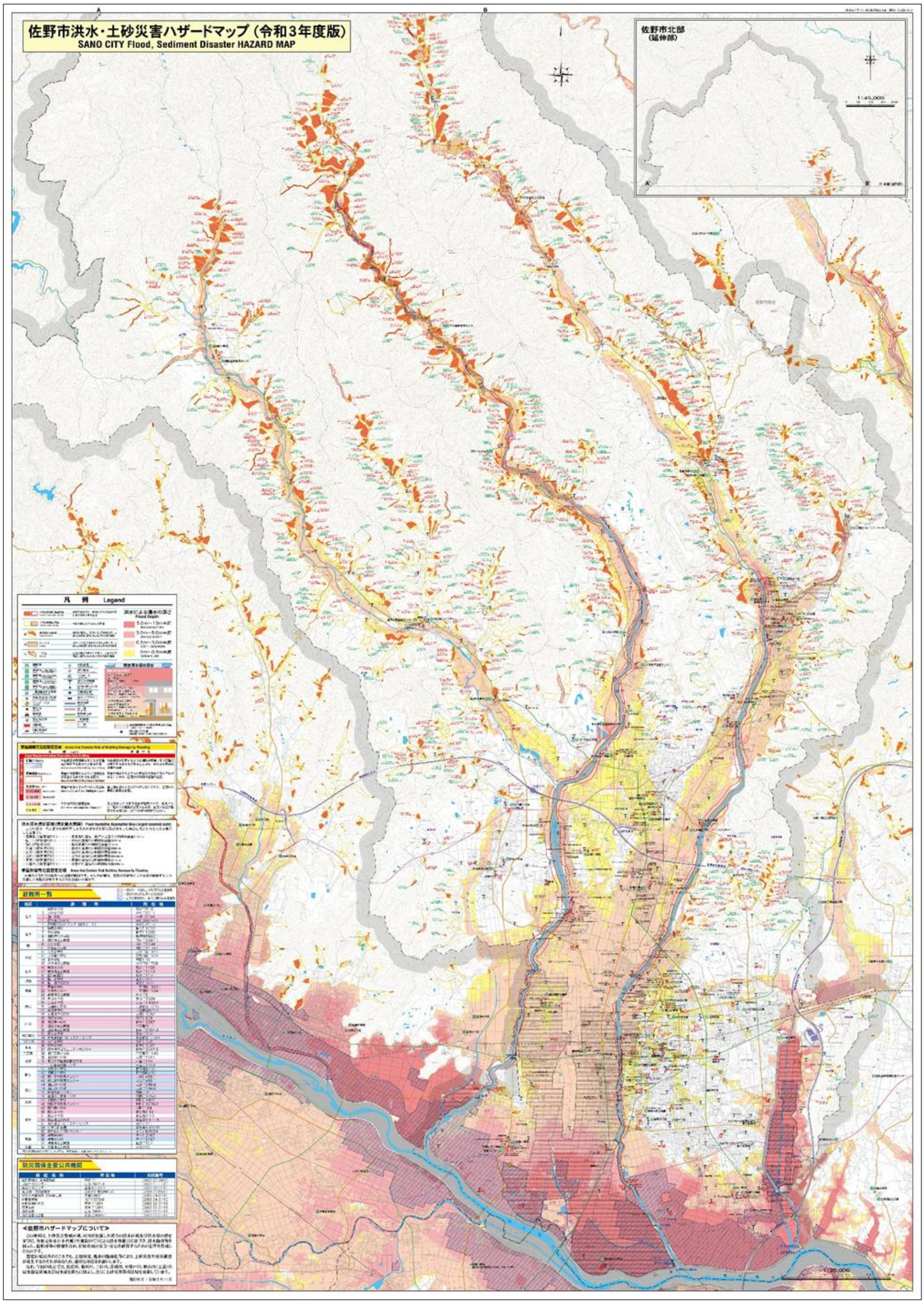
エ)防災重点ため池の位置の図示

オ)増設された水位計、河川ライブカメラの図示
（水位計）稲岡橋、岩鼻橋、羽田大橋、大網橋
（河川ライブカメラ）稲岡橋、岩鼻橋、羽田大橋、菊沢川橋

※参考　指定箇所総数（令和3年11月1日）

	急傾斜地の崩壊	地すべり	土石流	合計
土砂災害 特別警戒区域	517箇所	指定なし	352箇所	869箇所
土砂災害 警戒区域	519箇所	3箇所	429箇所	951箇所

佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ（令和3年11月改訂版）



（１１）河川改修

①　一級河川秋山川

決壊した秋山川　新海陸橋付近
（赤坂町・田島町）

越水した秋山川　上川原東公園付近
（大橋町）

栃木県を事業主体とし、緊急的・集中的に治水機能の強化を図るため、令和元年度から「河川激甚災害対策特別緊急事業」及び「災害関連事業」による河川整備を実施しています。

【河川激甚災害対策特別緊急事業】
・事業箇所：佐野市植下町～大橋町
・事業延長：Ｌ≒3,000m
・事業期間：令和元年度～令和6年度（予定）
・事業内容：河道掘削、河道拡幅、橋梁架替、堰改築　等

【災害関連事業】
・事業箇所：佐野市大橋町
・事業延長：Ｌ≒250m
・事業期間：令和元年度～令和3年度（予定）
・事業内容：河道掘削、河道拡幅　等

出典：秋山川 河川激甚災害対策特別緊急事業リーフレット（栃木県安足土木事務所）

②　一級河川旗川

越水した旗川　稲岡橋付近(小中町)

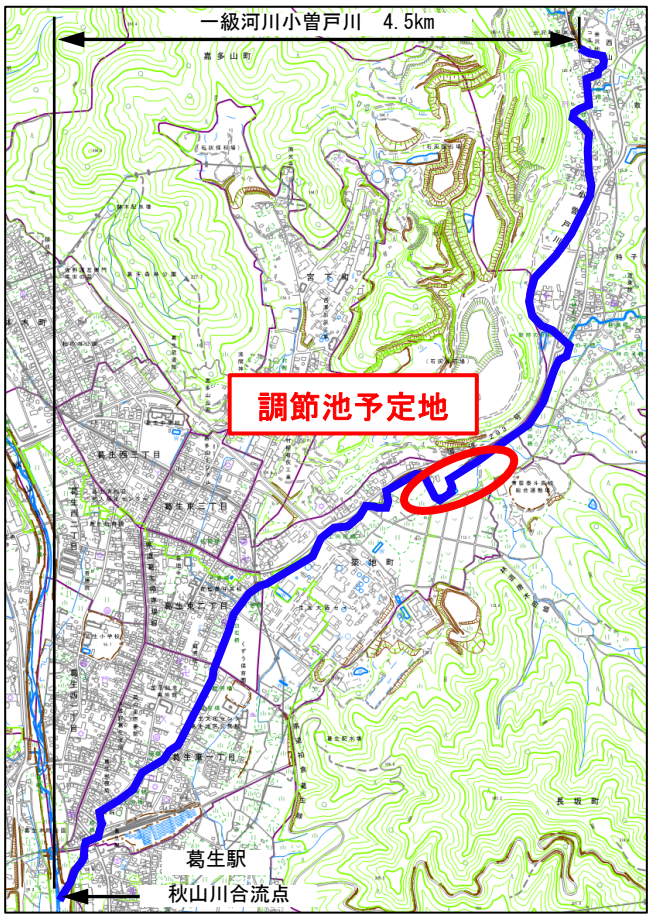
護岸が浸食された旗川　旗川橋付近(小中町)

栃木県を事業主体とし、計画的・重点的な事業の推進を図るため、令和3年度から「大規模特定河川事業」による河川整備を実施しています。

・事業箇所：足利市寺岡町～佐野市並木町
・事業延長：Ｌ≒2,200m
・事業期間：令和3年度～
・事業内容：河道掘削、橋梁架替　等

出典：一級河川旗川改修事業に係る説明会資料（栃木県安足土木事務所）

③　一級河川小曽戸川



出典：一級河川小曽戸川調節池整備事業に係る説明会資料
（栃木県安足土木事務所）抜粋

栃木県を事業主体とし、調節池を整備することで小曽戸川の洪水調整を行い、浸水被害の防除または低減を図るため、「調節池整備事業」による河川整備を実施しています。

・事業箇所：佐野市築地町
・事業期間：令和3年度～
・事業内容：越流堤、調節池　等

溢水・洗掘等の被害が発生した小曽戸川
（葛生東一丁目）

④　普通河川

市が事業主体となり、災害発生の予防又は災害の拡大防止を目的として、緊急自然災害防止対策事業計画に基づき、普通河川等の改良工事に着手しています。
河川改良が必要な河川について、令和3年度から令和7年度までの5年間で実施する計画です。

〇緊急自然災害防止対策事業計画
・事業期間：令和3年度～令和7年度
・事業内容：測量設計、用地買収、河道掘削、等

資 料

資料－１　令和元年東日本台風災害に関する市民アンケート調査結果

本市では、令和元年東日本台風災害により住宅に被害を受けた方にご協力をいただき、今後の復旧・復興・防災対策に最大限に活かすことを目的として、市民アンケート調査を実施いたしました。

本アンケート調査は令和 2 年 4 月～5 月の期間に実施し、住宅被害を受けた 2,065 世帯（令和 2 年 4 月 1 日現在）の方にご協力いただきました。

有効回答1,189世帯(有効回答率57.6%)となった本アンケート調査結果は次の通りです。

【調査結果まとめ】

＜はじめに＞

今回の台風被害のアンケート調査においては、アンケートをお願いした世帯の６割近い世帯の方にご回答いただきました。回答いただいた内容について、佐野市における特徴と傾向の分析を行った結果は次の通りです。分析結果につきましては、今後の復旧・復興・防災対策の参考として活用させていただきます。

初めに、問１の警戒レベル発令の認知状況に関しましては、約８割の方が「警戒レベル３避難準備・高齢者等避難開始」「警戒レベル４避難勧告・避難指示」の発令を知っていたとの回答です。

また、この情報源としては、「防災無線」が一番多く、次に「テレビ」、「緊急速報（エリアメール)」といった順番となっており、「電話応答サービス」や「市ホームページ」、「ラジオ」の回答は少なくなっています。

年代別では、年代が上がるにつれ、発令情報を知っていた割合が低くなっています。（２０代では、約９割の方が知っていましたが、８０代を超えると約６割まで落ち込んでいます。）

また、情報源としては、２０代～５０代までは、「テレビ」や「インターネット」、「緊急速報（エリアメール)」から情報を得た方が多くなっていますが、６０代～８０代以上になると、「インターネット」や「緊急速報（エリアメール)」が落ち込み、かわりに「家族・知人から」、「市広報車や消防車両の広報」から情報を得た方が多くなっており、若い世代と大きく異なっています。

次に、問３の警戒レベルの発令認知後の行動については、１番多かった回答が「テレビ・ラジオの放送に注意した」、次に、「避難所や知人宅などへの準備をはじめた」、「インターネットで降雨状況や河川情報などを確認した」となっています。ただし、年代別で見ていくと、７０代を超えると問２と同様「インターネットで降雨状況や河川情報などを確認した」の回答が極端に少なくなっています。

問１～問３までの回答から、多様な情報提供の仕方が必要であり、併せて自助、共助（地域防災力)、情報の共有についての啓発をしていく必要があると考えます。

次に、問４のハザードマップの認知状況については、約８割の方がハザードマップが作成されていることを把握しています。そのうち３割を超える方が「内容まで把握している」と回答していますが、４割を超える方が「存在は知っているが、よくわからない」と回答しております。これは年代別に見ても、どの世代でもほぼ同様の回答となっています。

次に問５の避難行動要支援者個別計画の認知状況については、計画があることを知っている方は約３割に留まり、約７割の方が知らないと回答しています。この設問に対する回答は年代によって差があり、４０代以下の認知度は２割以下と低く、年代が下がるにしたがい把握している割合が低くなっています。

次に問６の避難行動要支援者個別計画に基づいた避難行動については、問５の回答で「知っていて、内容もわかっている」と回答した方のみが対象となり、避難をした方は約５割ですが、そのうち計画通りに避難した方は３割以下という結果になっています。

問４～問６の回答から、「知っているが、内容はよくわからない」と回答した層にハザードマップや避難行動要支援者個別計画を熟知していただくことにより危機意識が高まり、よりスムーズな避難行動につながることになると考えます。

次に、問７の避難状況については、約４割の方が避難をし、約６割の方が避難しなかった（できなかった）という回答となっています。年代別に見ていくと、２０代～４０代の方は避難した割合がやや高く、約５割～７割となっています。

（問８～問１１までは「避難した」と回答した方のみの回答となります。）

次に、問８の誰と避難したのかについては、１番多かった回答は、「家族」との避難が一番多く、続いて「自分のみ」、「その他」と続きます。また、年代別に見ると、年代が上がるにしたがい、「近所の人」と一緒に避難している方の割合が増えるという特徴が見られます。

次に、問９の避難したきっかけについては、「自宅や周辺が浸水したり、土砂が入ったりしたから」が一番多く、続いて「雨量や水位の情報から不安を感じた」、「警戒レベル３もしくは警戒レベル４が発令されたから」、「その他」となっています。

なお、「その他」の中では、「道路が冠水して」や「川の水量を見て（川を見に行って)」、「消防車や市広報車の周知」が大半を占めています。

年代別での特徴としては、７０代～８０代以上の方が、「知人や町会（自主防災組織）等から避難を勧められたから」の回答の割合が高くなっています。

また、避難した時刻については、多くの方が１０月１２日１７時台～２０時台に避難しており、日中に避難した方の割合が少なくなっています。

次に、問１０の避難した場所については、一番多かったのが「市が開設した避難所」で、次に「知人・友人宅」、「その他」となっています。「その他」の多くは、２０代～５０代までは「実家」の回答が多く、６０代～８０代以上は「子どもの家」の回答がほとんどを占めています。

次に、問１１の避難した場所までの交通手段については、一番多かったのが「車」で、次に、「徒歩」、「自宅の２階」となっています。年代別では、２０代～６０代の方は７割以上の方が「車」での避難を行っていますが、７０代、８０代以上の方は「徒歩」、「自宅の２階」での避難の割合が多くなっています。

問７～問１１の回答において、回答した４割の方が避難行動をとりましたが、今回の避難者数は「４，２１７人」であり、佐野市の人口１１８，１７３人に対して約３．６％でした。

全指定避難所が開設された１２日の１１時から、避難勧告を発令した直後の１７時までの避難者数は８４１人で全避難者数の約２０％、その後「秋山川」、「旗川」、「小曽戸川」の越水が確認される前の１９時までの避難者数は１，５５３人で全避難者数の約３６％となっております。この結果から、全避難者の内、約４割の方が夜間の氾濫発生後、危険な状況下で避難していたことがわかりました。

明るい時間に避難が進まなかった原因としては、被災経験がなかったことや正常性バイアスなどが働いたためと思われ、避難情報の早期発令や、早期避難の重要性の周知などが課題であると考えます。

また、移動手段として、車を使用することが出来ない方は、近所の人や家族と一緒に避難の確認をする必要があると考えます。

次に、問７の避難状況についての回答で「避難しなかった（できなかった）」と回答した約６割の方について、問１２でのその理由として一番多かったのが、「２階に垂直避難できるから」、次に「避難する方が危険だと思ったから」、「過去に浸水したり、土砂が流れ込んだことがないから」となっています。この回答はすべての年代においても共通した回答となっています。

問７及び問１２の回答から多くの方が、「２階に避難できるから大丈夫だろう」、「過去に浸水したり、土砂が流れ込んだことがないから大丈夫だろう」と言った安心から避難しなかったことが推測されます。また、「避難する方が危険だから」の回答も多いことから、「大丈夫」と思っていたが、避難が遅れたため急激な水位の上昇や道路の冠水、住宅の浸水により「避難する方が危険」ということに繋がっていったと思われます。今後の課題として、危険と感じる前の早期避難の重要性を周知する必要があると考えます。

次に問１３の、次の災害発生時の避難先については、商業施設の駐車場や高い建物等の「民間施設」が一番多く、次に「市が開設した避難所」、「知人・友人宅」となっています。年代別では、２０代～４０代までは、「知人・友人宅」の避難が多い回答となっていますが、一方で６０代～８０代以上になると「知人・友人宅」の避難はかなり減り、若い世代にはなかった「自治会などが定めた一時避難所」が多い回答となります。また、「民間施設」と回答した割合も６０代～８０代以上の方の割合が多く占めています。

（問１４～問１７までは「市が指定した避難所に避難した」と回答した方のみの回答となります。）

次に、問１４の避難時の持ち物については、「水」、「食料」、「着替え」などを持参して避難した方の回答が多くなっています。年代ごとに見ても大きく差はありませんが、６０代以上の年代で「何も持たずに避難した」と回答した割合が高い傾向にあります。

次に、問１５の避難所にあるといい物資についての回答では、一番多かったのが「毛布」、次に「食料」、「水」となっています。年代ごとに見てもおおむね同様の回答となっています。

次に、問１６の避難行動については、７割以上の方が「避難してよかった」と回答しています。

年代別では、特に６０代～８０代以上の方は８割以上の方が「避難してよかった」と回答する一方で、３０代～５０代では約６割～７割となっています。

「避難してよかった」と回答した方の自由記入欄では、「早めに避難したことで助かった」、「情報が入って来るので良かった」、「周囲に人がいることによる安心感や心強さ」などの回答となっています。

問１７のペット同伴の避難で一番大変だったことについての自由記入欄では、「避難所でのペットの受け入れ体制（避難所内に入ることができなかった）」と回答する方が多数となっています。

問１６で「避難してよかった」と回答した方の多くは、他者といることによる安心感や心強さ、孤独感がなかったことを挙げており、人とのつながりの大切さが感じられます。一方で、「避難しなければよかった」と回答した方のほとんどが「車の水没」を挙げています。今後、ハザードマップで浸水想定区域内に位置する避難所等については、水没のリスクがあることを周知していく必要があると考えます。

また、問１７のペット同伴の避難について、回答いただいた方の約２割以上の方がペットを飼っているとの回答から、ペットを連れての避難方法を事前に確認しておくことが必要となります。

次に、問１８の生活再建の進捗状況については、約７割以上の方が「以前の生活に戻った」、「概ね以前の生活に戻った」と回答しており、「被害が小さかったため日常生活に影響がない」と回答した人と併せると約８割の方が、半年を経過し日常を取り戻せているとの回答でした。年代別にみてもほぼ変わりはありませんが、８０代以上の方のみ「まだ、以前の生活に戻れない」、「以前の生活には程遠い」と回答した方の割合がやや高くなっています。

次に問１９の支援制度の情報入手方法については、一番多かったのが「回覧で知った」との回答で、次に「知らなかった」、「市ホームページで知った」となっています。全体としては８割以上の方が何らかの形で支援情報を得ており、年代ごとで顕著に差が出たのは、「回覧で知った」「知らなかった」の回答で、年代が下がるにつれ「回覧で知った」と回答した割合が低くなるとともに、「知らなかった」と回答した割合が高くなっています。

次に問２０の町会を経由しての物資支援に関する回答では、「支援を受けた方」「支援を受けなかった方」「支援を知らなかった」の回答が同程度となっています。年代別でも、同様の回答となっています。

次に問２１の災害ボランティアセンターの利用状況では、回答いただいた約２割以上の方が、災害ボランティアセンターを利用しており、そのうち、約半数の方が再度利用したいと考えているという回答となっています。年代ごとにみると、年代が上がるにしたがい希望している方が増加し、特に７０代～８０代以上については、約６割の方が今後利用したいと回答しています。

次に問２２の今回の支援で足りないと感じたものについては、一番多かったのが「生活再建費用」で、続いて「片付けに関する人的支援」、「住宅再建費用」、「片付けに関する物的支援」となっています。年代ごとに見ると、２０代～５０代では「片付けに関する人的支援」より「片付けに関する物的支援」が多くなっており、６０代～８０代以上になると「片付けに関する物的支援」より「片付けに関する人的支援」が多くなっています。

次に問２３の今回の支援に関する満足度の回答では、（１）災害見舞金についてと（３）被災者生活再建支援金については、約４割の方が「満足」、「まあまあ満足」と回答し、一方で約６割の方が「やや不満」、「不満」と回答しています。また、（２）家財等購入等補助金については約３割の方が「満足」、「まあまあ満足」と回答し、一方で約７割の方が「やや不満」、「不満」と回答しています。年代ごとに見ても、回答結果はほぼ同様の結果となっています。

最後に、問２４の今後の制度のあり方についての回答では、約６割の方が「制度の継続」を望んでいます。また、「家財等購入等補助金を廃止して、災害見舞金の増額」が約３割と

なっています。年代ごとに見ても、回答結果はほぼ同様の結果となっています。

問１８～問２４の回答から、発災から半年が経過し、少しずつ生活再建が進んでいることが伺えますが、引き続き市、町会、ボランティア等が連携して被災された方への支援を行っていくことが重要と考えます。

また、支援物資に関する周知方法では、制度を知らなかった方の割合が高いことから、制度の周知方法や地域における住民同士の連携強化について工夫していくことが重要と考えます。

その他、今回の支援で足りなかったものとして多かった意見は「生活再建費用」です。問２３、問２４で「災害見舞金」及び「家財等購入等補助金」の増額を望む声や床上浸水と床下浸水の支援の差、手続きにかかる時間や煩雑さなどが理由で「不満」、「やや不満」と回答している方が多かったため、今後の課題であると考えます。

問２５の今後の災害に備えての意見については、大別して以下のとおりとなります。

・河川（３０５件）
・ハザードマップ（２５件）
・避難所（９６件）
・防災無線（４７件）
・補助金（４６件）
・応急修理（１件）
・災害ごみ（２２件）
・土砂（３件）
・救援物資（２５件）
・職員対応（７２件）
・消毒（７件）
・その他（２１３件）

上記の結果から、多くの方が秋山川・旗川・小曽戸川などの河川について、早期の改修を望んでおり、次の大雨や台風に備えて欲しいという要望が多くなっています。続いて車両が水没してしまった避難所の見直し、職員の被災者対応への要望と続いています。

＜おわりに＞

佐野市にとって今回の浸水被害は未曾有の大災害でありました。その中で、一人の犠牲者も出なかったのは、日頃からの市民の皆様の防災意識によるものと思われます。

アンケート結果から、今後発生するであろう災害に備えるためには、ひとりひとりがハザードマップを正しく理解し、災害の種類に応じて適切な避難先の選択や避難のタイミング、避難行動の確認をしておくほか、防災気象情報や避難の呼びかけに迅速に対応することが重要であると考えます。そのためには、日頃からわかりやすい情報提供の仕方や、実効性のある計画作成等に取り組むとともに、災害等が起きた際には、市民が１日でも早く元の生活

に戻れるよう支援策を充実させ、迅速かつ丁寧に対応できるよう取り組んでまいりたいと思いますので、今後も市民の皆様のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

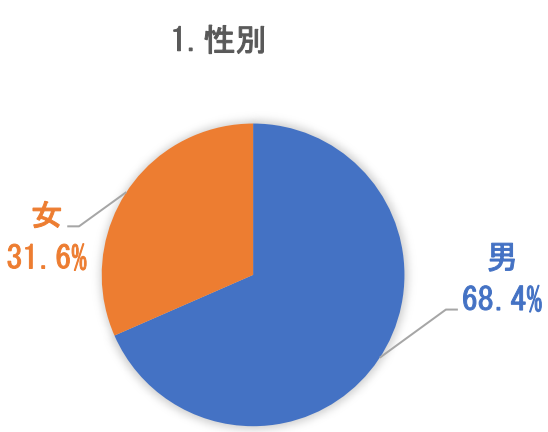
最後に、本アンケートに際して、市民の皆様から貴重な情報・ご意見を頂きまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

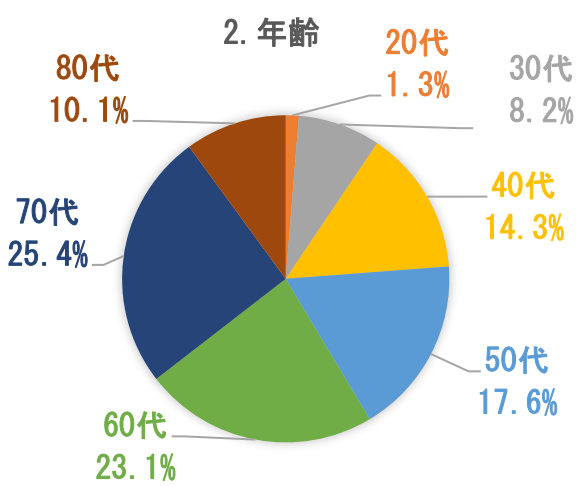
【調査結果】

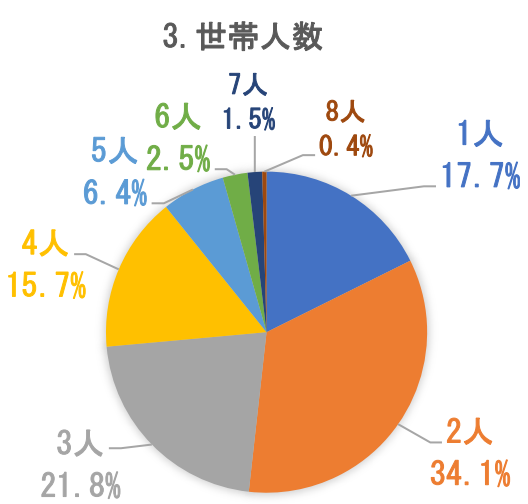
【アンケート調査概要】
調査目的：本市では、被災された方にご協力をいただき、今後の復旧・復興・防災対策に最大限に活かすことを目的に実施しました。
調査対象：住宅被害を受けた２，０６５世帯（令和２年４月１日現在）
有効回答：１，１８９件（５７．６％）
基 準 日：令和元年１０月１２日
調査時期：令和２年４月～５月
調査方法：郵送配布・郵送回収

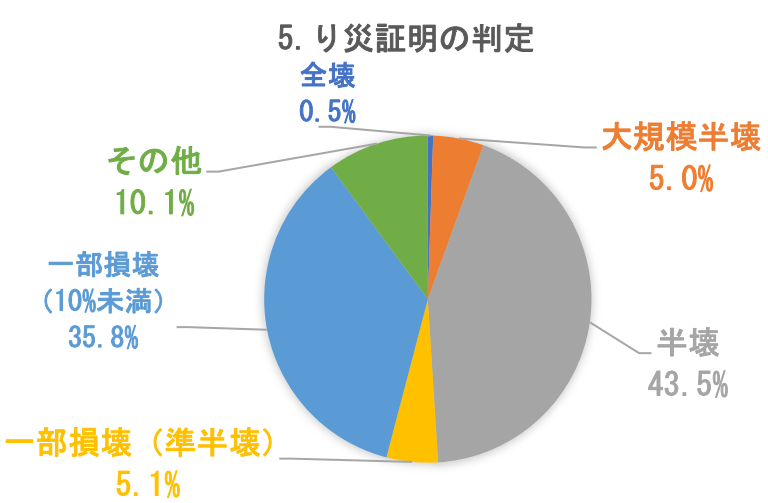
○ 基礎情報　※ 各設問無回答者除く。

性別、年齢及び世帯人数（家族構成）等の基礎情報の回答結果

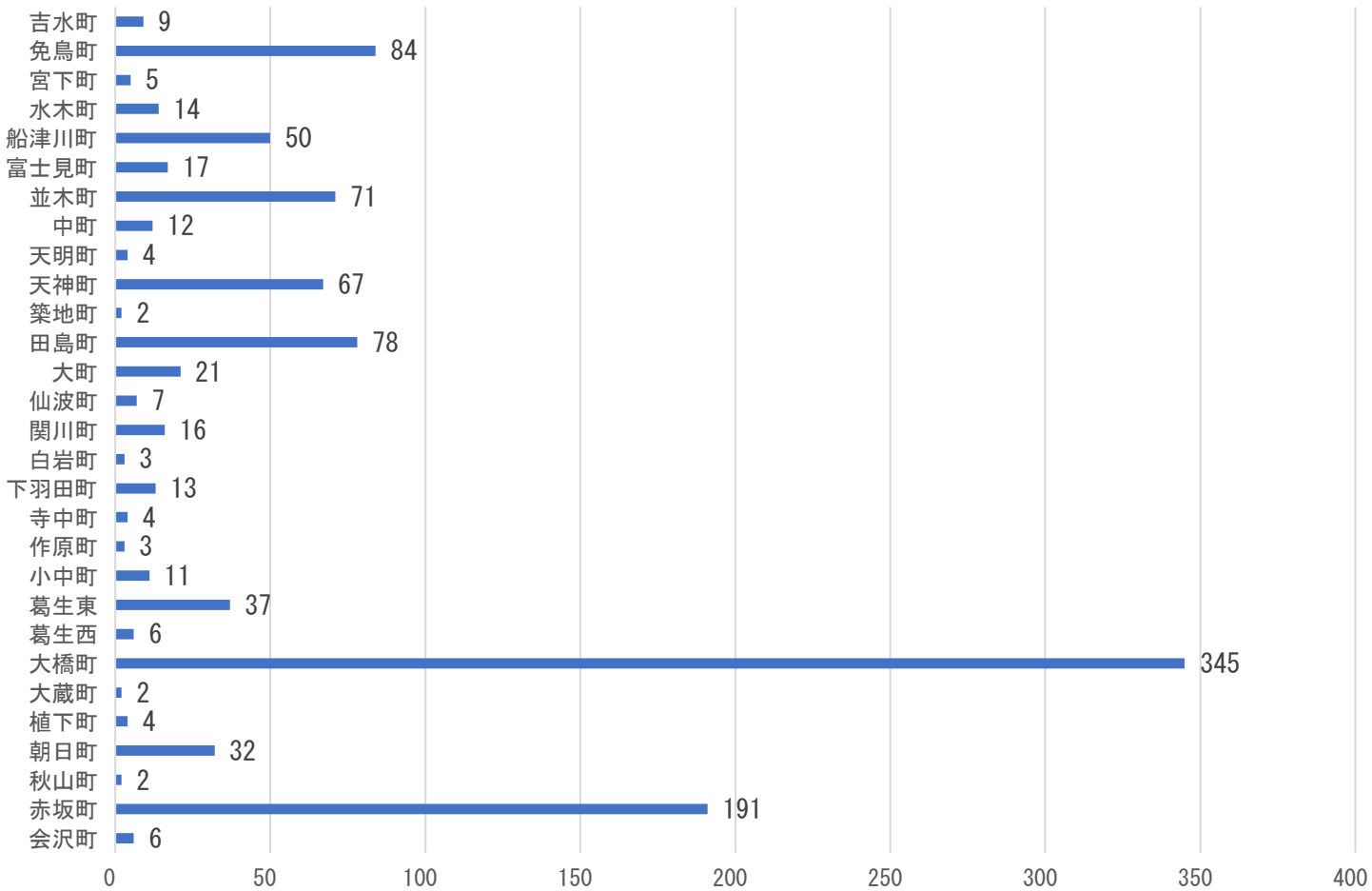






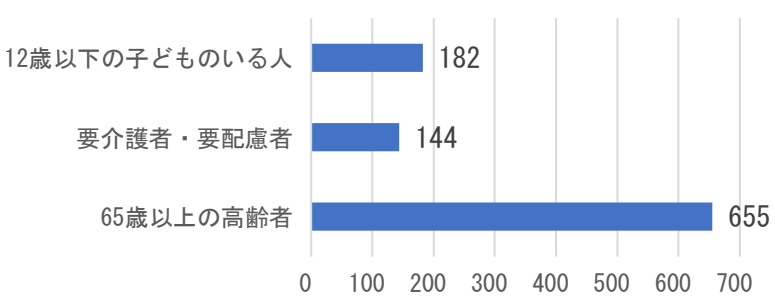


4. 町会名

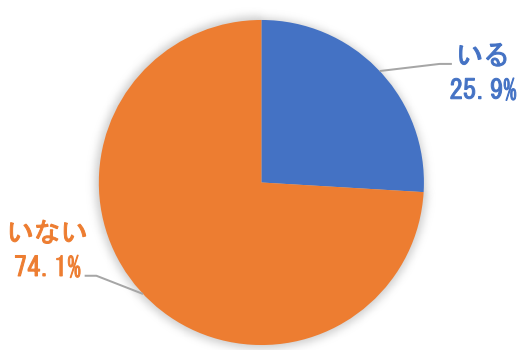


※ その他赤見町、伊勢山町、出流原町、植上町、梅園町、金屋下町、上台町、閑馬町、戸奈良町、奈良渕町、長谷場町、飛駒町、牧町、村上町、山形町、若松町は各１件

6. 65歳以上の高齢者、要介護者・要配慮者、12歳以下の子どものいる人の世帯数



7. 犬や猫などのペットは飼っていますか

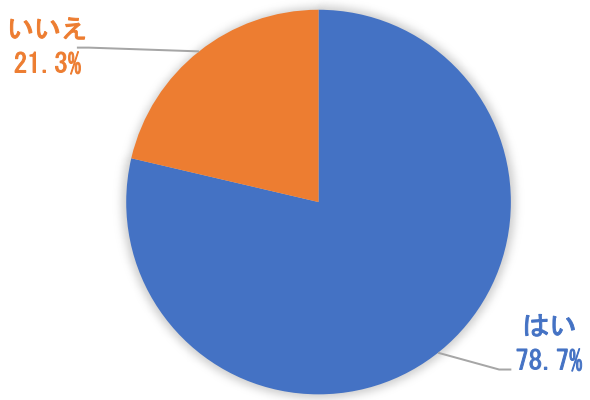


○ 台風時の避難情報や避難行動について

① 情報の周知や伝達

問１　災害当日、本市では「警戒レベル３避難準備・高齢者等避難開始」「警戒レベル４避難勧告・避難指示」を発令されたことを知っていますか。（○は１つ）

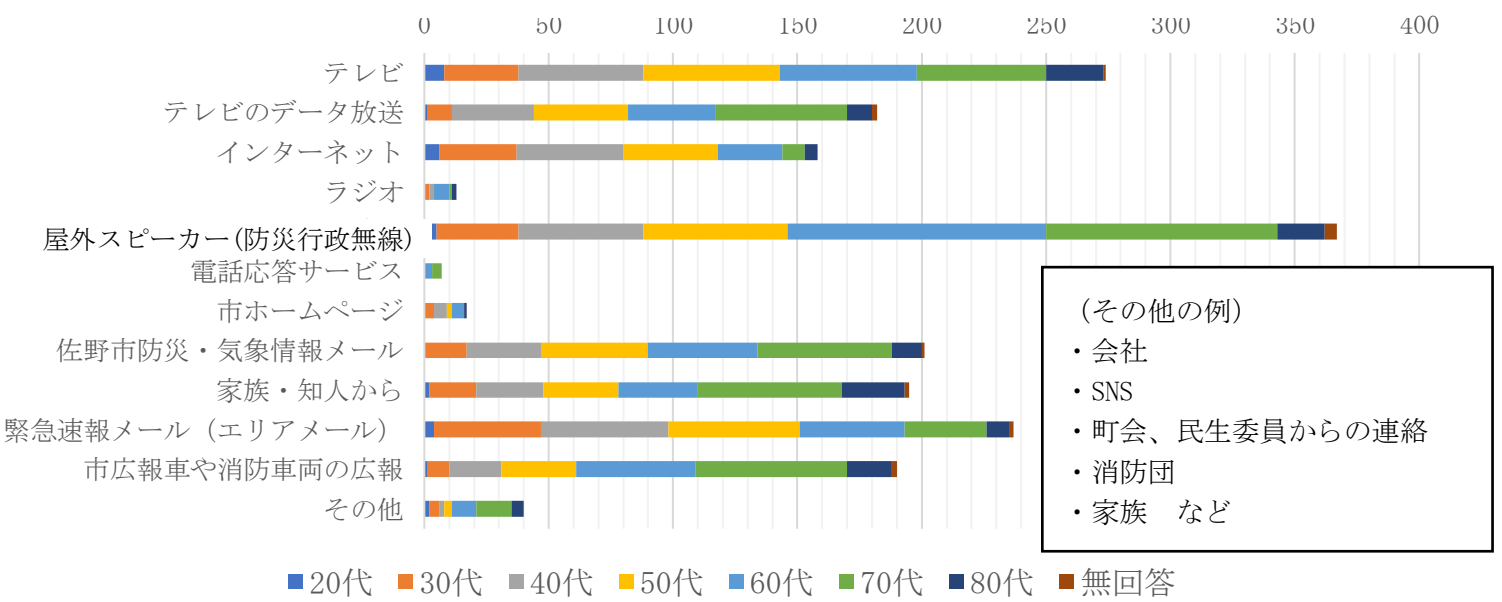
※「はい」の場合は問２以降回答、「いいえ」の場合は問４以降回答



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	はい	14	86	147	165	207	219	68	8	914
2	いいえ	1	9	19	40	61	71	45	2	248

問２　発令された情報をどこから知りましたか。（○は複数可）

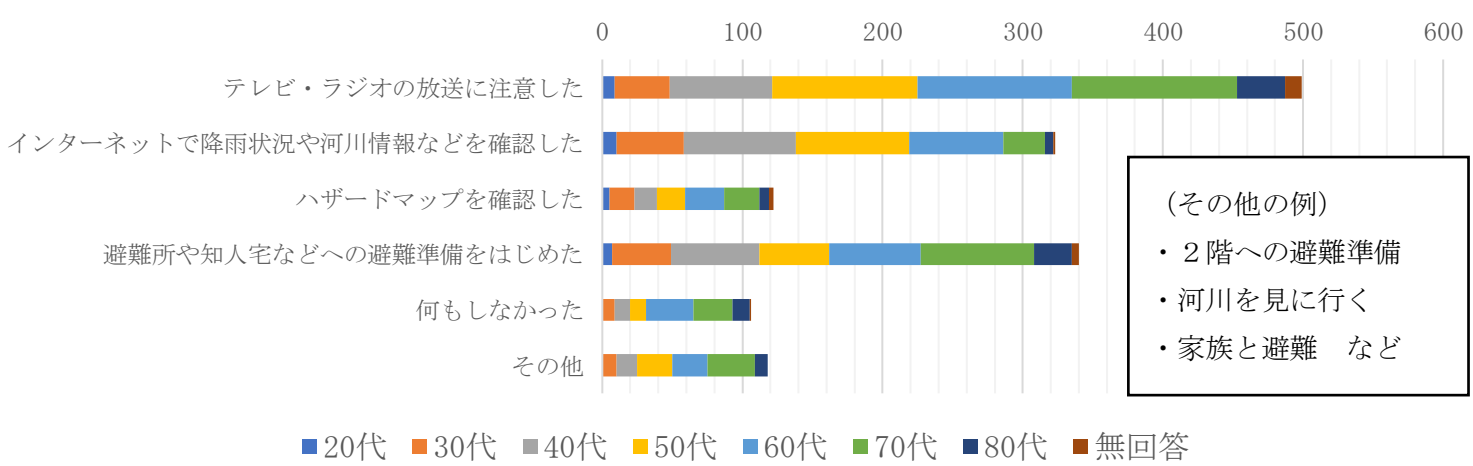


（その他の例）
- 会社
- SNS
- 町会、民生委員からの連絡
- 消防団
- 家族　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	テレビ	8	30	50	55	55	52	23	1	274
2	テレビのデータ放送	1	10	33	38	35	53	10	2	182
3	インターネット	6	31	43	38	26	9	5	0	158
4	ラジオ	0	2	2	0	6	1	2	0	13
5	屋外スピーカー(防災行政無線)	5	33	50	58	104	93	19	5	367
6	電話応答サービス	0	0	0	0	3	4	0	0	7
7	市ホームページ	0	4	5	2	5	0	1	0	17
8	佐野市防災・気象情報メール	0	17	30	43	44	54	12	1	201
9	家族・知人から	2	19	27	30	32	58	25	2	195
10	緊急速報メール(エリアメール)	4	43	51	53	42	33	9	2	237
11	市広報車や消防車両の広報	1	9	21	30	48	61	18	2	190
12	その他	2	4	2	3	10	14	5	0	40

問３　発令を知ってどうしましたか。（○は複数可）



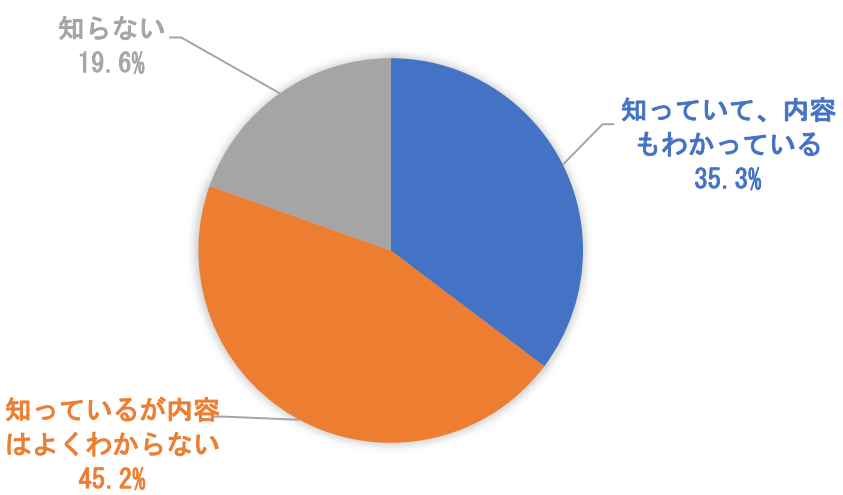
（その他の例）
・２階への避難準備
・河川を見に行く
・家族と避難　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	テレビ・ラジオの放送に注意した	9	39	73	104	110	118	34	12	499
2	インターネットで降雨状況や河川情報などを確認した	10	48	80	81	67	30	6	1	323
3	ハザードマップを確認した	5	18	16	20	28	25	7	3	122
4	避難所や知人宅などへの避難準備をはじめた	7	42	63	50	65	81	27	5	340
5	何もしなかった	0	9	11	11	34	28	12	1	106
6	その他	0	10	15	25	25	34	9	0	118

② 避難行動について

問４　あなたは、本市の「佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ」を知っていますか。（○は１つ）

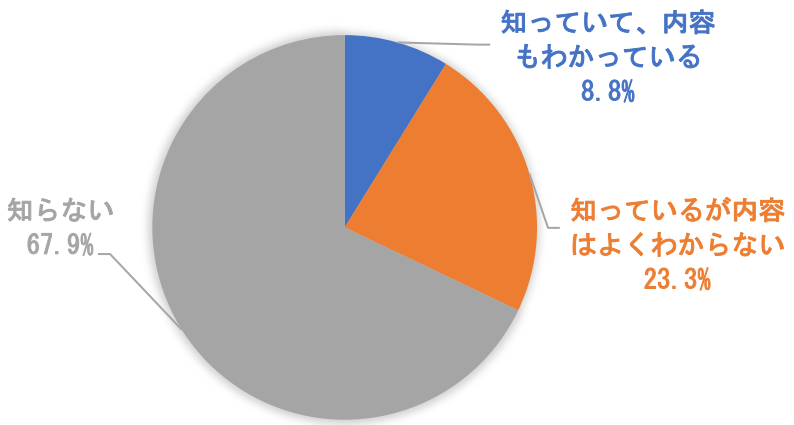


年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	知っていて、内容もわかっている	8	41	56	82	94	96	32	6	415
2	知っているが内容はよくわからない	6	45	81	85	115	142	44	13	531
3	知らない	1	9	28	36	58	52	40	6	230

問５　あなたは避難行動要支援者個別計画を知っていますか。（○は１つ）

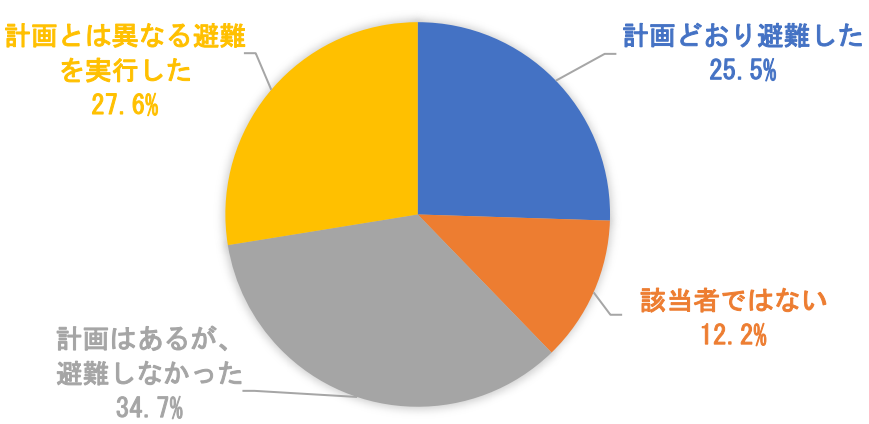
※「知っているが、内容はよくわからない」、「知らない」の場合は、問７以降回答



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	知っていて、内容もわかっている	0	1	7	12	32	34	11	5	102
2	知っているが内容はよくわからない	0	15	26	38	53	93	33	11	269
3	知らない	15	76	133	151	182	152	67	9	785

問６　あなたは避難行動要支援者個別計画に基づき、今回避難しましたか。（○は１つ）

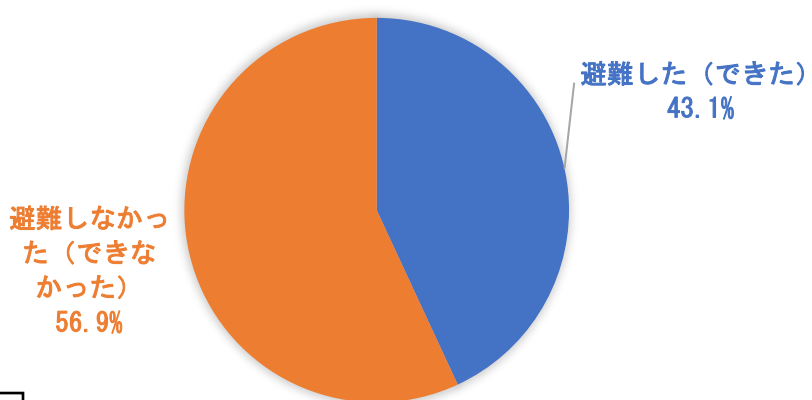


年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	計画どおり避難した	0	0	1	1	9	12	0	2	25
2	該当者ではない	0	0	0	3	2	3	4	0	12
3	計画はあるが、避難しなかった	0	0	1	4	8	11	7	3	34
4	計画とは異なる避難を実行した	0	0	5	4	13	5	0	0	27

問７　令和元年東日本台風（台風第 19 号）災害時の、あなたの避難状況についてお答えください。（○は１つ）

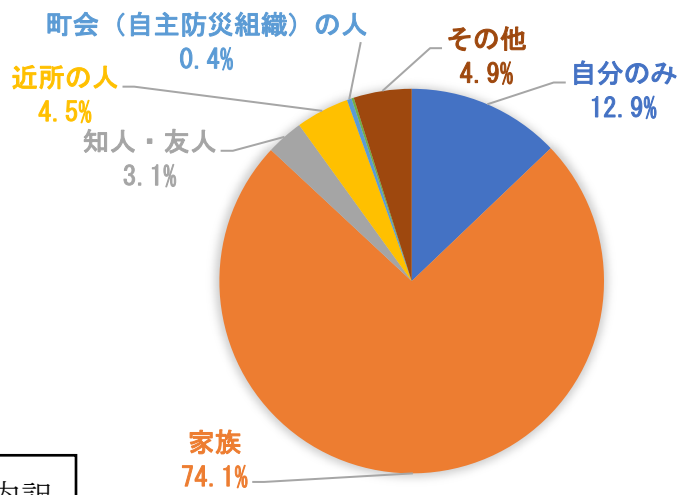
※「避難した（できた）」の場合、問８以降（問１２を除く）回答、「避難しなかった（できなかった）」の場合、問１２以降回答



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	避難した（できた）	11	59	84	83	90	114	53	10	504
2	避難しなかった（できなかった）	4	36	82	121	173	175	60	15	666

問８　あなたは、誰と避難しましたか。（○は１つ）

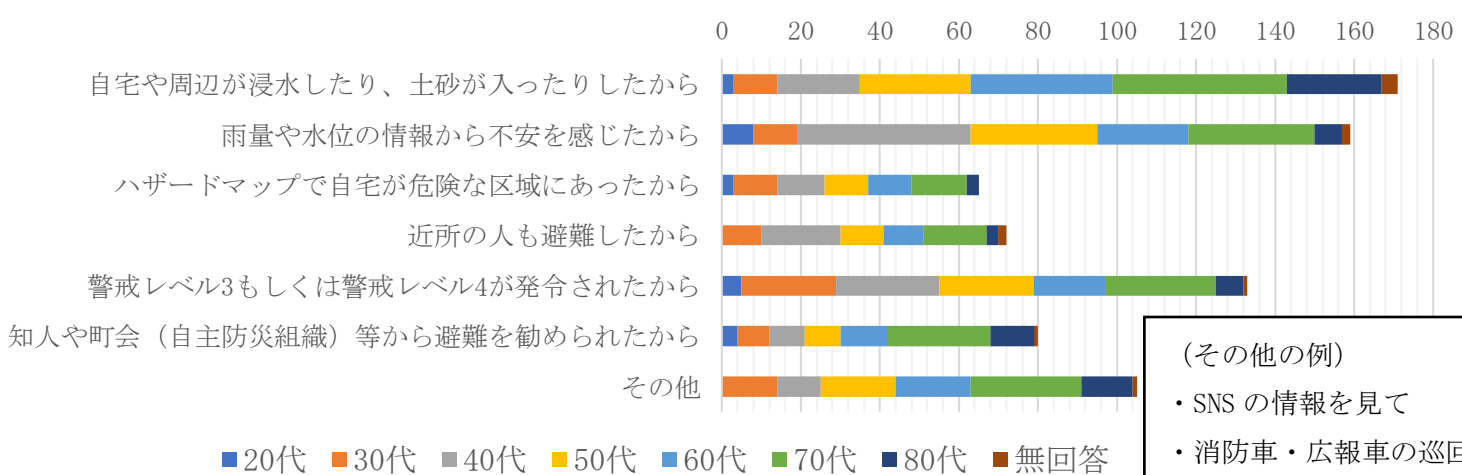


（その他の例）
・ペット
・消防士
・親戚　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	自分のみ	3	5	3	12	17	14	8	4	66
2	家族	5	48	76	61	64	85	33	8	380
3	知人・友人	3	0	1	5	2	2	3	0	16
4	近所の人	0	3	1	2	4	7	6	0	23
5	町会（自主防災組織）の人	0	0	0	0	1	1	0	0	2
6	民生委員など	0	0	0	1	0	0	0	0	1
7	職場の人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	その他	0	2	2	3	4	10	4	0	25

問９－１　あなたが避難したきっかけをお答えください。（○は複数可）

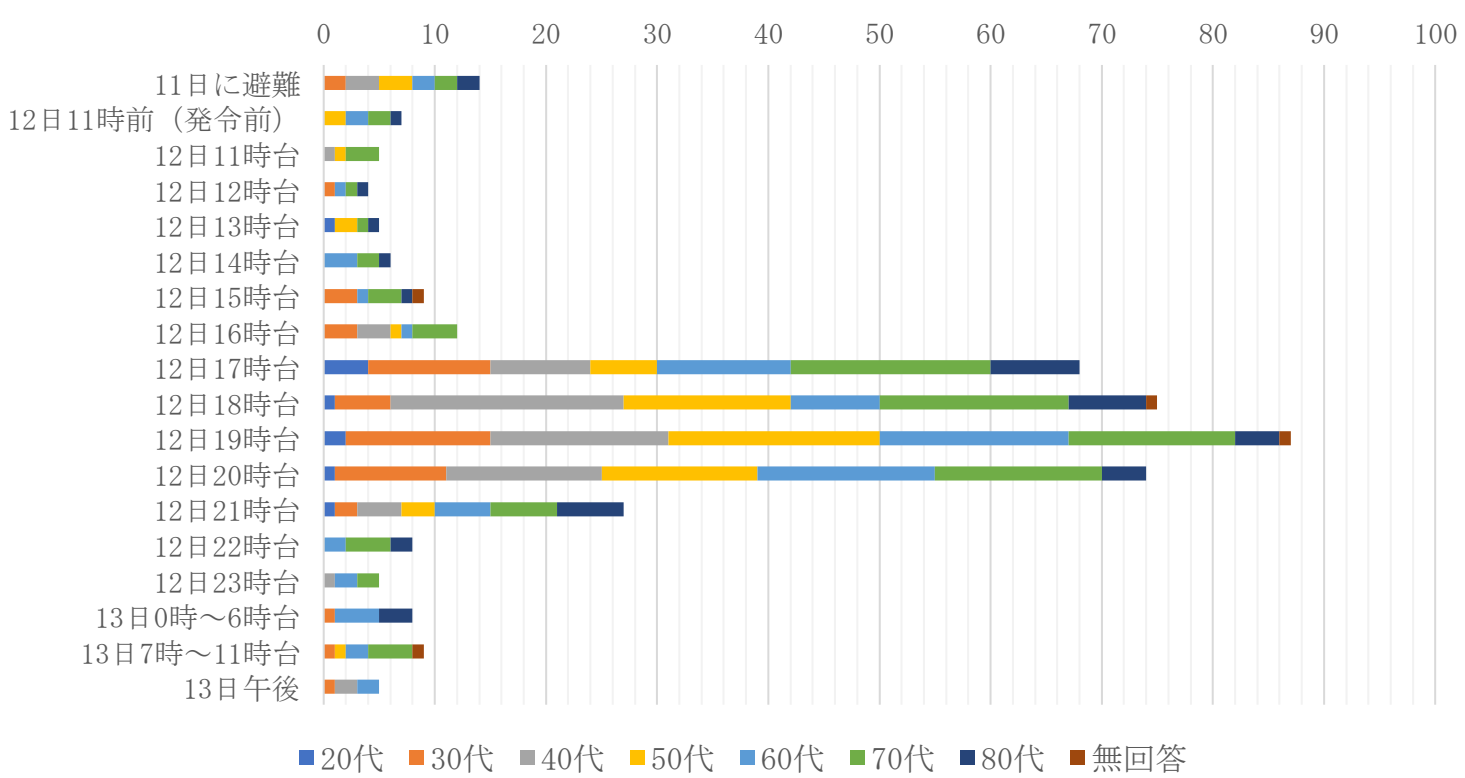


（その他の例）
・SNS の情報を見て
・消防車・広報車の巡回
・防災行政無線
・家族からの連絡　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	自宅や周辺が浸水したり、土砂が入ったりしたから	3	11	21	28	36	44	24	4	171
2	雨量や水位の情報から不安を感じたから	8	11	44	32	23	32	7	2	159
3	ハザードマップで自宅が危険な区域にあったから	3	11	12	11	11	14	3	0	65
4	近所の人も避難したから	0	10	20	11	10	16	3	2	72
5	警戒レベル３もしくは警戒レベル４が発令されたから	5	24	26	24	18	28	7	1	133
6	知人や町会（自主防災組織）等から避難を勧められたから	4	8	9	9	12	26	11	1	80
7	その他	0	14	11	19	19	28	13	1	105

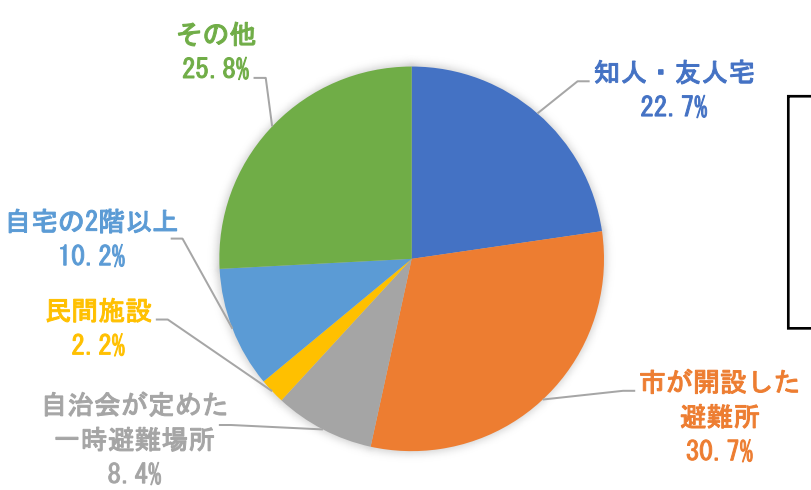
問９－２　避難した時刻について



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	11 日に避難	0	2	3	3	2	2	2	0	14
2	12 日 11 時前（発令前）	0	0	0	2	2	2	1	0	7
3	12 日 11 時台	0	0	1	1	0	3	0	0	5
4	12 日 12 時台	0	1	0	0	1	1	1	0	4
5	12 日 13 時台	1	0	0	2	0	1	1	0	5
6	12 日 14 時台	0	0	0	0	3	2	1	0	6
7	12 日 15 時台	0	3	0	0	1	3	1	1	9
8	12 日 16 時台	0	3	3	1	1	4	0	0	12
9	12 日 17 時台	4	11	9	6	12	18	8	0	68
10	12 日 18 時台	1	5	21	15	8	17	7	1	75
11	12 日 19 時台	2	13	16	19	17	15	4	1	87
12	12 日 20 時台	1	10	14	14	16	15	4	0	74
13	12 日 21 時台	1	2	4	3	5	6	6	0	27
14	12 日 22 時台	0	0	0	0	2	4	2	0	8
15	12 日 23 時台	0	0	1	0	2	2	0	0	5
16	13 日 0 時～6 時台	0	1	0	0	4	0	3	0	8
17	13 日 7 時～11 時台	0	1	0	1	2	4	0	1	9
18	13 日午後	0	1	2	0	2	0	0	0	5

問 10　あなたが避難した場所はどこですか。（○は１つ）

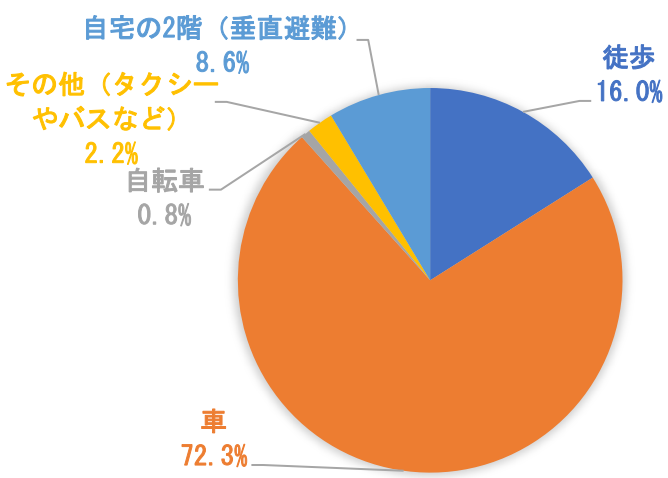


（その他の例）
・実家（または子どもの家）
・職場
・アパートなどの踊り場　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	知人・友人宅	4	8	28	22	20	26	7	1	116
2	市が開設した避難所	3	21	29	21	30	38	11	4	157
3	自治会が定めた一時避難場所	0	3	2	9	8	14	7	0	43
4	民間施設	1	0	0	2	2	2	3	1	11
5	自宅の２階以上	0	3	6	10	8	13	11	1	52
6	その他	3	23	20	21	20	27	16	2	132

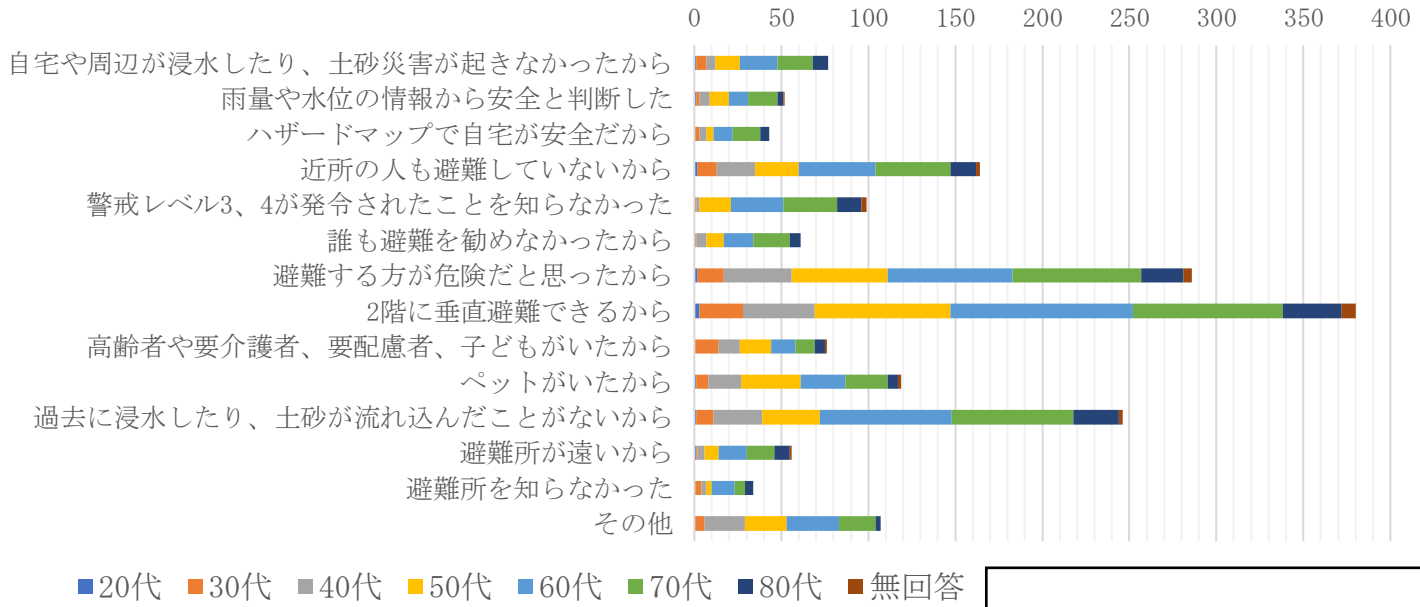
問 11　避難した場所へはどのような交通手段で向かいましたか。（○は１つ）



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	徒歩	1	8	8	8	12	25	14	4	80
2	車	9	46	67	65	63	79	28	4	361
3	自転車	0	0	3	0	1	0	0	0	4
4	その他（タクシーやバスなど）	1	2	0	0	4	1	2	1	11
5	自宅の２階（垂直避難）	0	2	4	10	6	11	10	0	43

問 12　あなたが避難しなかった（できなかった）理由をお答えください。（○は複数可）

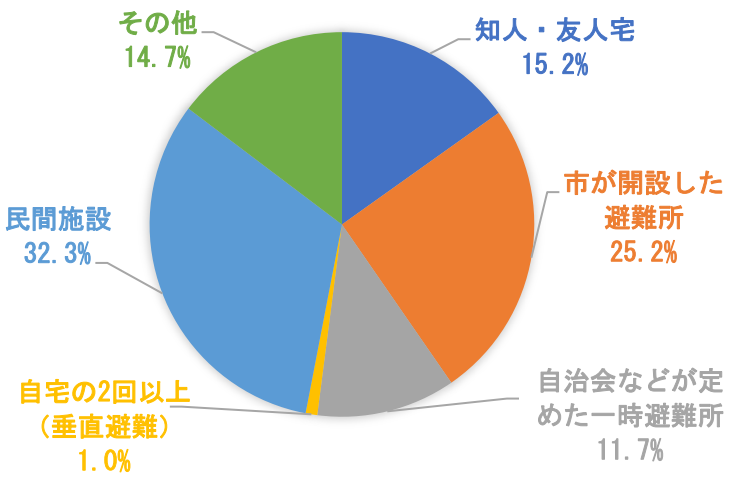


（その他の例）
・避難しようした時には遅かった
・避難所より安全と思った　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	自宅や周辺が浸水したり、土砂災害が起きなかったから	1	6	5	14	22	20	9	0	77
2	雨量や水位の情報から安全と判断した	1	2	6	11	11	17	3	1	52
3	ハザードマップで自宅が安全だから	0	3	4	4	11	16	5	0	43
4	近所の人も避難していないから	2	11	22	25	44	43	15	2	164
5	警戒レベル 3、4 が発令されたことを知らなかった	0	1	2	18	30	31	14	3	99
6	誰も避難を勧めなかったから	0	1	6	10	17	21	6	0	61
7	避難する方が危険だと思ったから	2	15	39	55	72	74	24	5	286
8	2 階に垂直避難できるから	3	25	41	78	105	86	34	8	380
9	高齢者や要介護者、要配慮者、子どもがいたから	0	14	12	18	14	11	6	1	76
10	ペットがいたから	1	7	19	34	26	24	6	2	119
11	過去に浸水したり、土砂が流れ込んだことがないから	1	10	28	33	76	70	26	2	246
12	避難所が遠いから	1	1	4	8	16	16	9	1	56
13	避難所を知らなかった	0	4	3	3	13	6	5	0	34
14	その他	0	6	23	24	30	21	3	0	107

問 13　次に災害があった場合どこへ避難したいかお答えください。（○は１つ）



（その他の例）
・車の中
・実家（または子どもの家）
・屋上のある民間施設の駐車場
・ペットが避難できる場所　など

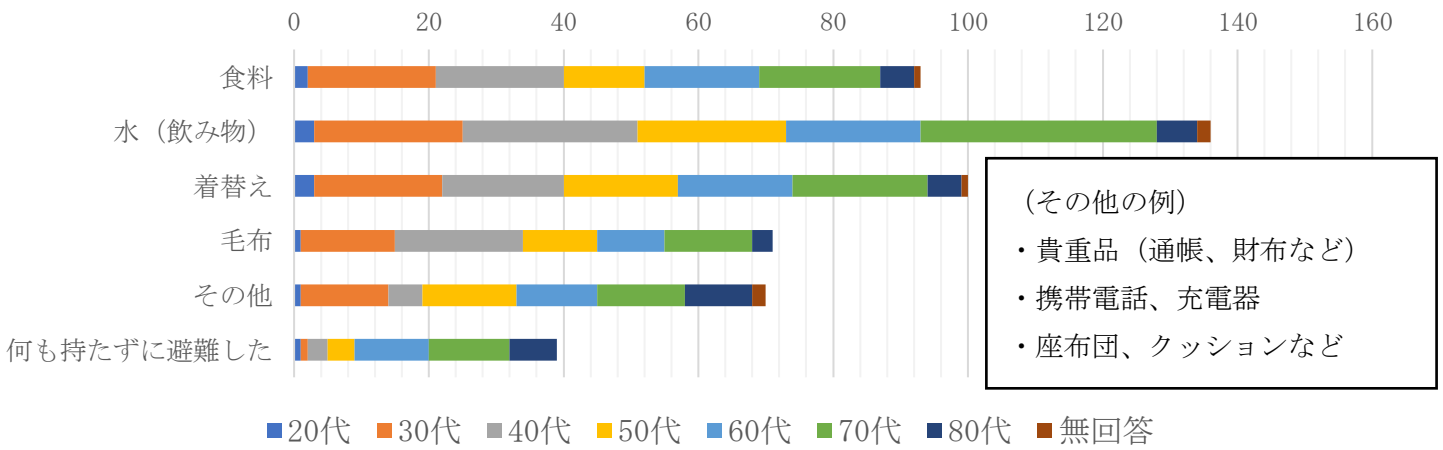
年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	知人・友人宅	4	17	42	34	36	24	10	3	170
2	市が開設した避難所	5	23	32	50	71	75	21	6	283
3	自治会などが定めた一時避難所	2	2	9	11	25	58	20	4	131
4	自宅の２回以上（垂直避難）	1	1	0	2	0	4	2	1	11
5	民間施設	1	22	44	63	98	82	45	7	362
6	その他	2	22	26	35	27	36	14	3	165

③ 避難所について

市が指定した避難所へ避難した人のみ問 14 から問 17 までお答えください。
（その他の方は問 18 以降へ）

問 14　避難した際に何を持って避難しましたか。（○は複数可）

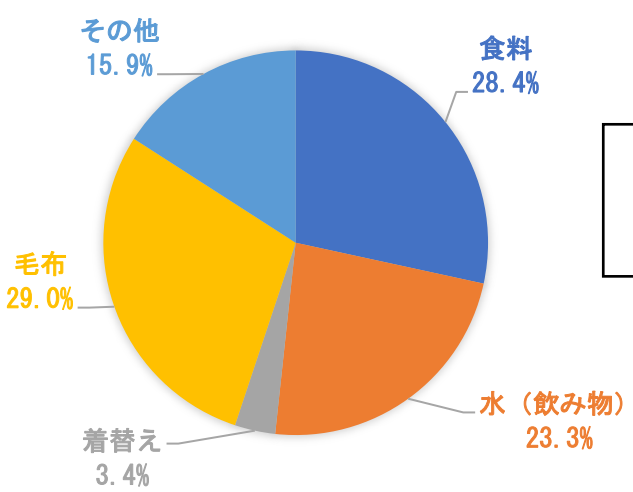


（その他の例）
・貴重品（通帳、財布など）
・携帯電話、充電器
・座布団、クッションなど

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	食料	2	19	19	12	17	18	5	1	93
2	水（飲み物）	3	22	26	22	20	35	6	2	136
3	着替え	3	19	18	17	17	20	5	1	100
4	毛布	1	14	19	11	10	13	3	0	71
5	その他	1	13	5	14	12	13	10	2	70
6	何も持たずに避難した	1	1	3	4	11	12	7	0	39

問 15　避難してどういった物資があるといいと思いましたか。（○は１つ）

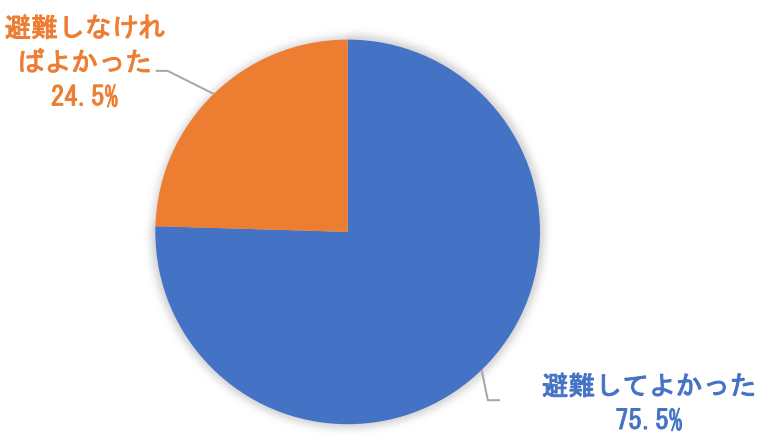


（その他の例）
・床に敷くもの（マットや敷布など）

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	食料	0	8	5	9	10	15	3	0	50
2	水（飲み物）	0	4	6	5	5	14	6	1	41
3	着替え	0	0	0	1	2	2	1	0	6
4	毛布	3	4	5	9	14	8	7	1	51
5	その他	0	4	5	5	6	4	2	2	28

問 16　避難所に避難してどう感じましたか。（またはどう思いましたか。）（○は１つ）



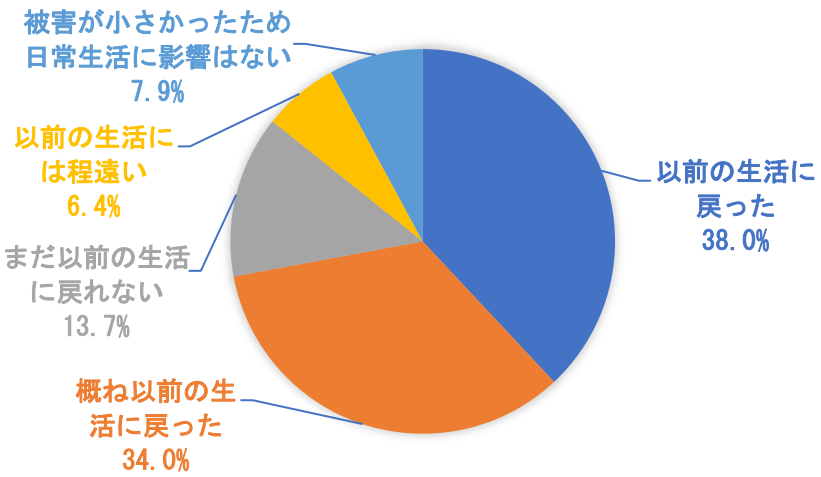
年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	避難してよかった	6	16	22	17	31	45	18	5	160
2	避難しなければよかった	0	11	9	13	5	10	4	0	52

※ 問 16 自由記入欄及び問 17「問 17　ペットを連れて避難した方にお聞きします。ペット同伴での避難で１番大変だったことは何ですか。（自由記入欄）」については、【調査結果まとめ】の４ページにて記載しております。

○ 災害後の支援策について

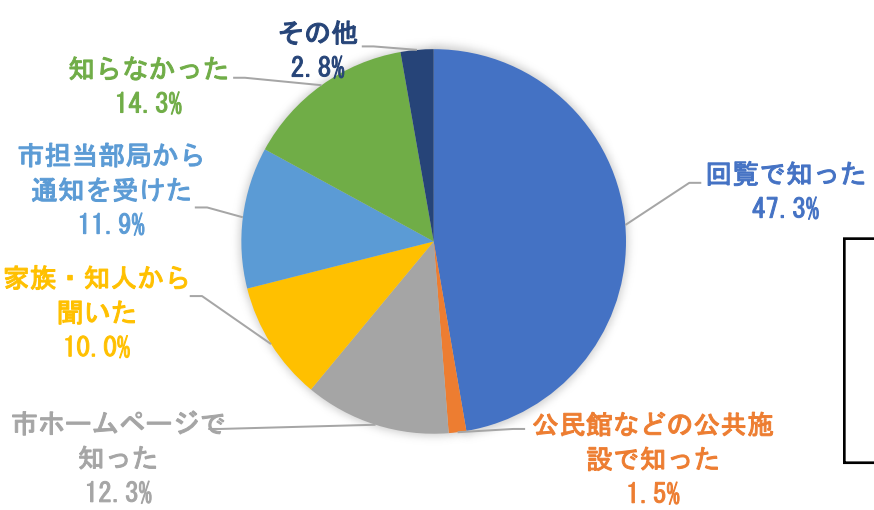
問 18　現在の生活再建はどこまで進みましたか。（○は１つ）



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	以前の生活に戻った	8	42	70	74	89	100	39	7	429
2	概ね以前の生活に戻った	5	38	55	74	88	85	35	4	384
3	まだ以前の生活に戻れない	2	6	17	33	32	39	20	5	154
4	以前の生活には程遠い	0	1	10	10	19	19	10	3	72
5	被害が小さかったため日常生活に影響はない	0	5	11	6	27	33	6	1	89

問 19　本市では発災後から「被災者生活再建支援のお知らせ」や「被災者生活再建支援ハンドブック」を使い支援策の周知をしてきましたが、知っていますか。（○は１つ）

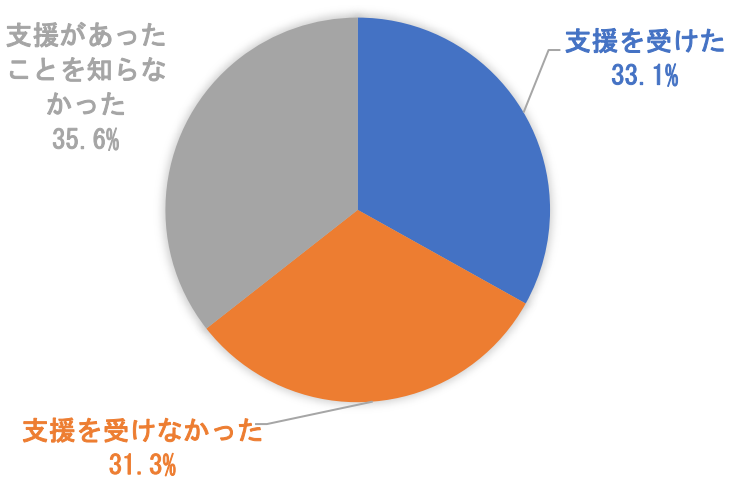


（その他の例）
- SNS
- 市役所で直接
- 職場　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	回覧で知った	2	35	66	85	129	139	48	9	513
2	公民館などの公共施設で知った	0	1	2	4	2	7	0	0	16
3	市ホームページで知った	3	14	31	37	22	17	7	2	133
4	家族・知人から聞いた	3	11	11	13	23	31	16	1	109
5	市担当部局から通知を受けた	1	7	14	20	34	36	15	2	129
6	知らなかった	5	18	24	21	34	29	19	5	155
7	その他	1	1	7	6	7	4	4	0	30

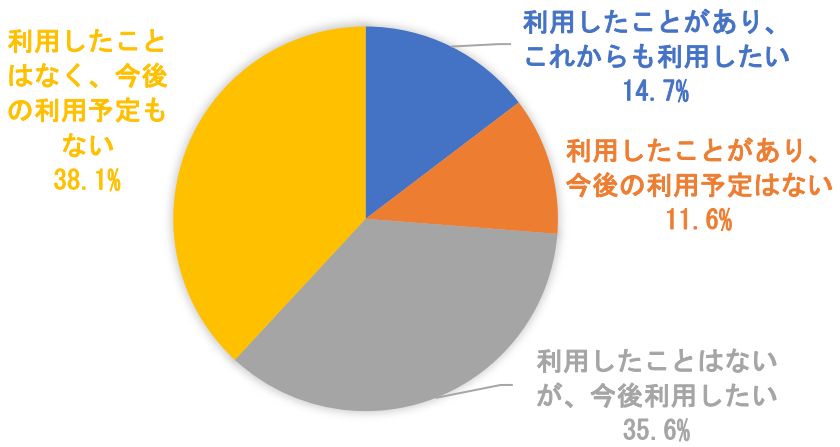
問 20　本市では、発災後足りない物資（タオルやトイレットペーパーなどの生活必需品）があった場合、町会を通して支援を行ってきましたが支援を受けましたか。（○は１つ）



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	支援を受けた	2	33	63	62	77	98	28	10	373
2	支援を受けなかった	9	23	49	60	83	83	41	5	353
3	支援があったことを知らなかった	4	34	50	76	97	95	39	6	401

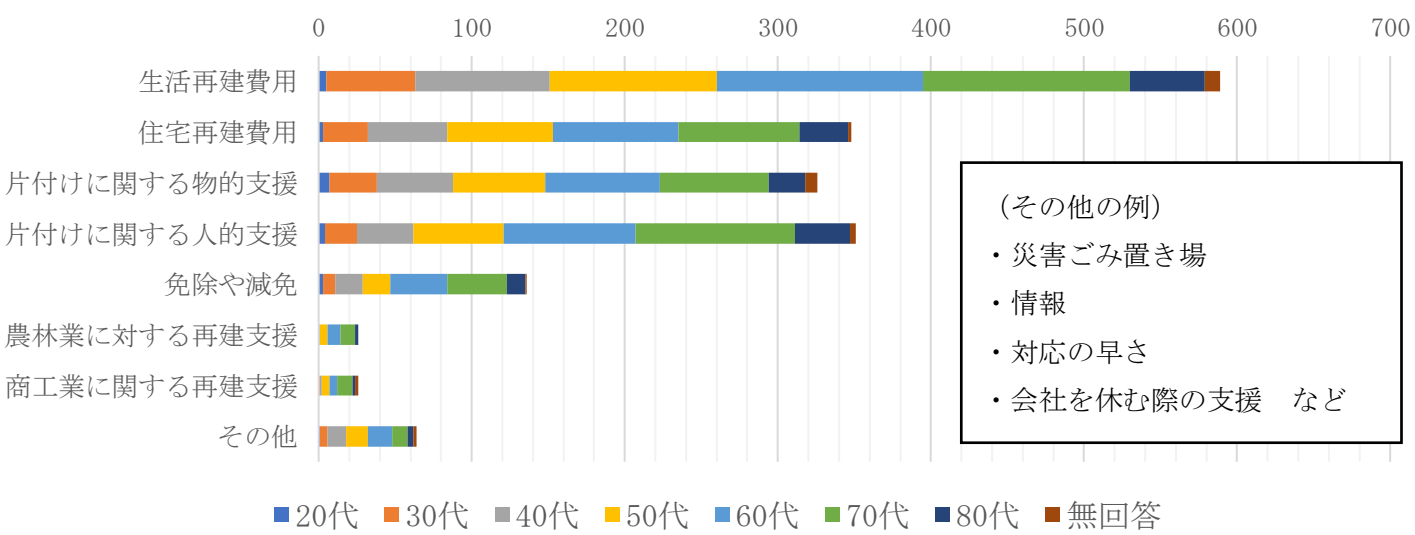
問 21　本市では災害ボランティアセンターが開設されていますが、現在までに利用しましたか。また、今後利用したいですか。（○は１つ）



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	利用したことがあり、これからも利用したい	0	5	12	17	28	67	33	5	167
2	利用したことがあり、今後の利用予定はない	0	5	15	27	36	33	14	2	132
3	利用したことはないが、今後利用したい	5	21	52	62	102	120	33	11	406
4	利用したことはなく、今後の利用予定もない	10	62	84	92	91	62	30	3	434

問 22　今回の支援で足りないと感じたものは何ですか。（○は２つまで）



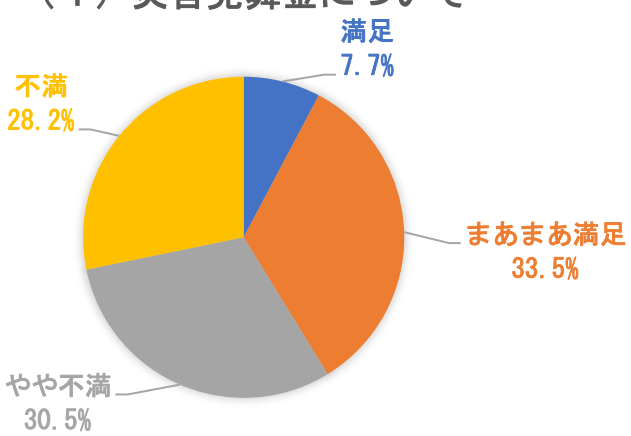
（その他の例）
・災害ごみ置き場
・情報
・対応の早さ
・会社を休む際の支援　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	生活再建費用	5	58	88	109	135	135	49	10	589
2	住宅再建費用	3	29	52	69	82	79	32	2	348
3	片付けに関する物的支援	7	31	50	60	75	71	24	8	326
4	片付けに関する人的支援	4	21	37	59	86	104	36	4	351
5	免除や減免	3	8	18	18	37	39	12	1	136
6	農林業に対する再建支援	0	0	1	5	8	10	2	0	26
7	商工業に関する再建支援	0	1	1	5	5	10	2	2	26
8	その他	1	5	12	14	16	10	4	2	64

問 23　今回の満足度を教えてください。該当する数字を○で囲んでください。（○は１つ）

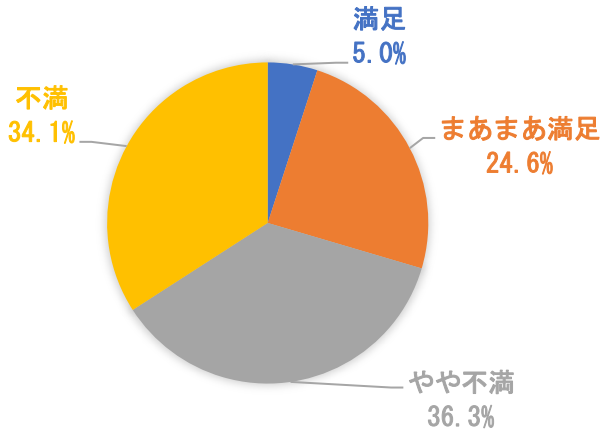
（１）災害見舞金について



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	満足	2	11	19	14	8	20	9	1	84
2	まあまあ満足	4	30	43	59	83	96	41	7	363
3	やや不満	4	24	38	59	84	88	30	4	331
4	不満	3	27	58	61	69	57	23	8	306

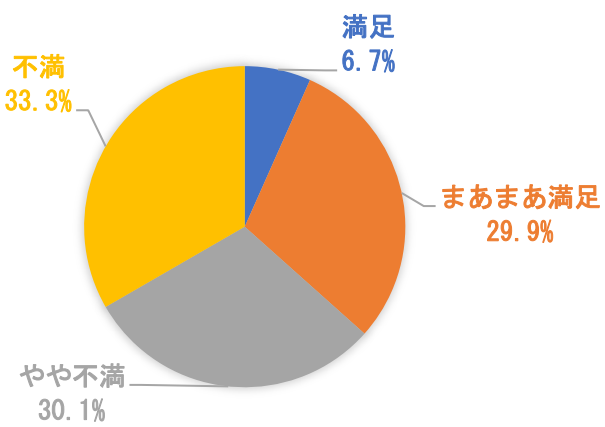
（２）家財等購入等補助金について



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	満足	0	4	10	9	6	9	4	1	43
2	まあまあ満足	4	22	25	38	54	42	20	6	211
3	やや不満	3	22	42	55	70	88	27	5	312
4	不満	4	26	52	60	62	59	24	6	293

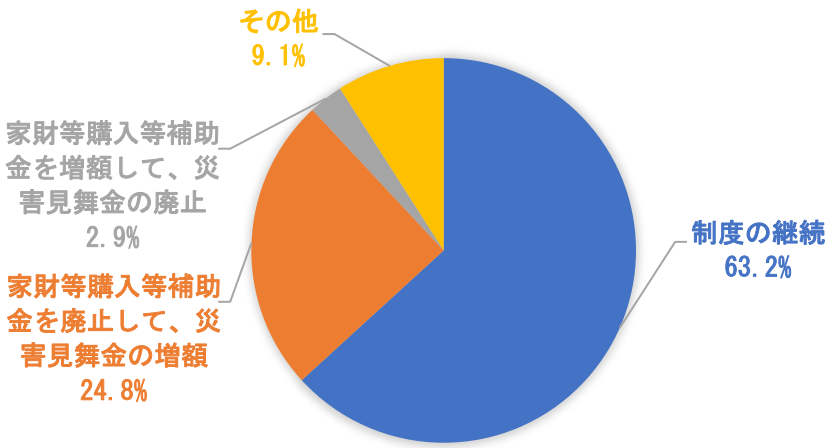
（３）被災者生活再建支援金について



年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
5	満足	0	5	16	8	5	13	3	1	51
4	まあまあ満足	4	23	21	37	60	52	27	5	229
2	やや不満	3	15	29	41	57	67	13	5	230
1	不満	2	23	46	54	57	49	19	5	255

問 24　今後発生する災害を想定した場合、令和元年東日本台風（台風第 19 号）に伴う災害見舞金および家財等購入等補助金に対する意見として、該当するものはどれですか。（○は１つ）



（その他の例）
・一部損壊に対する支援
・床下浸水の支援の増額
・災害見舞金及び家財等購入等補助金の両方の増額　など

年代別回答内訳

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	無回答	合計
1	制度の継続	9	44	86	120	165	170	73	10	677
2	家財等購入等補助金を廃止して、災害見舞金の増額	1	32	46	39	57	62	23	6	266
3	家財等購入等補助金を増額して、災害見舞金の廃止	2	3	5	7	5	7	0	2	31
4	その他	2	10	22	26	15	17	4	1	97

※「問 25 今後の災害に備え、こうしたほうが良いといった点があればお書きください。（自由記入欄）」については、【調査結果まとめ】の 6 ページにて記載しております。

資料－２　令和元年東日本台風災害に関する市民アンケート調査項目

令和元年東日本台風（台風第 19 号）災害に関する
市民アンケート調査

調査ご協力のお願い

この度の令和元年東日本台風（台風第１９号）により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

令和元年東日本台風（台風第１９号）により佐野市では、４月１日現在で、住宅被害では全壊６件、大規模半壊７４件、半壊９６５件、準半壊９５件、一部損壊（１０％未満）９１０件、その他被害１７件と甚大な被害を受けました。

現在、佐野市は被災された皆様への支援をはじめ、道路・橋梁、施設などの復旧に努めると同時に、災害に対する検証作業を実施しております。

その中で、市民の皆様のご意見を今後の復旧・復興、防災対策に最大限に活かしていくために、市民の皆様へアンケート調査を実施することといたしました。

今後の復旧・復興、防災対策をより一層高め、安全で安心なまちづくりを目指すためにも、何卒調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

①　アンケートの回答は直接この用紙に記入してください。
（鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。）

②　アンケートは、市内で被災された方およそ２，０００世帯にお願いしております。質問の回答につきましては、各世帯の代表者の方がお答えください。
　代表者の記入が難しい場合は、できる限り本人の意思を反映して、ご家族の方などが代わりに記入いただいても結構です。

③　アンケートの回答方法は、次のとおりです。

・回答は、選択肢の中で当てはまる番号を〇で囲んでください。
・選択肢に該当するものがない場合は「その他」の番号を〇で囲み、お答えを記入してください。
・回答は、令和元年１０月１２日を基準日としてください。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
<u>令和２年５月２９日（金）までに</u>郵便でご返送ください。

アンケート調査に関するお問い合わせは、（平日）午前８時３０分～午後５時１５分までに下記までお願いいたします。

佐野市行政経営部復興推進室　　TEL：０２８３－２５－８５１３

Ａ　はじめに

あなた自身のことについてお伺いします（個人を特定するものではありません）
該当するものに○をつけてください。また、※については（　）内にご記入ください。

性　別	１．男　性　　２．女　性
年　齢	１．１０代　２．２０代　３．３０代　４．４０代 ５．５０代　６．６０代　７．７０代　８．８０代以上
世帯人数（家族構成）※	（　　）人世帯
被災した町会名 ※	（　　）町　会
り災証明の判定	１．全壊　２．大規模半壊　３．半壊 ４．一部損壊（準半壊）　５．一部損壊（10%未満）　・ ６．その他（　　）
ご家族の中に要介護者・要配慮者・６５歳以上の高齢者・１２歳以下の子どもは何人いますか。※	１．６５歳以上の高齢者（　　人） ２．要介護者・要配慮者（　　人） （要介護者…介護認定を受けている方 要配慮者…障がい者や外国人など特に支援が必要な方） ３．１２歳以下の子ども（　　人）
犬や猫などのペットはいますか。	１．いる ２．いない

Ｂ　台風時の避難情報や避難行動について

令和元年東日本台風（台風第１９号）災害時の避難情報や避難行動などについてお伺いします

１　避難情報の周知や伝達についてお伺いします

問１　災害当日、本市では「警戒レベル３避難準備・高齢者等避難開始」「警戒レベル４避難勧告・避難指示」を発令されたことを知っていますか。（○は１つ）

１．はい（→問２以降へ）　　２．いいえ（→問４以降へ）

問２　発令された情報をどこから知りましたか。（○は複数可）

１．テレビ　　２．テレビのデータ放送(NHK やケーブルテレビなど)
３．インターネット　　４．ラジオ　　５．屋外スピーカー（防災行政無線）
６．電話応答サービス　　７．市ホームページ
８．佐野市防災・気象情報メール　　９．家族・知人から
10．緊急速報メール(エリアメール)　　11．市広報車や消防車両の広報
12．その他（　　）

問３　発令を知ってどうしましたか。（○は複数可）

１．テレビ・ラジオの放送に注意した
２．インターネットで降雨状況や河川情報などを確認した
３．ハザードマップを確認した
４．避難所や知人宅などへの避難準備をはじめた
５．何もしなかった
６．その他（　　）

２　あなたの避難行動についてお伺いします

問４　あなたは、本市の「佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ」を知っていますか。（○は１つ）

１．知っていて、内容もわかっている　　２．知っているが内容はよくわからない
３．知らない

問５　あなたは避難行動要支援者個別計画を知っていますか。（○は１つ）

１．知っていて、内容もわかっている
２．知っているが内容はよくわからない（→問７以降へ）
３．知らない（→問７以降へ）

問 6　あなたは避難行動要支援者個別計画に基づき、今回避難しましたか。（○は１つ）

１．計画どおりに避難した。
２．計画とは異なる避難を実行した。
（その理由：　　）
３．計画はあるが、避難しなかった。
（その理由：　　）
４．避難行動要支援者個別計画の該当者ではない。

問７　令和元年東日本台風（台風第 19 号）災害時の、あなたの避難状況についてお答えください。（○は１つ）

１．避難した（できた）（→問 8 以降へ　問 12 を除く）
２．避難しなかった（できなかった）（→問 12 以降へ）

問８　あなたは、誰と避難しましたか。（○は１つ）

１．自分のみ　　２．家族　　３．知人・友人　　４．近所の人
５．町会（自主防災組織）の人　　６．民生委員など　　７．職場の人
８．その他（　　）

問 9　あなたが避難したきっかけをお答えください。（〇は複数可）
また、何時ごろ避難しましたか。

◆ 避難した時刻…（　　）日（　　）時頃

１．自宅や周辺が浸水したり、土砂が入ったりしたから
２．テレビやインターネットなどの雨量や水位の情報から不安を感じたから
３．ハザードマップで自宅が危険な区域にあったから
４．近所の人も避難したから
５．警戒レベル３もしくは警戒レベル４が発令されたことを知ったから
６．知人や町会（自主防災組織）等に避難を勧められたから
７．その他（　　）

問 10　あなたが避難した場所はどこですか。（〇は１つ）

１．知人・友人宅　　２．市が開設した避難所
３．市に登録してある自治会などが定めた一時避難場所
４．民間施設（施設名：　　）　　５．自宅の２階以上（垂直避難）
６．その他（　　）

問 11　避難した場所へはどのような交通手段で向かいましたか。（〇は１つ）

１．徒歩　　２．車　　３．自転車　　４．その他（タクシーやバスなど）
５．自宅の２階以上（垂直避難）に避難した

問 12　あなたが避難しなかった（できなかった）理由をお答えください。（〇は複数可）

１．自宅や周辺が浸水したり、土砂災害が起きなかったから
２．テレビやインターネットなどの雨量や水位の情報から安全と判断したから
３．ハザードマップで自宅が安全だから
４．近所の人も避難していなかったから
５．警戒レベル３もしくは警戒レベル４が発令されたことを知らなかったから
６．誰も避難を勧めなかったから
７．避難するほうが危険だと思ったから
８．浸水しても２階などに垂直避難できるから
９．高齢者や要介護者、要配慮者、子どもがいたから
10．ペットがいたから
11．過去に自宅が浸水したり、土砂が流れ込んだりしたことがなかったから
12．避難所が遠いから
13．避難所を知らなかったから
14．その他（　　）

問 13　次に災害があった場合どこへ避難したいかお答えください。（○は１つ）

１．知人・友人宅　　２．市が開設した避難所
３．市に登録してある自治会などが定めた一時避難場所
４．民間施設（施設名：　　）　　５．自宅の２階以上（垂直避難）
６．その他（　　）

３　避難所についてお伺いします

市が指定した避難所へ避難した人のみ問 14 から問 17 までお答えください。（その他の方は問 18 以降へ）

問 14　避難した際に何を持って避難しましたか。（○は複数可）

１．食料　　２．水（飲み物）　　３．着替え　　４．毛布
５．その他（　　）　　６．何も持たずに避難した

問 15　避難してどういった物資があるといいと思いましたか。（○は１つ）

１．食料　　２．水（飲み物）　　３．着替え　　４．毛布
５．その他（　　）

問 16　避難所に避難してどう感じましたか。（またはどう思いましたか。）（○は１つ）
また、そう思った理由は何ですか。（自由記入欄）

１．避難してよかった　　２．避難しなければよかった

（　　）

問 17　ペットを連れて避難した方にお聞きします。ペット同伴での避難で１番大変だったことは何ですか。（自由記入欄）

（　　）

Ｃ　令和元年東日本台風（台風第 19 号）災害後の支援策について

佐野市の支援についてお伺いします

問 18　現在の生活再建はどこまで進みましたか。（○は１つ）

１．以前の生活に戻った　　２．概ね以前の生活に戻った
３．まだ以前の生活に戻れない　４．以前の生活には程遠い
５．被害が小さかったため日常生活に影響はない

問 19　本市では発災後から「被災者生活再建支援のお知らせ」や「被災者生活再建支援ハンドブック」を使い支援策の周知をしてきましたが、知っていますか。（○は１つ）

１．回覧で知った　　２．公民館などの公共施設で知った
３．市ホームページで知った　　４．家族・知人から聞いた
５．市担当部局から通知を受けた６．知らなかった
７．その他（　　）

問 20　本市では、発災後足りない物資（タオルやトイレットペーパーなどの生活必需品）があった場合町会を通して支援を行ってきましたが支援を受けましたか。（○は１つ）

１．支援を受けた　　２．支援を受けなかった
３．支援があったことを知らなかった

問 21　本市では災害ボランティアセンターが開設されていますが、現在までに利用しましたか。また、今後利用したいですか。（○は１つ）

１．利用したことがあり、これからも利用したい
２．利用したことがあり、今後の利用予定はない
３．利用したことはないが、今後利用したい
４．利用したことはなく、今後の利用予定もない

問 22　今回の支援で足りないと感じたものは何ですか。（○は２つまで）

１．生活再建費用（災害見舞金や家財等購入などの補助）
２．住宅再建費用（住宅の応急修理や公費解体などの費用）
３．災害ごみや土砂などの片付けに関する物的支援
（スコップや一輪車などの道具や機材、マスクや手袋などの衛生用品）
４．災害ごみや土砂などの片付けに関する人的支援
５．上下水道料金や介護保険料、国民健康保険税などの免除や減額など
６．農林業に対する再建支援
７．商工業に対する再建支援
８．その他（　　）

問 23　今回の満足度を教えてください。該当する数字を○で囲んでください。（○は１つ）

	満足	まあまあ満足	やや不満	不満
（1）災害見舞金	5	4	2	1
その理由は　（　　）				
	満足	まあまあ満足	やや不満	不満
（2）家財等購入等補助金	5	4	2	1
その理由は　（　　）				
	満足	まあまあ満足	やや不満	不満
（3）被災者生活再建支援金	5	4	2	1
その理由は　（　　）				

問 24　今後発生する災害を想定した場合、令和元年東日本台風（台風第 19 号）に伴う災害見舞金および家財等購入等補助金に対する意見として、該当するものはどれですか。（○は１つ）

1．この制度（災害見舞金及び家財等購入等補助金）を継続してほしい。
2．家財等購入等補助金を廃止して、災害見舞金を増額してほしい。
3．家財等購入等補助金を増額して、災害見舞金を廃止してほしい。
4．その他（　　）

（自由記入欄）

問 25　今後の災害に備え、こうしたほうが良いといった点があればお書きください。

（　　）

アンケートは以上で終了です

たくさんの質問にご回答いただき、大変ありがとうございました。

佐野市では、皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえ、今後の復旧・復興、防災対策に活かしていきたいと考えております。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、令和２年５月２９日（金）までに投函いただきますようお願いいたします。

Design by SANO NI IRUYO

令和元年東日本台風記録誌
最終報告

発　行：令和４年３月
編　集：佐野市（佐野市 行政経営部 危機管理課）
〒３２７－８５０１
栃木県佐野市高砂町１番地
ＴＥＬ：０２８３－２４－５１１１（代表）
ＦＡＸ：０２８３－２２－９１０４
ＵＲＬ：https://www.city.sano.lg.jp/